

4. 公共交通に関する住民アンケート調査

4-1. 調査概要

本調査は、立科町地域公共交通計画の策定にあたり、外出行動や公共交通の利用状況、今後の公共交通のあり方、公共交通に関する意見・要望などの住民意向を計画に反映することを目的に実施した。

調査期間：令和5年（2023年）8月22日(火)～9月5日(火)

調査内容：無作為に抽出した町内の1,000世帯を対象にアンケート調査を実施
調査は郵送による配布、回収とした

回答数：配布 1,000世帯、回収数 347世帯（回答者 885人）、回答率 34.7%

【アンケート集計及び結果における留意事項】

- ※1：アンケート集計は、居住地、年齢などの基本属性に関わる設問については、無回答も集計対象とするが、意識や行動に関わる設問における無回答は集計対象外とした。
- ※2：構成比は、四捨五入、端数処理により100%とならないことがある。
- ※3：グラフにおける「n=」は有効回答者数を示す。なお、複数回答の場合は回答者数を「MA=」と示す。

4-2. 調査結果の概要

- 回答者の居住地区は芦田地区が約3割で、年代は60歳代以上が約半数を占める。(P27、30)
- 最寄りバス停は「立科町役場前」、「細谷公民館」等が特に多い。最寄りバス停までの所要時間は約7割がおよそ5分以内。芦田(蓼科)地区では約4割が最寄りバス停まで10分以上を要する。(P28~29)
- 回答者の8割以上が運転免許保有者で「自ら自由に運転できる車・バイクを所有」も約8割。70歳以上でも7割以上が運転免許を持っている。(P31~P32)
- 外出目的は、平日は約半数が「通勤」、「通学(部活あり、部活なし)」、土日・祝日は約6割が買い物で、10歳代の約4割は「通学(部活あり)」。(P33~34、41~42)
- 外出頻度(平日)は、20歳~50歳代では8割程度が「ほぼ毎日」と回答している。一方、30歳代以降では年齢が高くなるに従い「ほぼ毎日」という回答は低下し、60歳代では約7割、70歳代以上では4割弱となっている。(P35)
- 外出行動別の外出・帰宅時間(平日)をみると、通勤・通学は7~9時頃に外出し、17~19時頃に帰宅するパターンが多い。買い物は9~11時頃に外出し、帰宅時間は分散している。通院は午前中に外出し、帰宅時間は分散している。(P36)
- 外出の目的地(流動)は、平日、土日・祝日ともに芦田地区と佐久市方面、上田市方面、牛鹿地区、塩沢地区、宇山地区、山部地区の流動が多くなっている。(P37、43)
- 外出の際の交通手段は、平日、土日・祝日ともに8割以上が「自動車(自ら運転)」。10歳代では「自動車(家族等による送迎)」の割合が高い(平日約4割、土日・祝日約7割)。(P39~40、45~46)
- 公共交通を利用する理由は「ほかに自らの移動手段がないから」が最も多い。(P47)
- 公共交通の満足度は「不満(やや不満を感じる+不満である)」が約55%であり、「満足(まあまあ満足している+満足している)」の約45%を上回っている。(P49)
- 公共交通に不満の理由として「乗りたい時間に乗れる便がないから」が最も多い。(P50)
- 公共交通を利用しない理由として「公共交通よりほかの手段が便利だから」が突出して多い。(P53)
- 公共交通を利用する場合の条件として「乗りたい時間・曜日に公共交通が走る」、「行きたい目的地まで公共交通ができる」が特に多い。(P56)
- 行政負担額については、「わからない」が約36%と最も多く、次いで「妥当な金額だと思う」が27%となっている。芦田(蓼科)地区や藤沢地区では「妥当な金額だと思う」が約4割を占めているが、塩沢地区では「支出をもっと少なくすべき」が約4割を占めている。(P59~60)
- 今後公共交通サービスを行うべき対象者と目的は、「高齢者の通院・買い物・役場周辺」が最も多い。(P61)
- 公共交通サービスを行うにあたっての公共交通の運行形態は、「朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド(予約式)とするなど、それぞれを組み合わせた運行」が最も多い。(P64)
- 路線バスの改善については、「公共交通を利用したことがないのでわからない」といった意見や「現状に満足している」が多い。改善内容としては「町外との接続路線の増便」や「デマンド型の導入要望」といった意見が挙げられている。(P67~68、71)
- 今後の公共交通利用促進に向けて重要なことは、「わかりやすい運行ダイヤ、路線図等の作成・配布」が突出して多い。(P76)

※ページ番号は、該当箇所の参照ページを示す

4-3. 調査結果

4-3-1. 居住地

- ・回答者の世帯は、芦田地区が約3割、その他の地区が各々3～10%前後となっている。
- ・回答人数（世帯の高校生以上）もほぼ同じ傾向となっている。

表 回答者の居住地（世帯）

地区名	回答数	構成比
芦田	93	26.8%
芦田（蓼科）	20	5.8%
宇山	25	7.2%
塩沢	23	6.6%
牛鹿	38	11.0%
桐原	31	8.9%
山部	36	10.4%
藤沢	11	3.2%
茂田井	23	6.6%
無回答・分類不可	47	13.5%
合計	347	100.0%

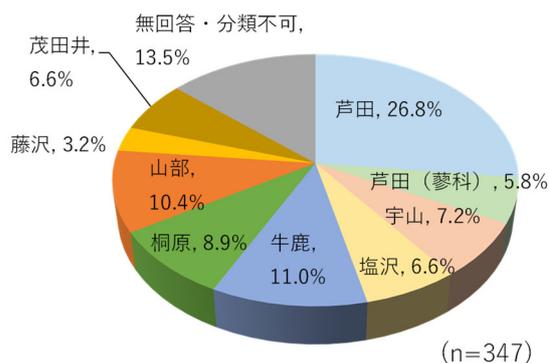


図. 回答者の居住地（世帯）

表 回答者の居住地（回答人数）

地区名	回答数	構成比
芦田	234	26.4%
芦田（蓼科）	41	4.6%
宇山	63	7.1%
塩沢	52	5.9%
牛鹿	113	12.8%
桐原	82	9.3%
山部	91	10.3%
藤沢	24	2.7%
茂田井	64	7.2%
無回答・分類不可	121	13.7%
合計	885	100.0%

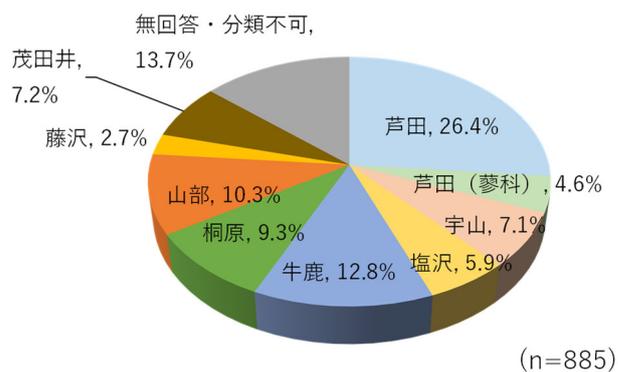


図. 回答者の居住地（回答人数）

4-3-2. 最寄りバス停及びバス停までの所要時間

- ・最寄りバス停は「立科町役場前」、「細谷公民館」等が特に多くなっている。
- ・最寄りバス停までの所要時間は約7割がおよそ5分以内となっている。
- ・地区別に見ると、芦田（蓼科）地区では約4割が最寄りバス停まで10分以上を要する。

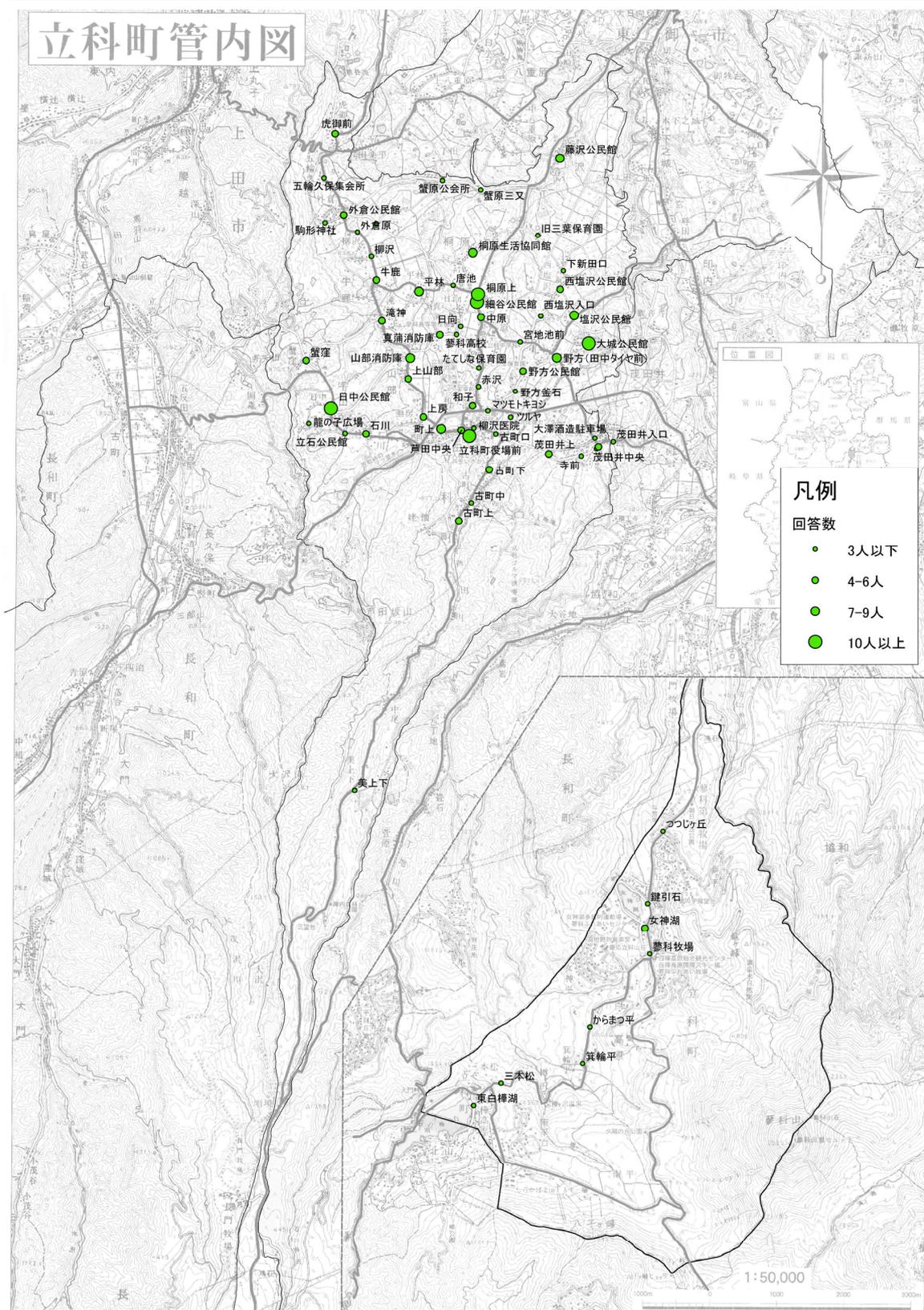


図. 最寄りバス停

表 最寄りバス停までの所要時間

自宅からバス停まで	回答数	構成比
(徒歩) 1分以内	38	11.0%
(徒歩) 約2～3分	107	30.8%
(徒歩) 約4～5分	112	32.3%
(徒歩) 約6～9分	11	3.2%
(徒歩) 約10～19分	47	13.5%
(徒歩) 約20分以上	6	1.7%
無回答	26	7.5%
合計	347	100.0%

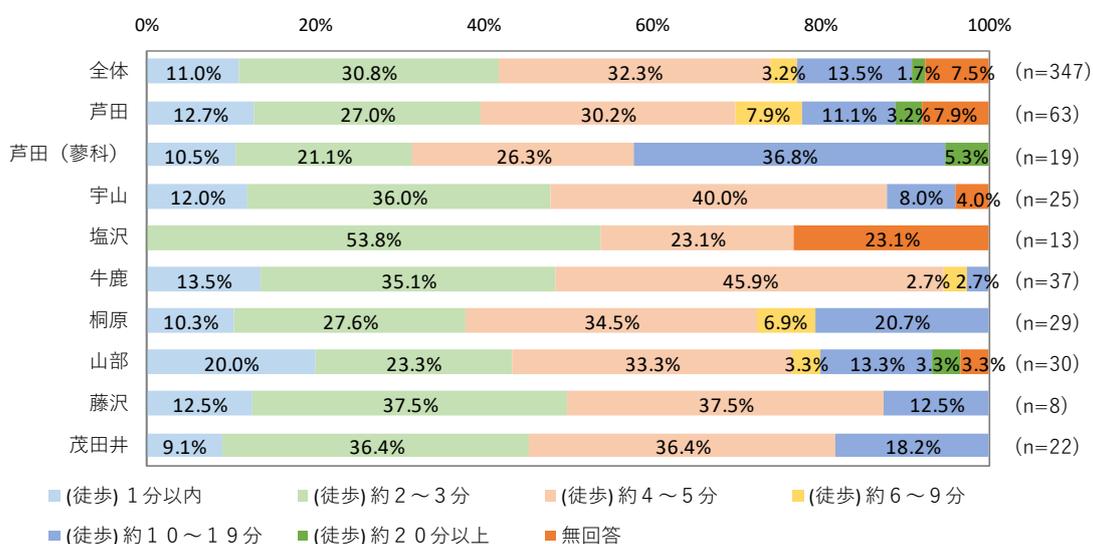


図. 最寄りバス停までの所要時間 (地区別)

4-3-3. 年代

・回答者の年代は、60歳代以上が約半数を占めている（70歳以上約35%、60歳代約19%）。

表 回答者の年代

年齢	回答数	構成比
10歳代	30	3.4%
20歳代	47	5.3%
30歳代	62	7.0%
40歳代	109	12.3%
50歳代	146	16.5%
60歳代	169	19.1%
70歳以上	309	34.9%
無回答	13	1.5%
合計	885	100.0%

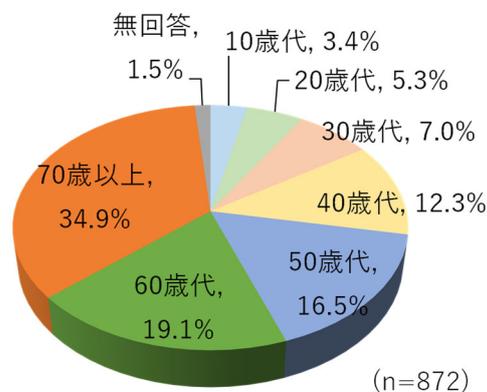


図. 回答者の年代

4-3-4. 職業

・回答者の職業は、「会社員・公務員」が約33%で最も高く、次いで「農業」が約18%となっている。

表 回答者の職業

職業	回答数	構成比
農業	163	18.4%
会社員・公務員	290	32.8%
自営業	64	7.2%
パート・アルバイト	93	10.5%
家事専業	43	4.9%
大学・短大生等	12	1.4%
高校生（部活あり）	12	1.4%
高校生（部活なし）	8	0.9%
無職	158	17.9%
その他	21	2.4%
無回答	21	2.4%
合計	885	100.0%

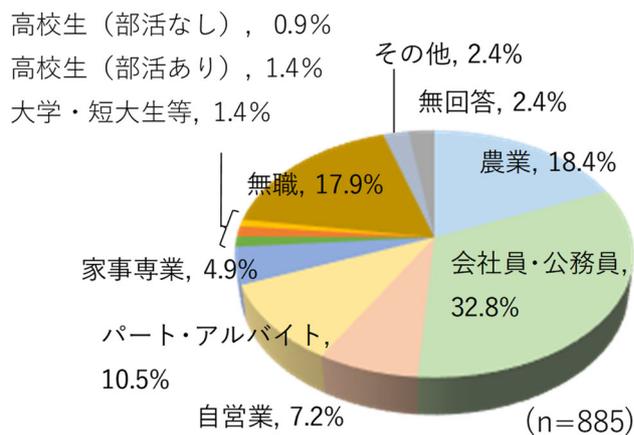


図. 回答者の職業

【その他の意見】（ ）内は回答数

- ・福祉事業所（2） ・団体職員（3） ・臨時職員 ・施設入所中 ・サービス業 ・作業所
- ・障がい者施設 ・嘱託職員 ・テキスタイルデザイナー

4-3-5. 車・バイクの免許の有無

- ・回答者の8割以上が運転免許を持っている。
- ・年代別にみると、70歳以上でも7割以上が運転免許を持っている。

表 車・バイクの免許の有無

免許の有無	回答数	構成比
免許有	749	84.6%
免許無	118	13.3%
無回答	18	2.0%
合計	885	100.0%

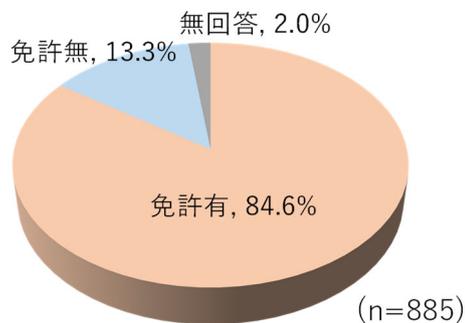


図. 車・バイクの免許の有無

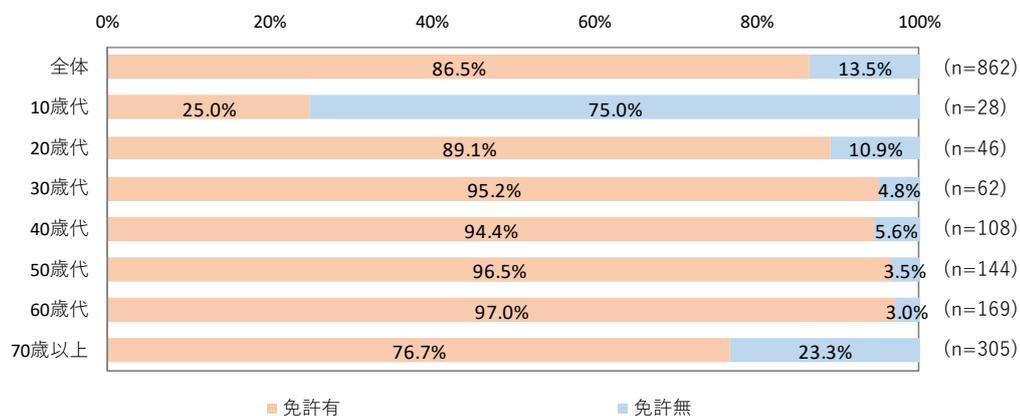


図. 車・バイクの免許の有無 (年代別)

4-3-6. 自ら自由に利用できる車・バイクの有無

- ・回答者の約8割が「自ら自由に利用できる車・バイクを所有している」と回答している。
- ・年代別にみると、70歳以上でも7割以上が「自ら自由に利用できる車・バイクを所有している」と回答している。

表 自ら自由に利用できる車・バイクの有無

自由に利用できる車・バイクの有無	回答数	構成比
車・バイク 有	707	79.9%
車・バイク 無	132	14.9%
無回答	46	5.2%
合計	885	100.0%

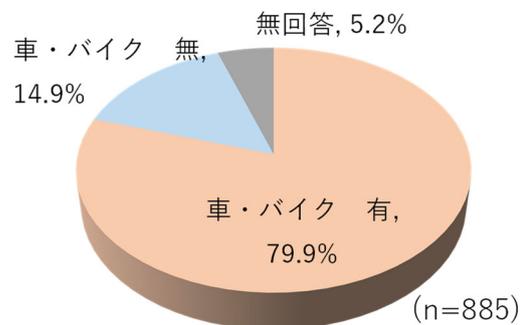


図. 自ら自由に利用できる車・バイクの有無

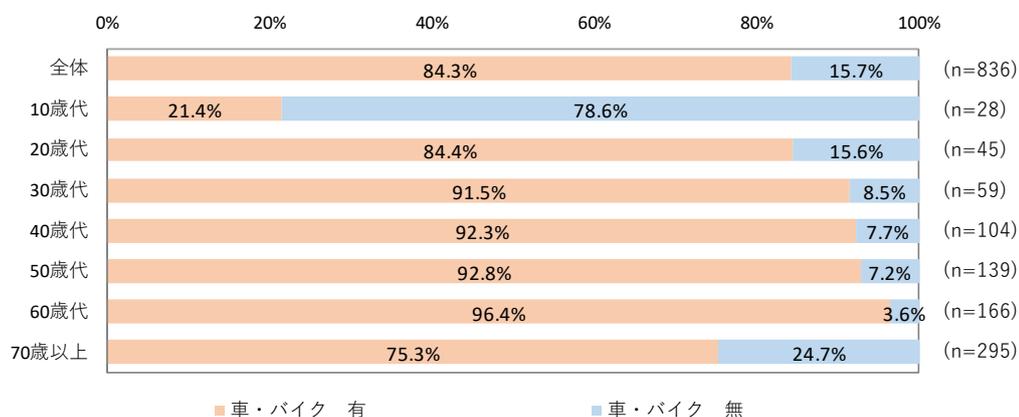


図. 自ら自由に利用できる車・バイクの有無 (年代別)

4-3-7. 平日(月～金曜日)の外出行動

(1) 代表的な外出目的(平日)

- ・ 平日の外出目的は、「通勤」が約 51%と最も多く、次いで「買い物」が約 24%となっている。
- ・ 地区別にみると、芦田（蓼科）地区は「買い物」の割合が約 47%で他地区に比べて高くなっている。
- ・ 年代別にみると、20 歳～60 歳代では 6 割以上が「通勤」、10 歳代は 8 割以上が「通学」（部活あり+部活なし）となっている。

表 平日（月～金曜日）の外出行動

外出目的	回答数	構成比
通勤	418	50.5%
通学（朝または夕部活がある方）	16	1.9%
通学（部活がない方）	10	1.2%
買い物	198	23.9%
通院	75	9.1%
レジャー・娯楽	24	2.9%
銀行	1	0.1%
町役場	1	0.1%
営業・業務	26	3.1%
塾・習い事	2	0.2%
その他	56	6.8%
合計	827	100.0%

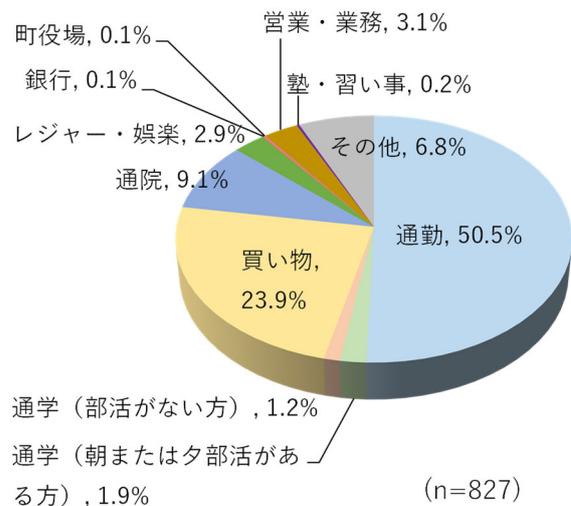


図. 平日（月～金曜日）の外出行動

【その他の意見】（ ）内は回答数

- ・ 送迎（2）・子供をバス停まで送迎（2）・スポーツクラブ（2）・農業・農作業（11）
- ・ デイサービス（3）・奉仕活動・公の仕事・子どもの送迎・犬の散歩・外出しない・田畑
- ・ お見舞い他・アルバイト・通園

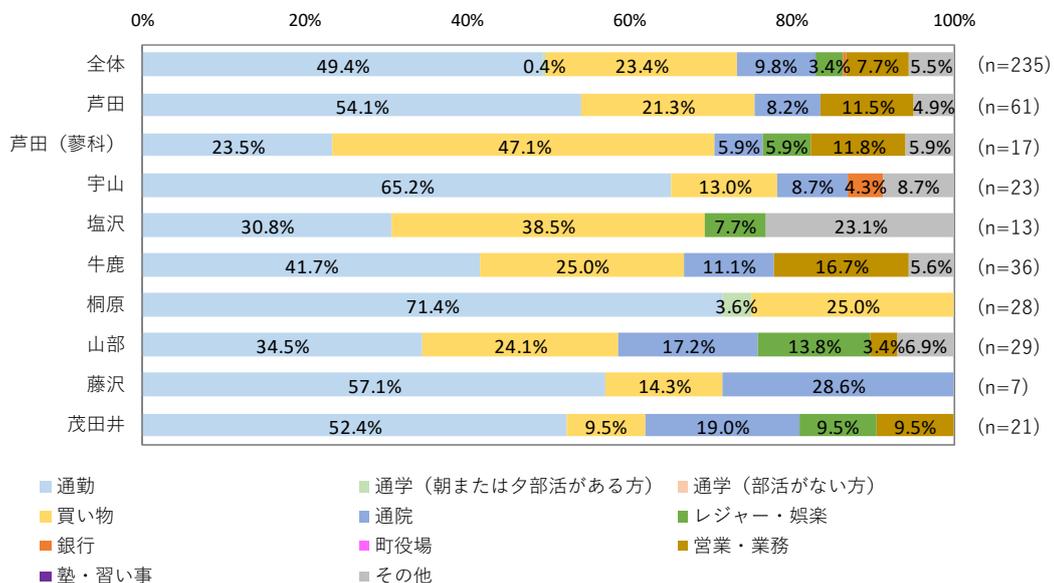


図. 平日（月～金曜日）の外出行動（地区別）

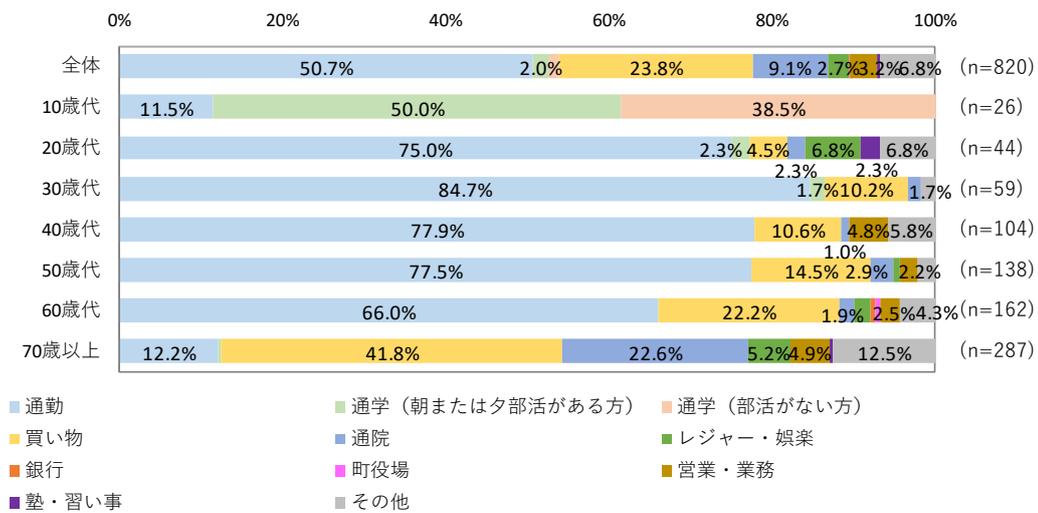


図. 平日（月～金曜日）の外出目的（年代別）

(2) 平日の外出頻度

- ・平日の外出頻度として、「ほぼ毎日」が約64%と最も多く、次いで「2～3日に1回程度」が約17%となっている。
- ・年代別にみると、20歳～50歳代では8割程度が「ほぼ毎日」と回答している。一方、30歳代以降では年齢が高くなるに従い「ほぼ毎日」という回答は低下し、60歳代では約7割、70歳代以上では4割弱となっている。

表 平日（月～金曜日）の外出頻度

外出頻度	回答数	構成比
ほぼ毎日	528	63.8%
2～3日に1回程度	142	17.1%
1週間に1回程度	73	8.8%
1か月に2～3回程度	27	3.3%
1か月に1回程度	42	5.1%
1年に2～3回程度	7	0.8%
その他	9	1.1%
合計	828	100.0%

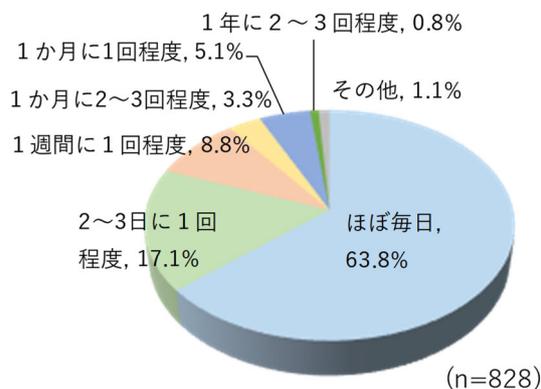


図. 平日（月～金曜日）の外出頻度

【その他の意見】

- ・4日・年に1回・外出しない・泊まり込み

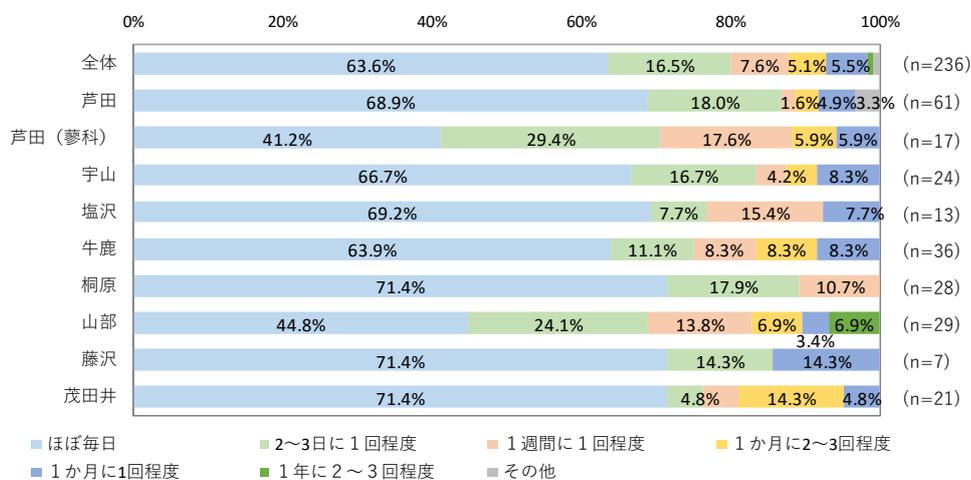


図. 平日（月～金曜日）の外出頻度（地区別）

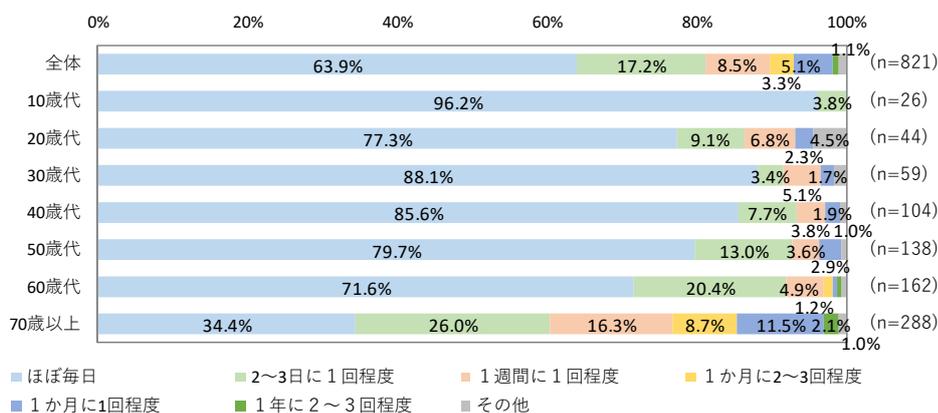


図. 平日（月～金曜日）の外出頻度（年代別）

(3) 平日の外出時間・帰宅時間

- ・外出行動別の外出・帰宅時間をみると、通勤・通学は7～9時頃に外出し、17～19時頃に帰宅するパターンが多くなっている。買い物は9～11時頃に外出し、帰宅時間は分散している。通院は午前中に外出し、帰宅時間は分散している。
- ・外出行動別の目的地滞在時間をみると、通勤・通学は5時間以上が多く、買い物や通院は3時間以下の割合が多くなっている。

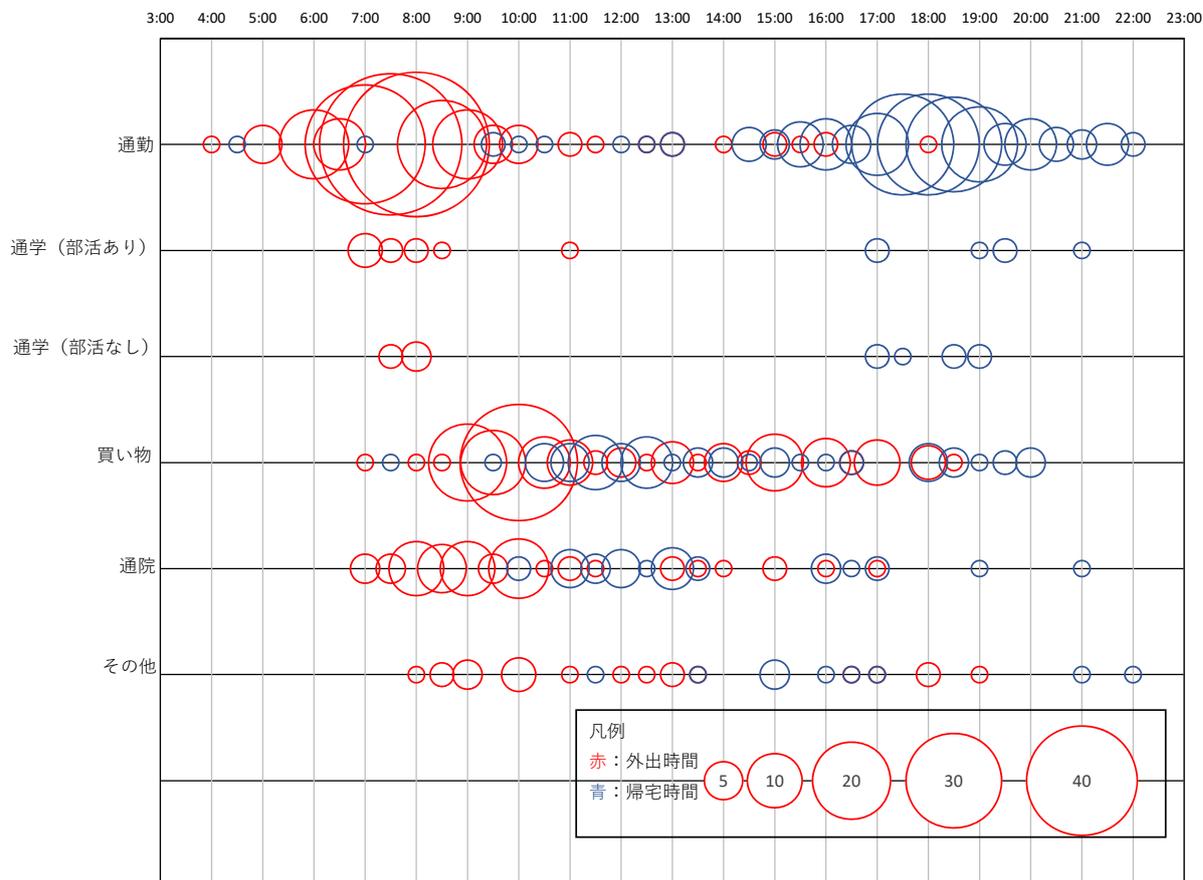


図. 外出行動別の外出・帰宅時間

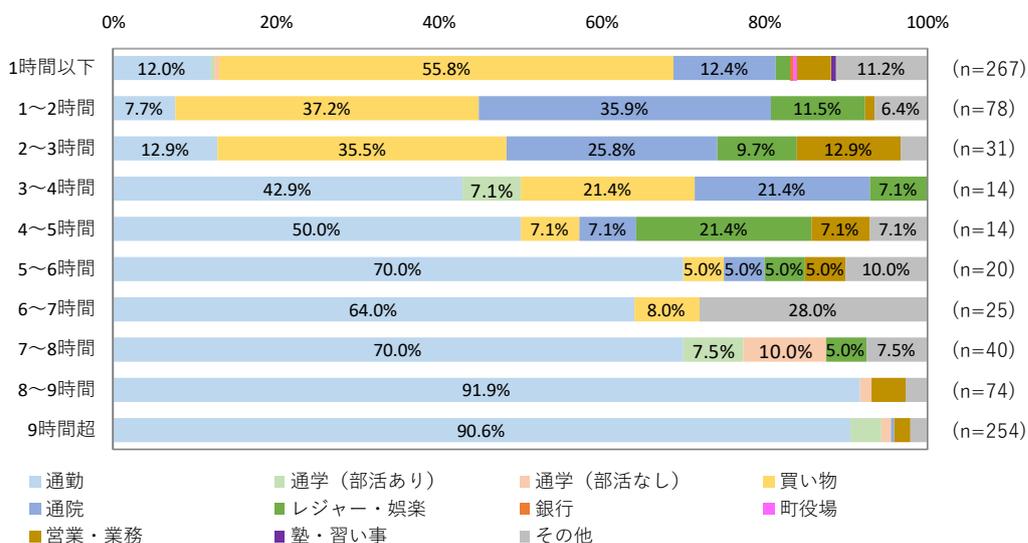


図. 外出行動別の目的地滞在時間

(4) 代表的な外出の目的地(平日)

- ・平日の全目的の流動をみると、町内では芦田地区と牛鹿地区、塩沢地区、宇山地区、山部地区との流動が多くなっている。町外では、芦田地区と佐久市方面、上田市方面との流動が多くなっている。

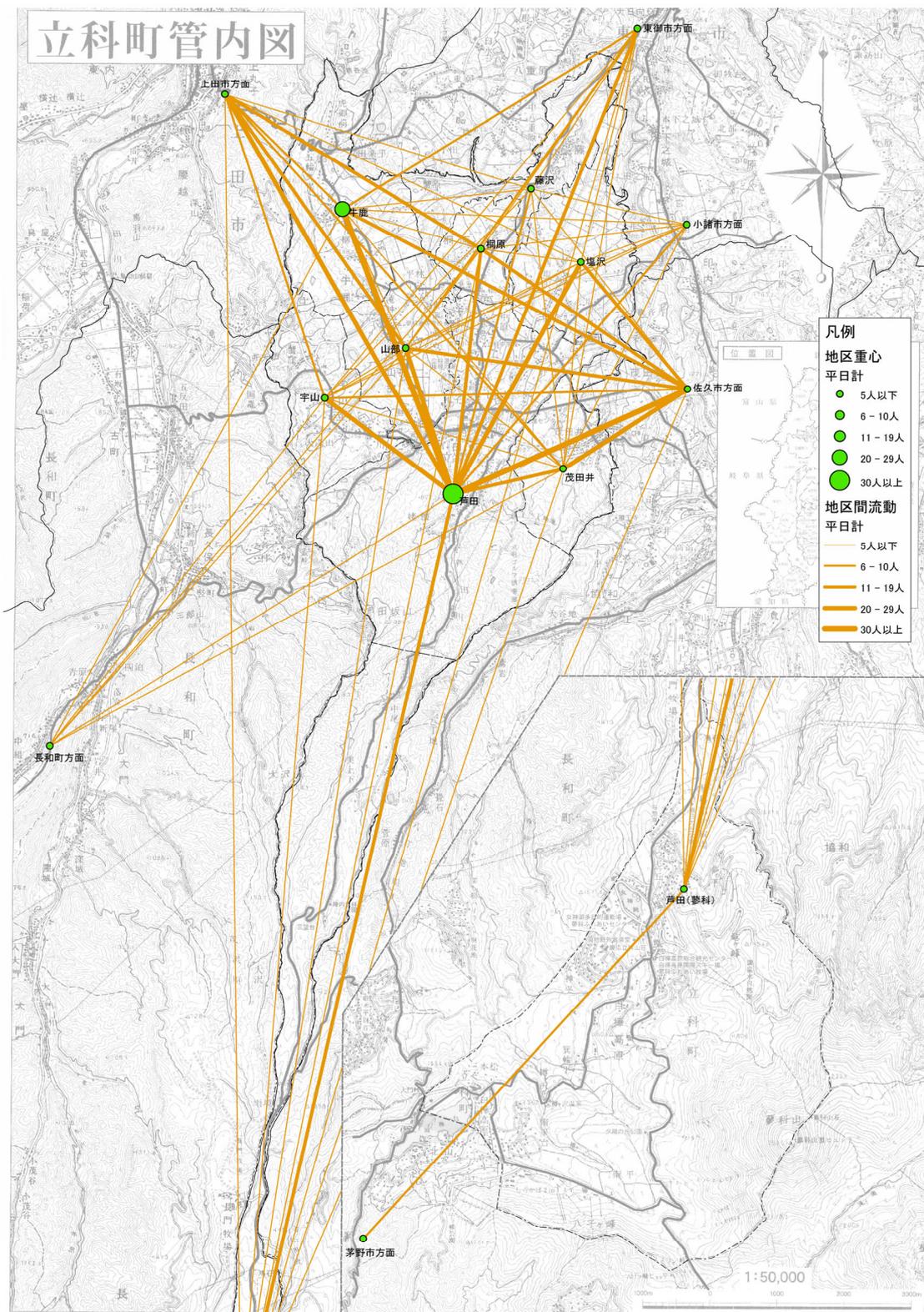


図. 平日の外出行動別の地区間流動 (全目的)

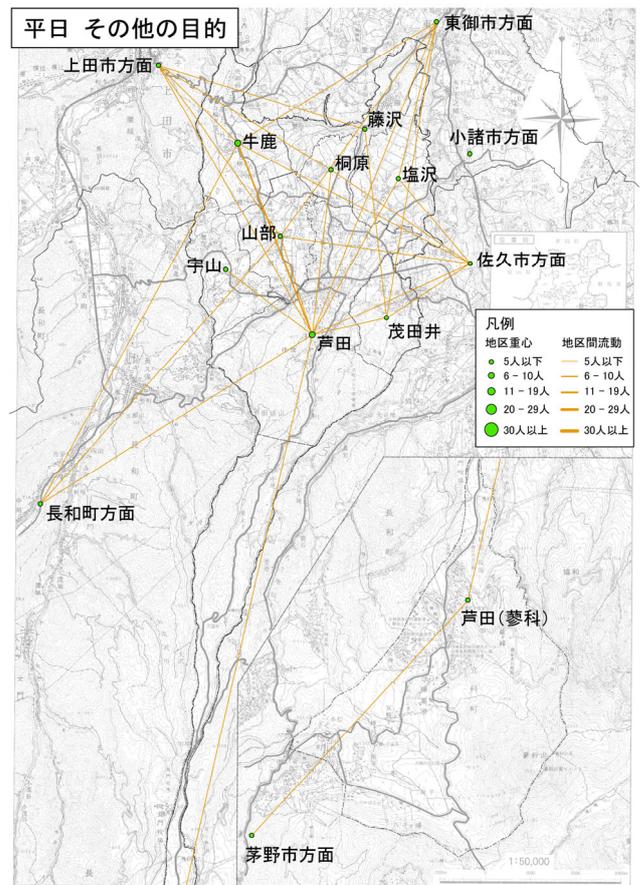
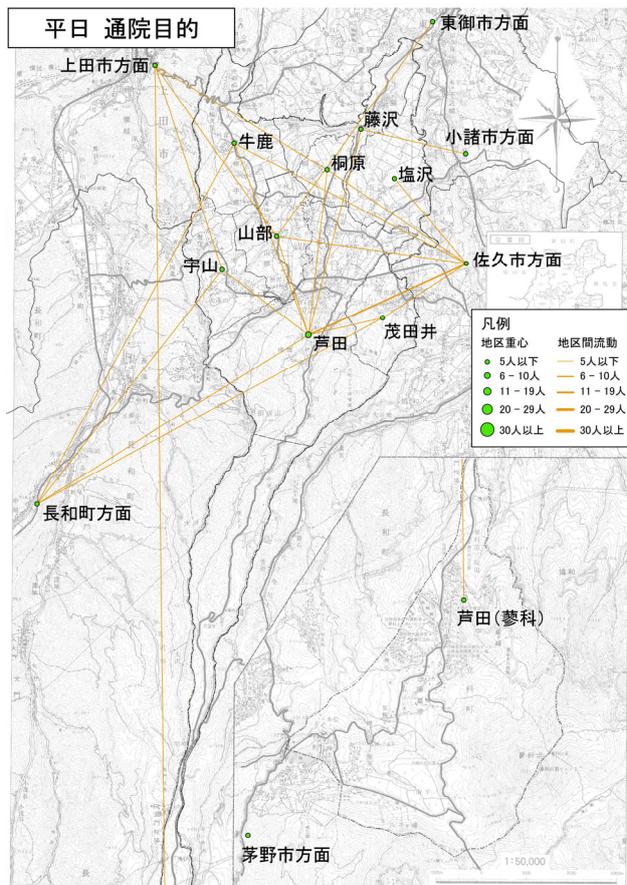
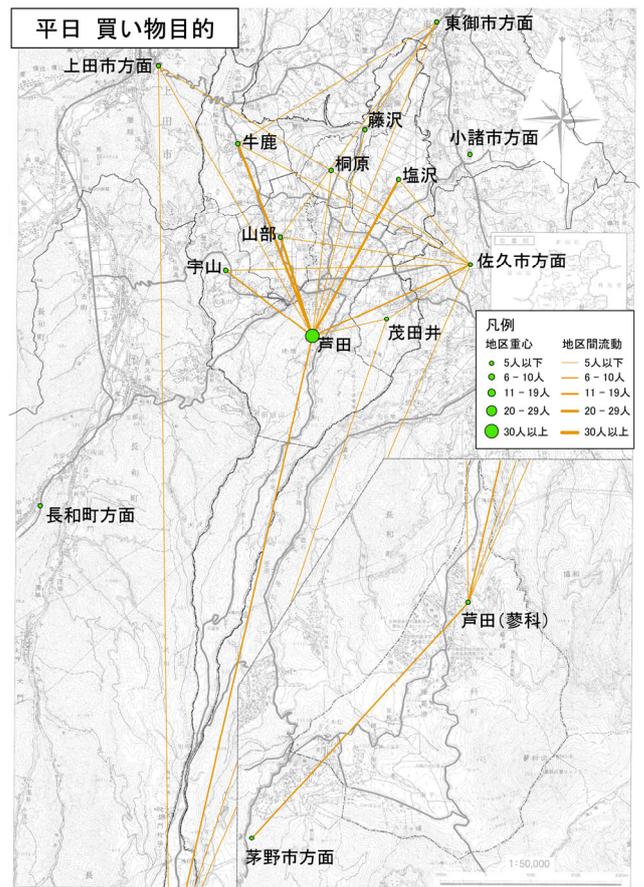
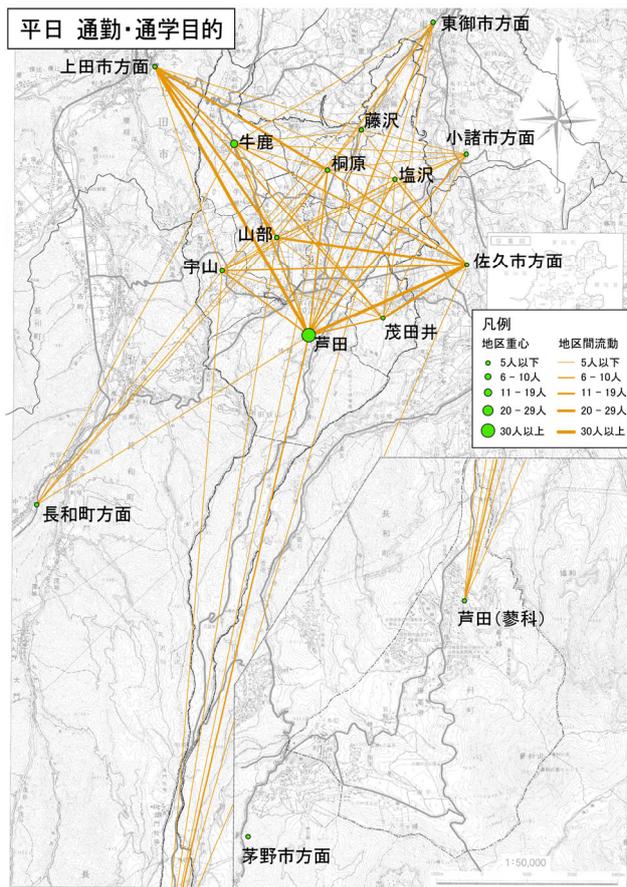


図. 平日の外出行動別の地区間流動 (各目的)

(5) 代表的な外出の際の交通手段(平日)

- ・平日の交通手段として、行き帰りとも「自動車（自ら運転）」が8割以上と高く、次いで「自動車（送迎）」であった。自動車（自ら+送迎）での交通手段が9割以上となっている。
- ・年代別にみると、10歳代は約4割が「自動車（家族等による送迎）」となっており、「路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通）」は約2割である。その他の世代は「自動車（自ら運転）」が7割以上となっている。

【行き】

表 行きの交通手段

交通手段	回答数	構成比
徒歩	11	1.4%
自転車	9	1.1%
バイク	2	0.3%
鉄道	3	0.4%
自動車（自ら運転）	650	82.8%
自動車（家族等による送迎）	81	10.3%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用なし）	2	0.3%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用あり）	0	0.0%
路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通）	14	1.8%
福祉型デマンドタクシー	1	0.1%
その他	12	1.5%
合計	785	100.0%

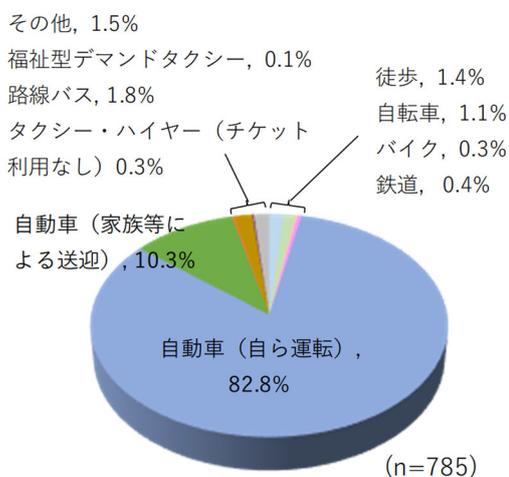


図. 行きの交通手段

【帰り】

表 帰りの交通手段

交通手段	回答数	構成比
徒歩	9	1.1%
自転車	9	1.1%
バイク	2	0.3%
鉄道	3	0.4%
自動車（自ら運転）	648	82.4%
自動車（家族等による送迎）	82	10.4%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用なし）	4	0.5%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用あり）	2	0.3%
路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通）	13	1.7%
福祉型デマンドタクシー	2	0.3%
その他	12	1.5%
合計	786	100.0%

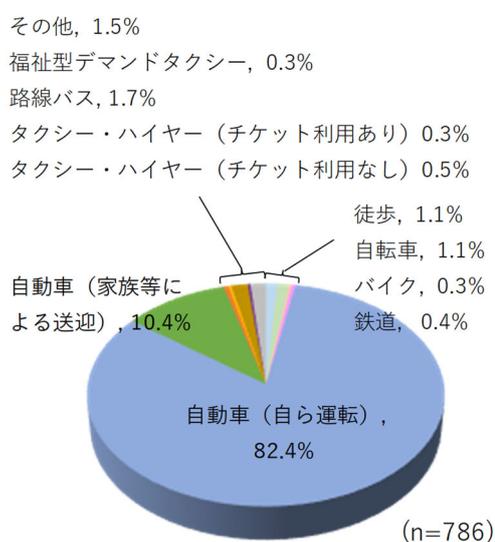


図. 帰りの交通手段

【その他の意見】（ ）内は回答数

- ・福祉事業所の送迎（2）
- ・会社の送迎
- ・送迎車

【行き】

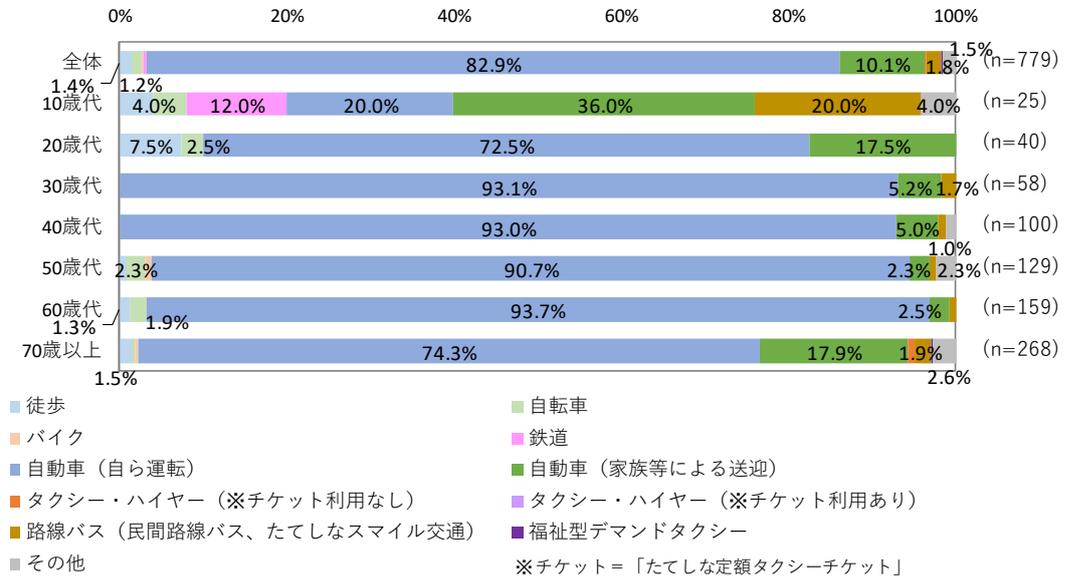


図. 行きの交通手段 (年代別)

【帰り】

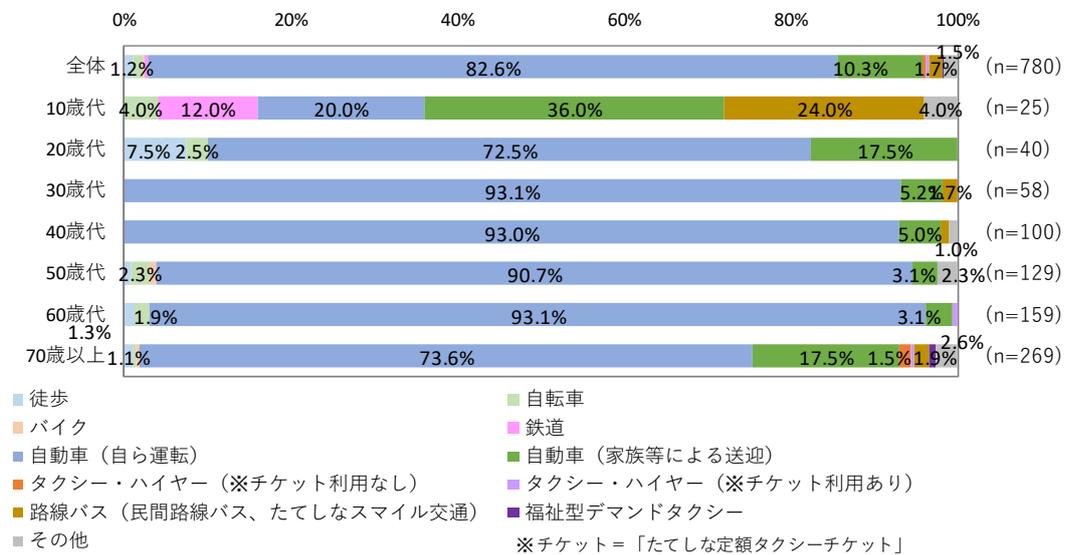


図. 帰りの交通手段 (年代別)

4-3-8. 土日・祝日の外出行動

(1) 代表的な外出目的(土日・祝日)

- ・ 土日・祝日の外出目的は、「買い物」が約 57%と最も多くなっている。
- ・ 年代別にみると、10 歳代では約 4 割が「通学(部活あり)」、20 歳代では約 3 割が「レジャー・娯楽」で他の年代に比べて高く、30 歳代以上では「買い物」が特に多くなっている。

表 土日・祝日の外出目的

外出目的	回答数	構成比
通勤	92	11.9%
通学（朝または夕部活がある方）	10	1.3%
通学（部活がない方）	0	0.0%
買い物	443	57.3%
通院	20	2.6%
レジャー・娯楽	108	14.0%
銀行	1	0.1%
町役場	1	0.1%
営業・業務	20	2.6%
塾・習い事	16	2.1%
その他	62	8.0%
合計	773	100.0%

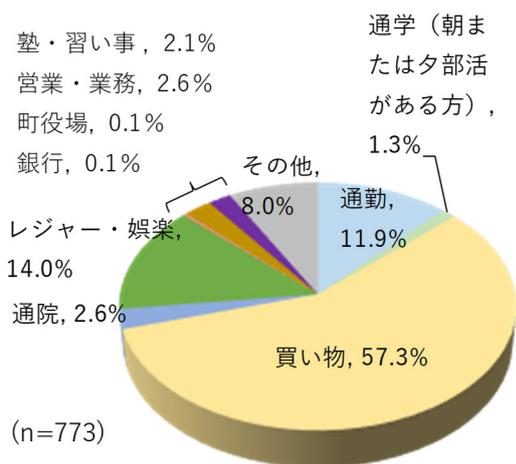


図. 土日・祝日の外出目的

【その他の意見】（ ）内は回答数

- ・ 家の周辺の手入れ（2） ・ 外出しない（出ない）（11） ・ 農業・農作業・畑作業（12）
- ・ 子供の通学送迎（2） ・ アルバイト（2） ・ ない ・ 部活指導 ・ 子の部活の送迎
- ・ アパートと実家への往復 ・ 曜日に関係ない生活のため必要な時だけの外出となる。自分での運転は町内と隣の上田市の近間のみと決めています。

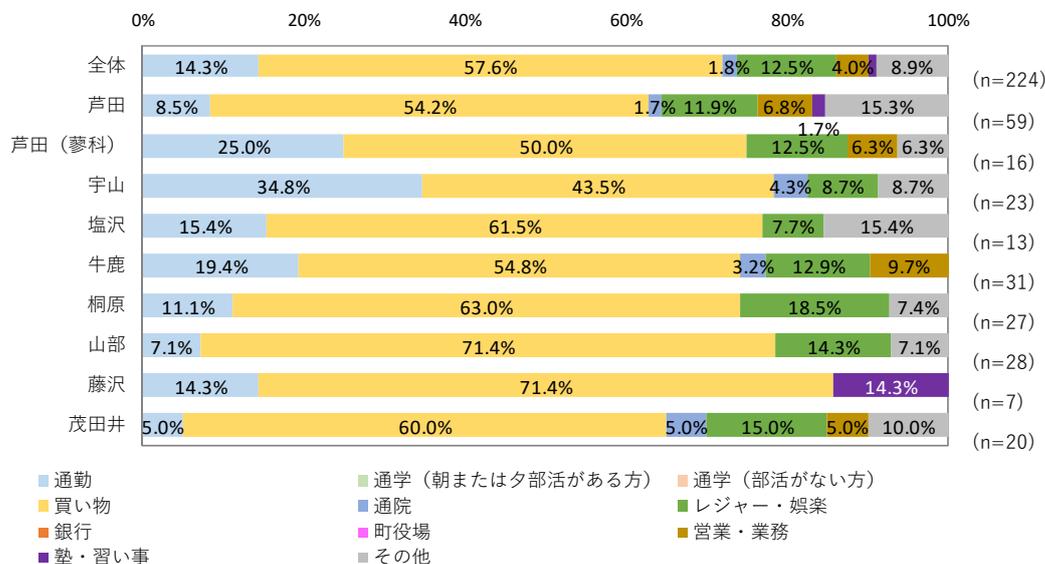


図. 土日・祝日の外出目的（地区別）

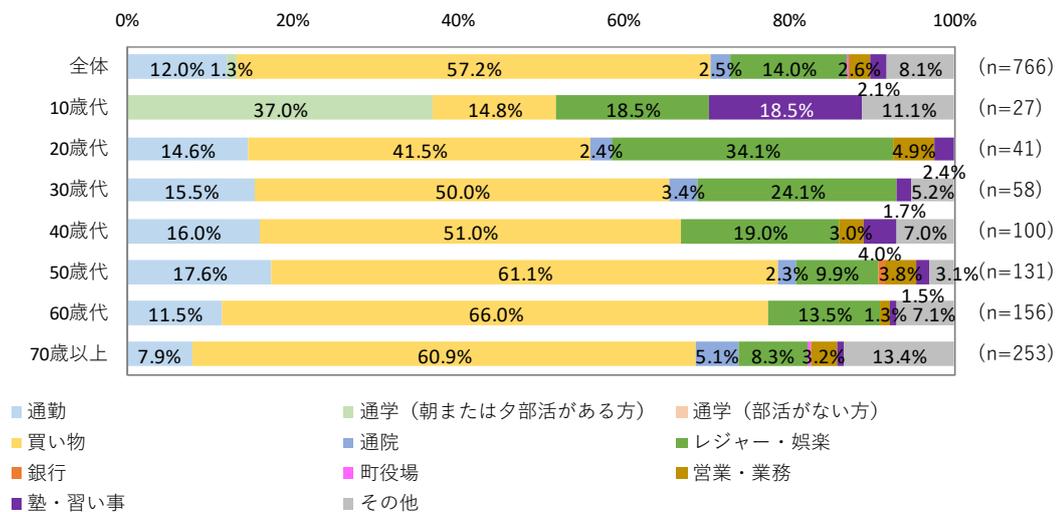


図. 土日・祝日の外出目的 (年代別)

(2) 代表的な外出の目的地(土日・祝日)

- ・ 土日・祝日の全目的の流動をみると、町内では芦田地区と牛鹿地区、山部地区との流動が多くなっている。町外では、芦田地区と佐久市方面、上田市方面との流動が多くなっている。

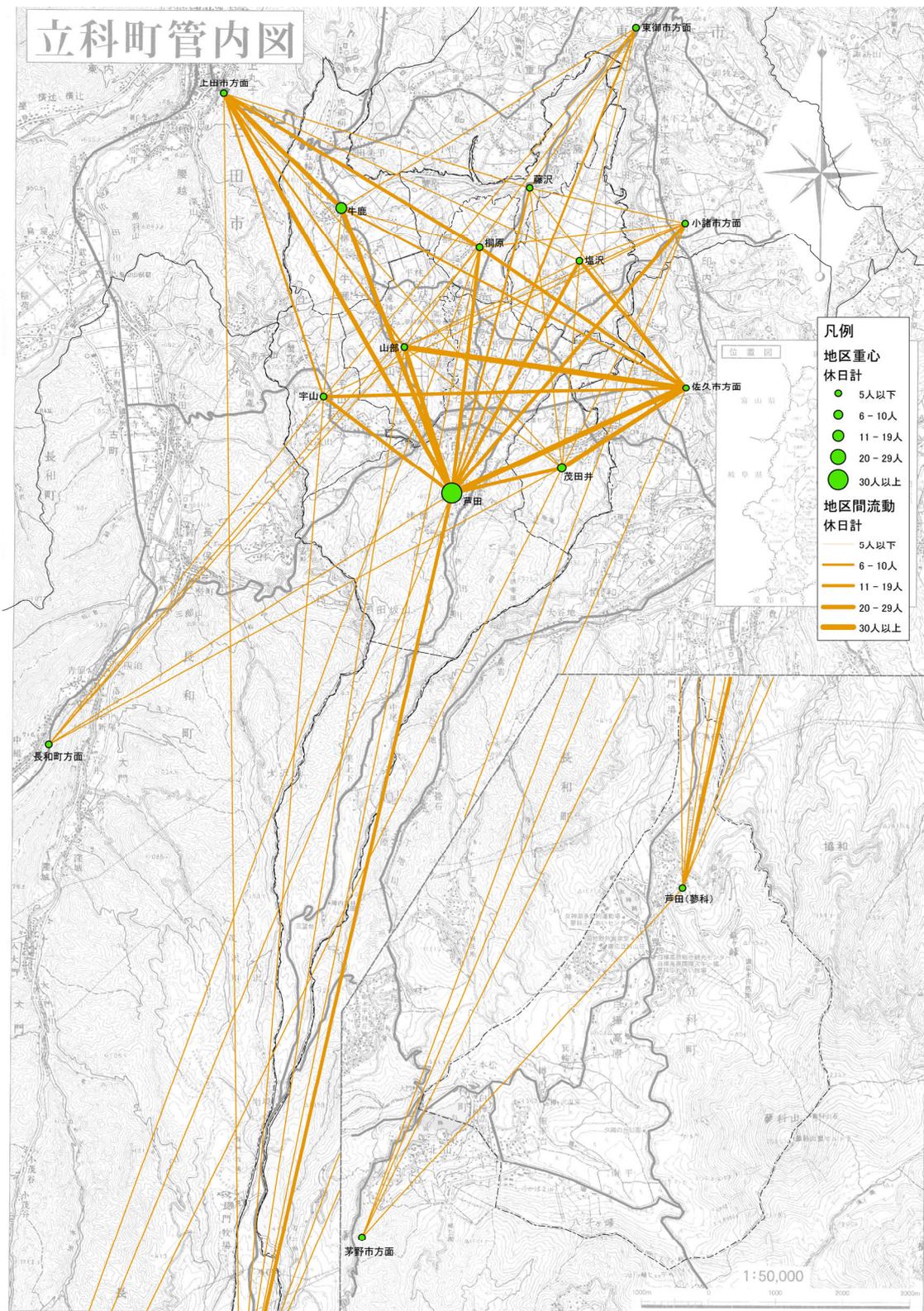


図. 土日・祝日の外出行動別の地区間流動 (全目的)

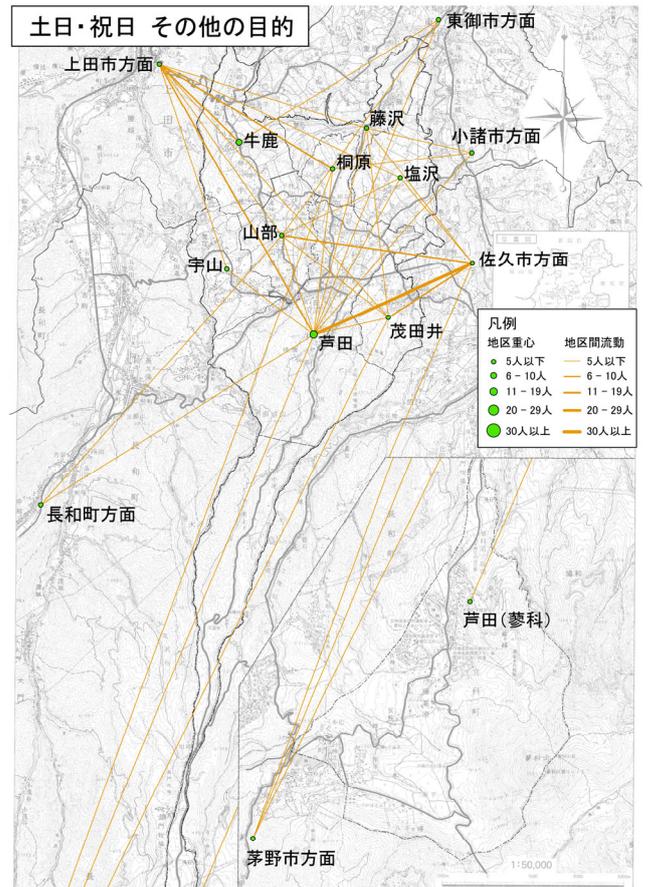
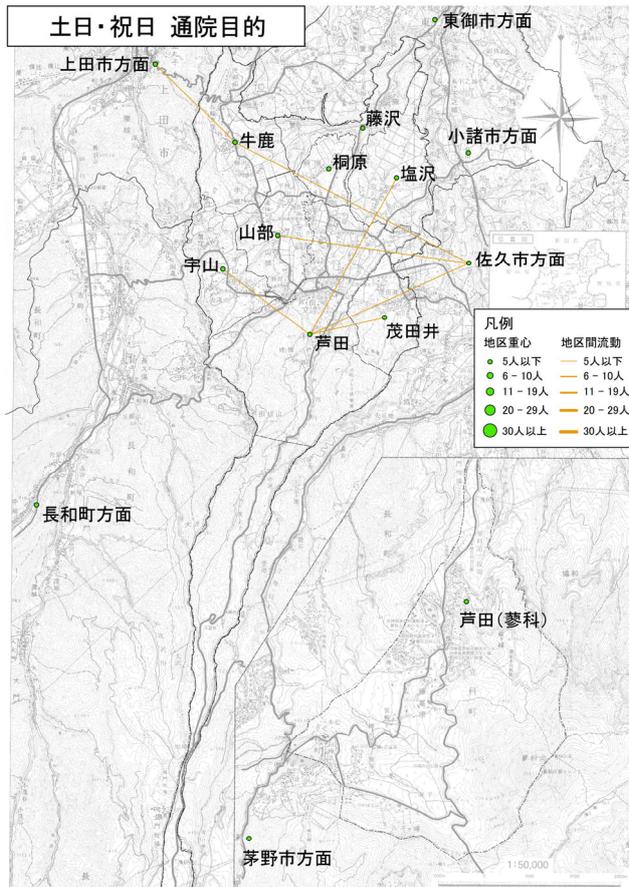
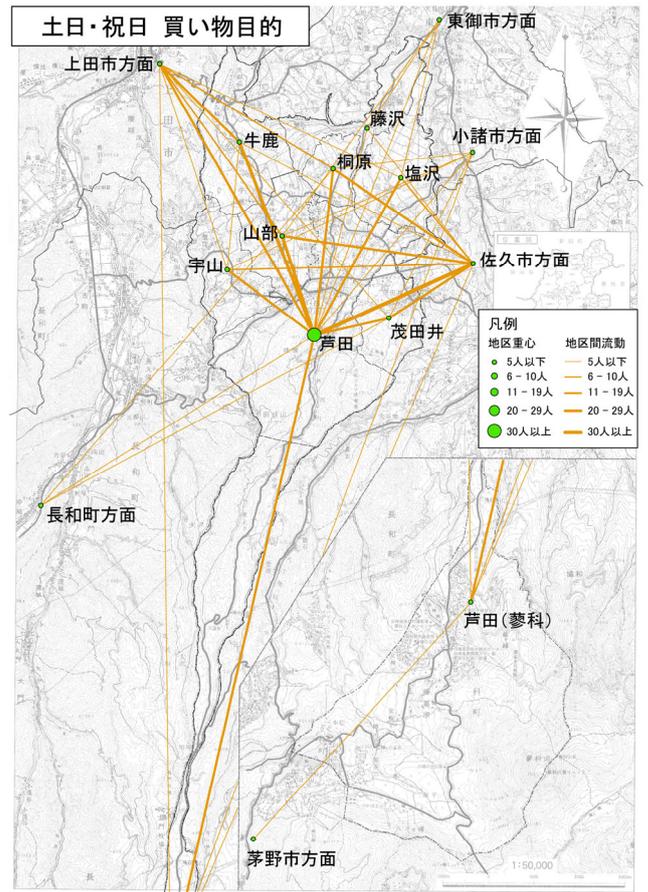
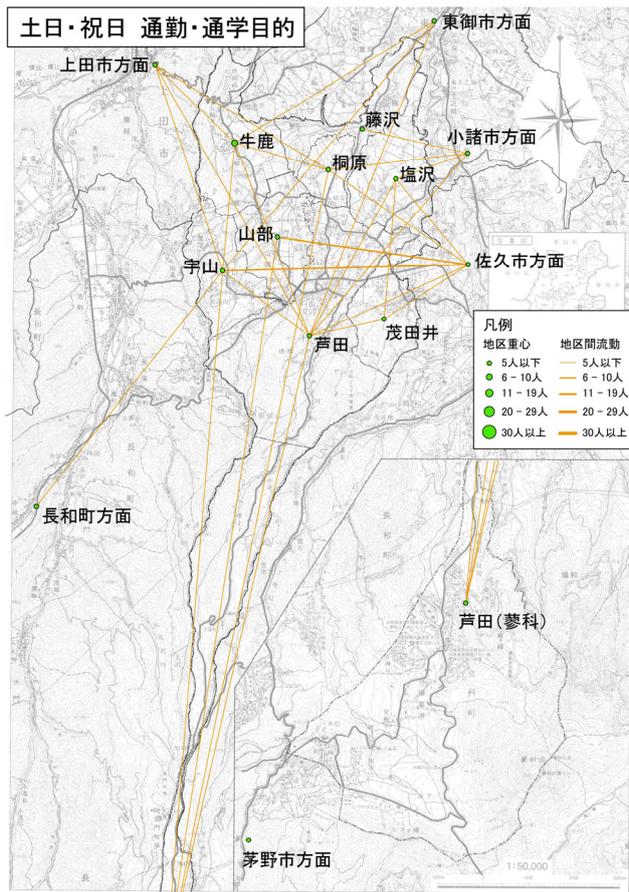


図. 土日・祝日の外出行動別の地区間流動（各目的）

(3) 代表的な外出の際の交通手段(土日・祝日)

- ・ 土日・祝日の交通手段として、行き帰りとも「自動車（自ら運転）」が8割以上と高く、次いで「自動車（送迎）」であった。自動車（自ら+送迎）での交通手段が9割以上となっている。
- ・ 年代別にみると、10歳代は約7割が「自動車（家族等による送迎）」となっている。その他の世代は「自動車（自ら運転）」が7割以上となっている。また、10歳代の「自動車（家族等による送迎）」の利用者のうち、約4~5割は平日も「自動車（家族等による送迎）」を利用している。

【行き】

表 行きの交通手段

交通手段	回答数	構成比
徒歩	7	1.0%
自転車	10	1.4%
バイク	1	0.1%
鉄道	3	0.4%
自動車（自ら運転）	601	81.7%
自動車（家族等による送迎）	103	14.0%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用なし）	0	0.0%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用あり）	0	0.0%
路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通）	5	0.7%
福祉型デマンドタクシー	0	0.0%
その他	6	0.8%
合計	736	100.0%

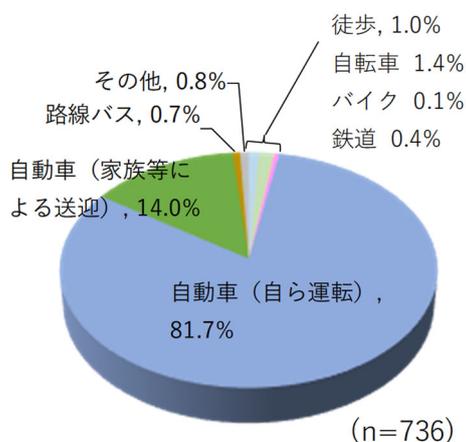


図. 行きの交通手段

【帰り】

表 帰りの交通手段

交通手段	回答数	構成比
徒歩	6	0.8%
自転車	10	1.4%
バイク	1	0.1%
鉄道	3	0.4%
自動車（自ら運転）	592	81.4%
自動車（家族等による送迎）	102	14.0%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用なし）	0	0.0%
タクシー・ハイヤー（たてしな定額タクシーチケット利用あり）	1	0.1%
路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通）	4	0.6%
福祉型デマンドタクシー	1	0.1%
その他	7	1.0%
合計	727	100.0%

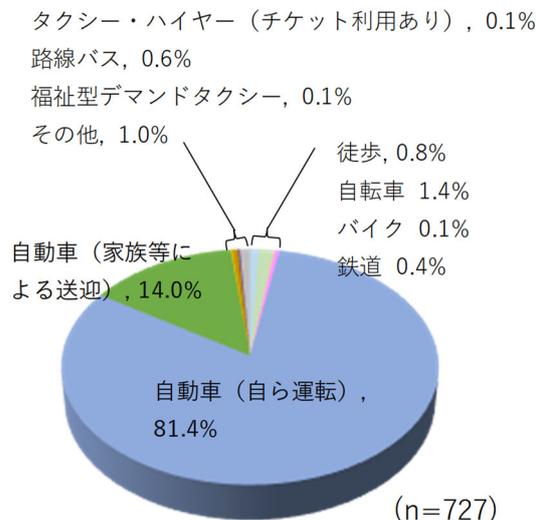


図. 帰りの交通手段

【その他の意見】（ ）内は回答数

- ・ 施設（デイサービスなど）の送迎車（4）
- ・ 送迎車（2） ・ 業者送迎 ・ 会社の送迎
- ・ 千曲バス

【行き】

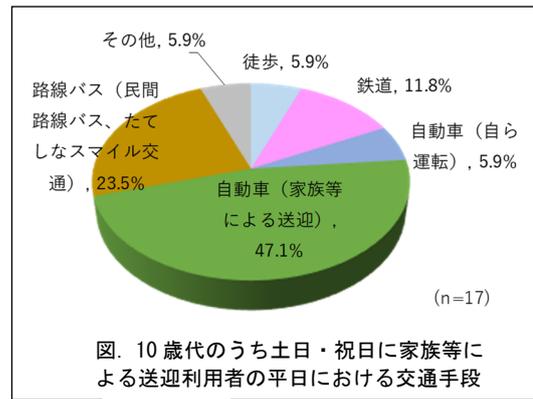


図. 10歳代のうち土日・祝日に家族等による送迎利用者の平日における交通手段

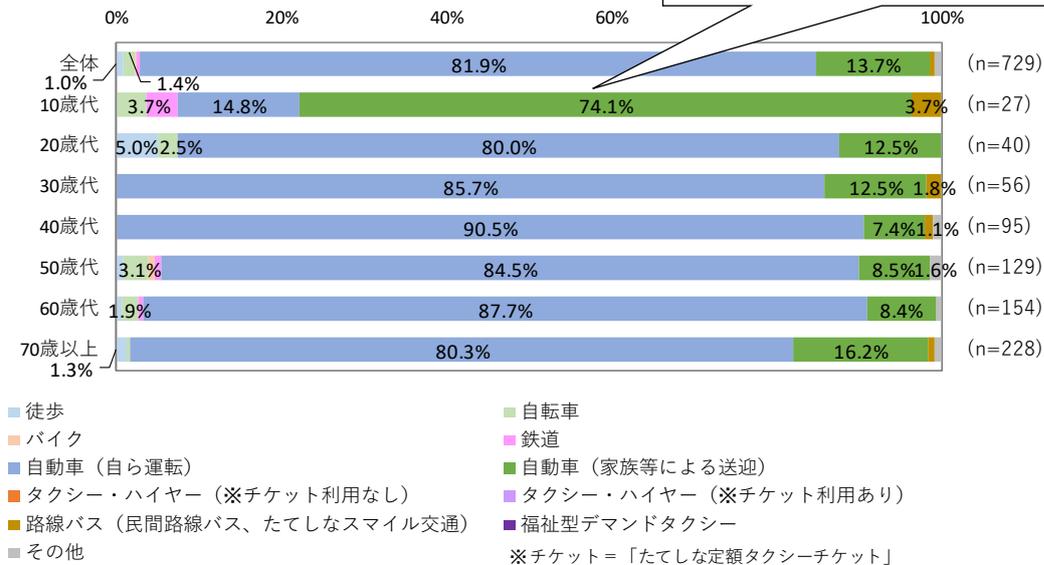


図. 行きの交通手段（年代別）

【帰り】

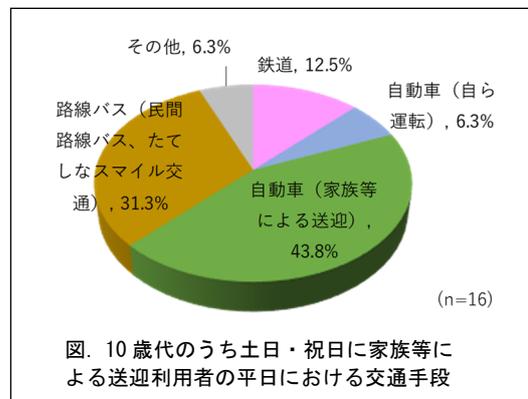


図. 10歳代のうち土日・祝日に家族等による送迎利用者の平日における交通手段

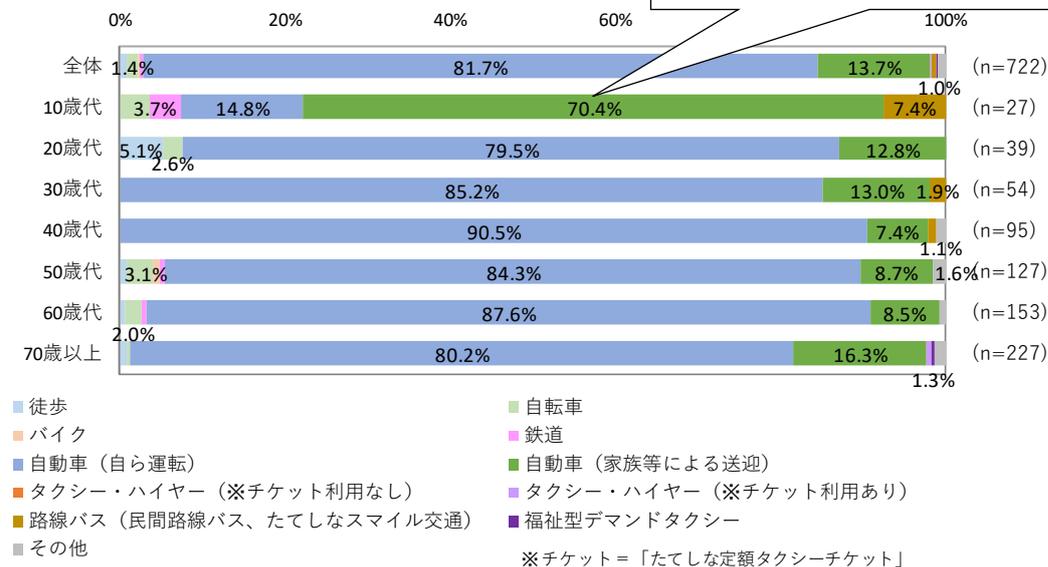


図. 帰りの交通手段（年代別）

4-3-9. 現在の公共交通利用について

※アンケートの質問4、5で交通手段を「公共交通を利用する（選択肢7～9）」選択者対象

(1) 公共交通を利用する理由

・「ほかに自らの移動手段がないから」が最も多く、次いで「目的地まで（目的地近くまで）公共交通があるから」となっている。

表 公共交通を利用する理由

公共交通を利用する理由	回答数	回答率
便利だから	5	16.7%
安心・安全だから	6	20.0%
目的地に早く着くから	2	6.7%
目的地まで（目的地近くまで）公共交通があるから	10	33.3%
目的地まで遠く、（その区間は）公共交通に頼っているから	7	23.3%
ほかに自らの移動手段がないから	17	56.7%
その他	0	0.0%
回答者数	30	

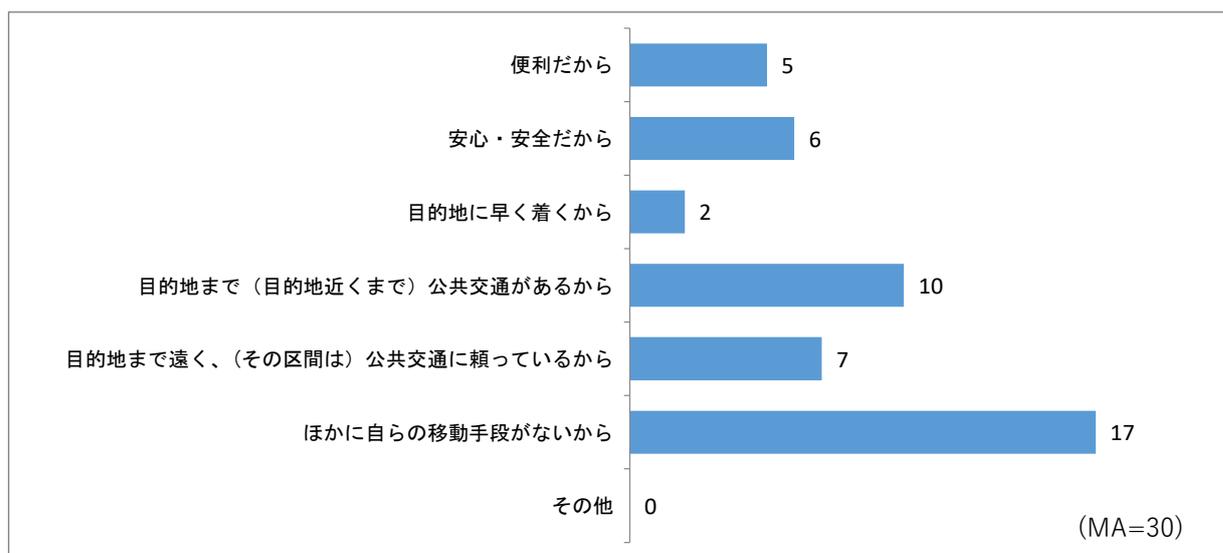


図. 公共交通を利用する理由

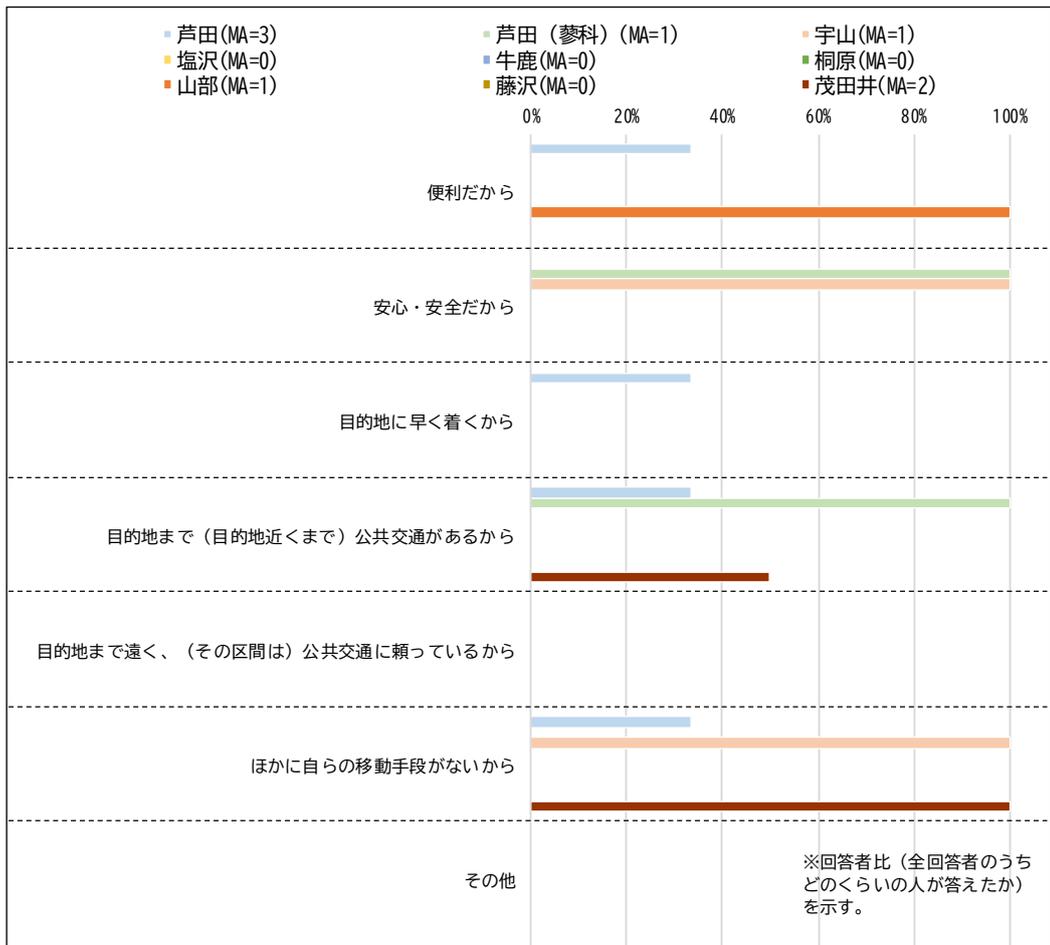


図. 公共交通を利用する理由（地区別）

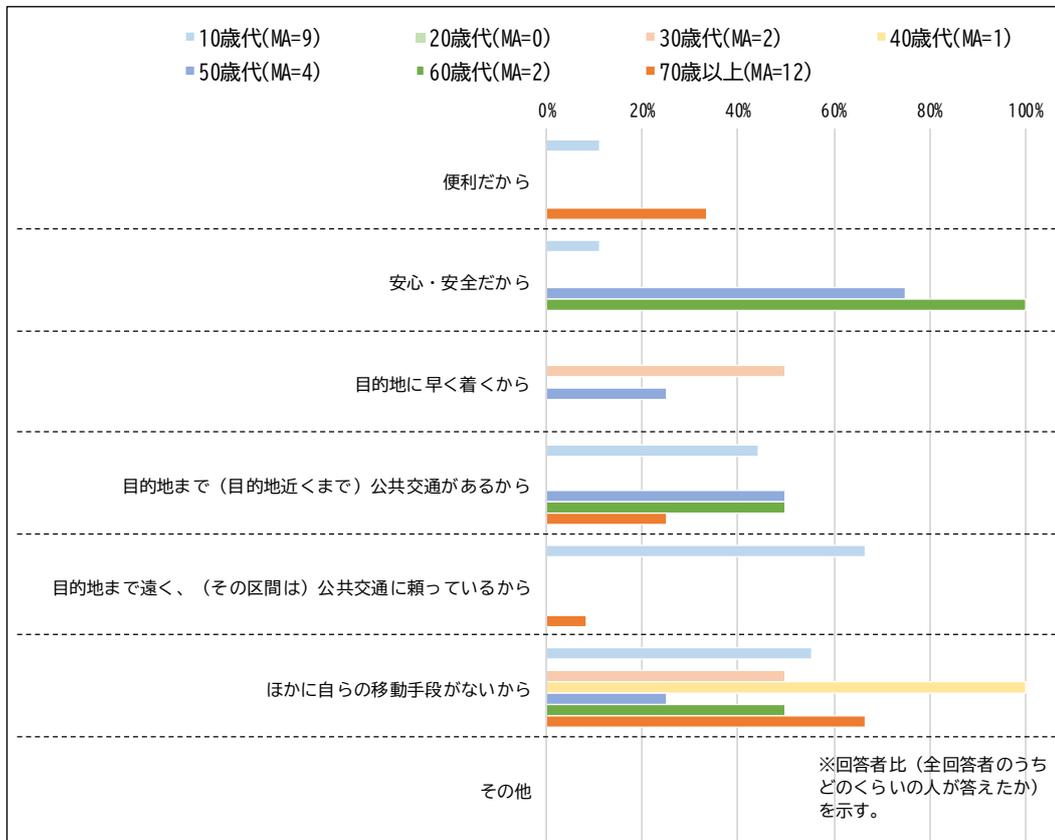


図. 公共交通を利用する理由（年代別）

(2) 公共交通に対する満足度

- ・「まあまあ満足している」が約41%と最も多く、次いで「やや不満を感じる」が31%となっている。
- ・満足（まあまあ満足している+満足している）は約45%、不満（やや不満を感じる+不満である）が約55%であり、不満が満足を上回っている。

表 公共交通に対する満足度

満足度	回答数	構成比
満足している	1	3.4%
まあまあ満足している	12	41.4%
やや不満を感じる	9	31.0%
不満である	7	24.1%
合計	29	100.0%

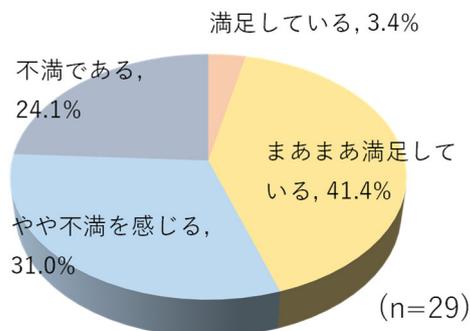


図. 公共交通に対する満足度

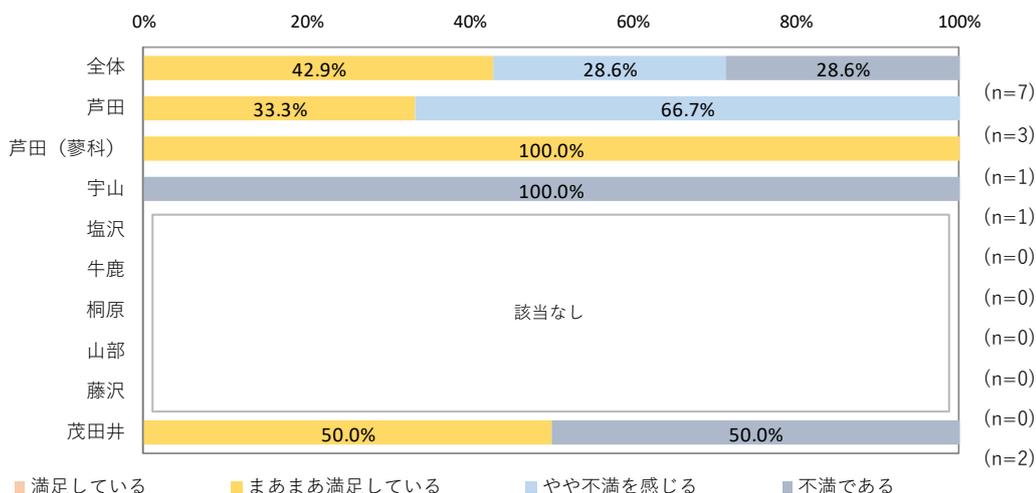


図. 公共交通に対する満足度 (地区別)

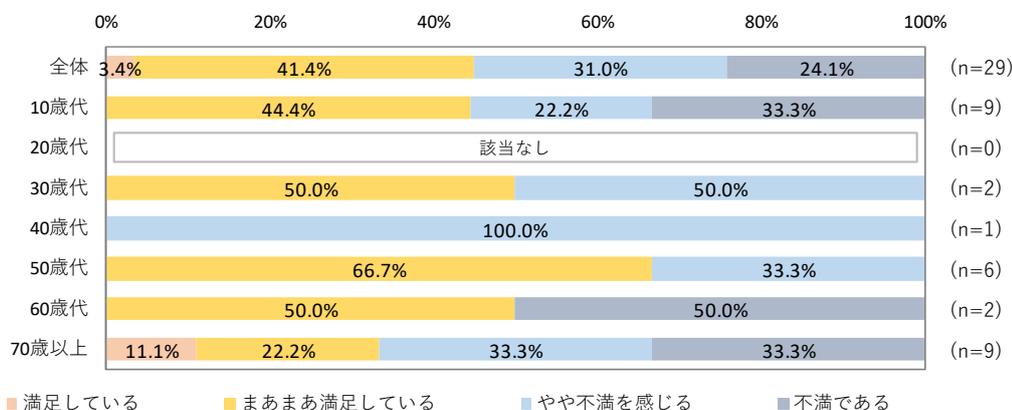


図. 公共交通に対する満足度 (年代別)

(3) 公共交通に不満の理由

※満足度で「不満（3または4）」選択者対象

- ・不満の理由としては、「乗りたい時間に乗れる便がないから」が最も多く、次いで「乗りたい曜日に運行していないから」となっている。

表 不満の理由

不満の理由	回答数	回答率
乗りたい時間に乗れる便がないから	12	63.2%
乗りたい曜日に運行していないから	9	47.4%
目的地まで時間がかかるから	2	10.5%
自宅の近くに乗り降りする場所がないから	2	10.5%
乗り継ぎの接続が悪いから	2	10.5%
運賃が高いから	6	31.6%
段差等があり、乗り降りが不便だから	1	5.3%
その他	2	10.5%
回答者数	19	

【その他意見】

- ・ほぼ全部の項目で不満（1, 3, 4, 5, 6, 7）
- ・土日運行していない、回り道が多い、佐久病院に行ってほしい。

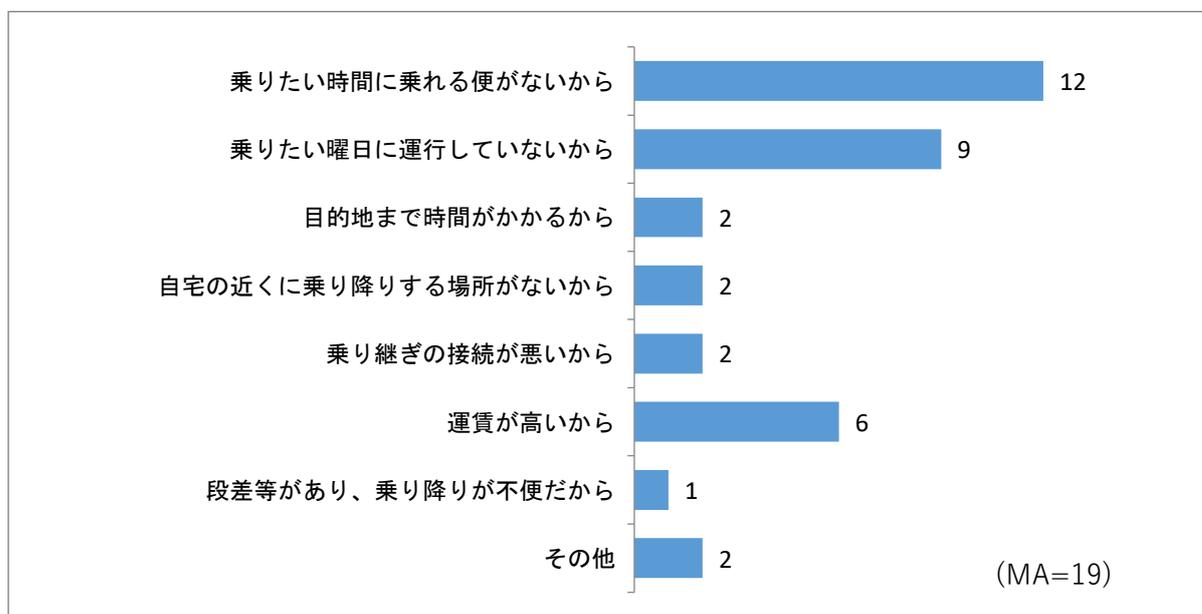


図. 不満の理由

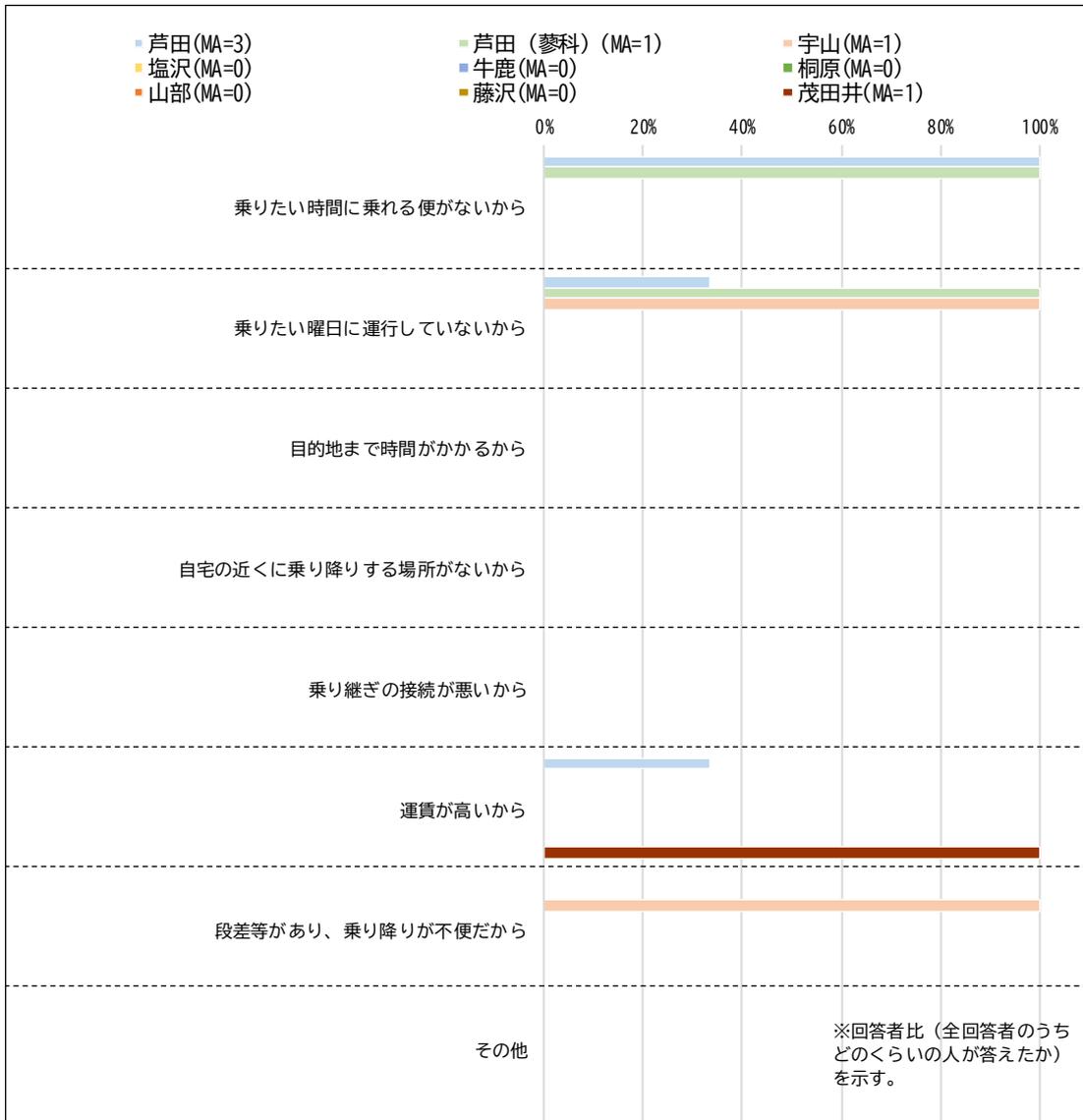


図. 不満な理由（地区別）

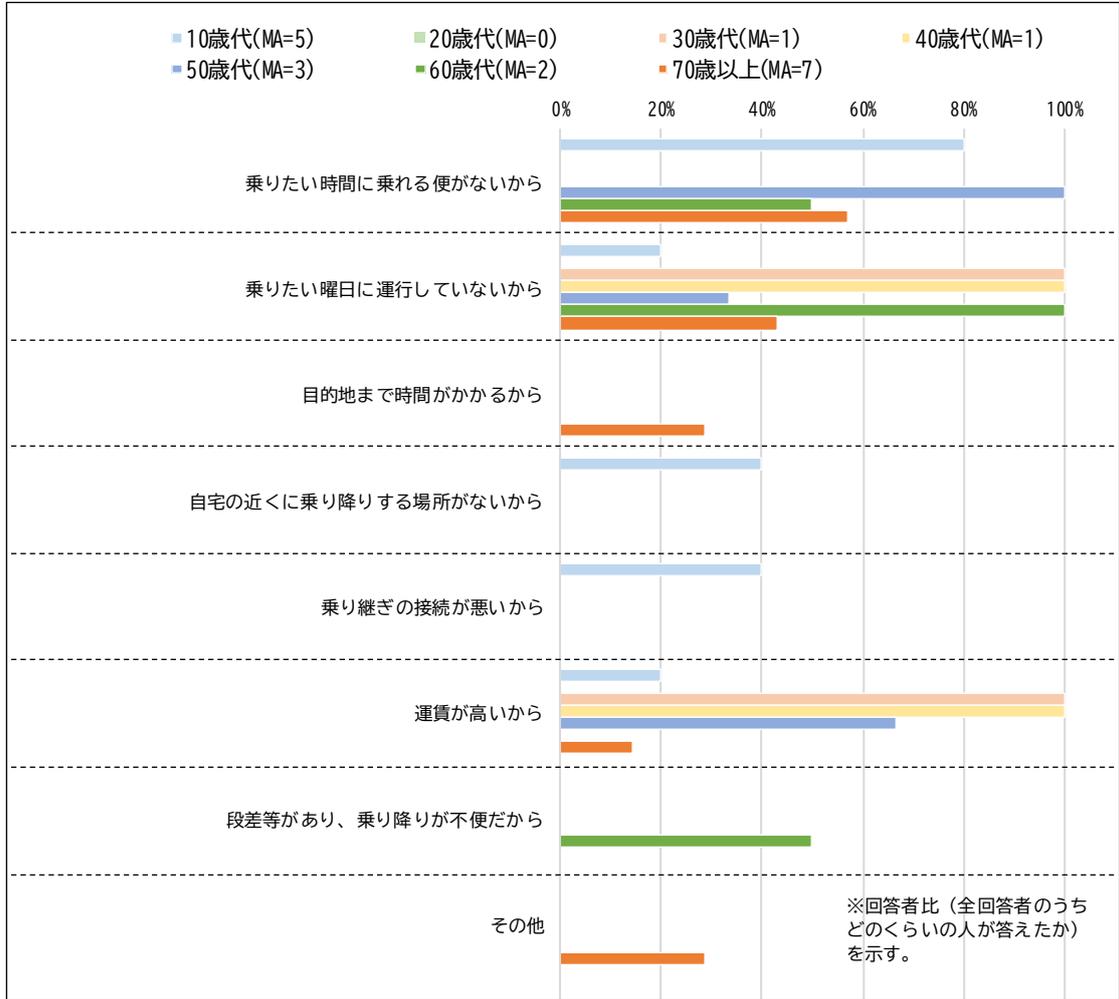


図. 不満な理由（年代別）

(4) 公共交通を利用しない理由

※アンケートの質問4、5で交通手段を「公共交通を全く利用しない（選択肢7～9以外）」
 選択者対象

・「公共交通よりほかの手段が便利だから」が突出して多くなっている。
 ・年代別にみると、10歳代では「行きたい目的地まで公共交通がないから」の回答率が約4割で、それ以外の年代では「公共交通よりほかの手段が便利だから」の回答率が高くなっている。

表 公共交通を利用しない理由

公共交通を利用しない理由	回答数	回答率
目的地が近いから	55	8.2%
公共交通よりほかの手段が便利だから	367	54.9%
送迎してくれる人と時間・方向が同じだから	17	2.5%
行きたい目的地まで公共交通がないから	123	18.4%
乗りたい時間に乗れる便がないから	85	12.7%
乗りたい曜日に運行していないから	17	2.5%
自宅近くにバス停がないから	11	1.6%
公共交通は運賃が高いから	45	6.7%
公共交通は時間がかかるから	54	8.1%
公共交通機関どうしの接続が悪く不便だから	17	2.5%
他人との乗合が嫌だから	3	0.4%
段差等があり乗り降りが不便だから	4	0.6%
その他	122	18.3%
回答者数	668	

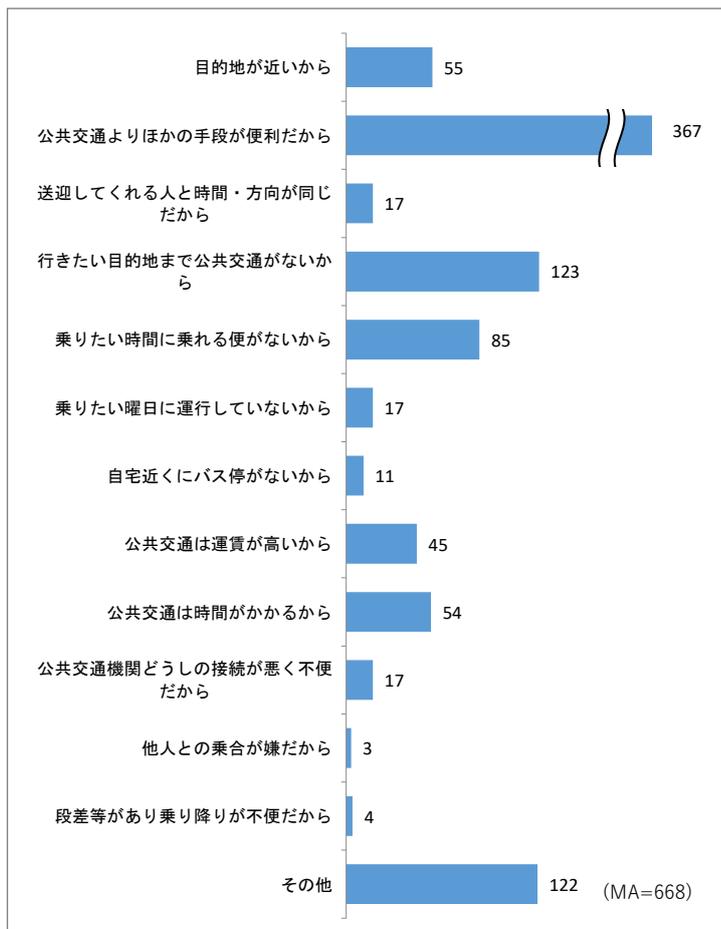


図. 公共交通を利用しない理由

【その他意見】 () 内は回答数

- ・自分で運転できる ・自家用車がある (62) ・自分で運転できるので、自分の都合で動ける (2)
- ・いつでも行かれるから (2) ・自分で運転でき、行きたい所に行けるから (4)
- ・車椅子のため (3) ・必要でない・必要性がない (9)
- ・家族等による送迎・送迎してくれる人がいる (4)
- ・今は車に乗れるから運転できなくなるとわからない (2)
- ・自分の自由になる車があるため (2) ・自家用車を運転できるうちは公共交通を利用しない (2)
- ・車を使って仕事をする ・仕事の場所がばらばら
- ・荷台に乗せる程の荷物があるから ・バスは逆回り線がないから ・施設入所のため
- ・自身で利用できない ・今のところ車等交通手段があるから ・元々自動車の運転が好きである

- ・道具が必要なため、公共交通内持ち込み不可
- ・会社の送迎があるため
- ・自分の都合で動ける
- ・10年間利用させていただき便利でありありがとうございました。幹線ルート5年間は1度乗せて頂いただけです。これからは利用しません。
- ・自家用車の方が便利だから
- ・体力的に無理
- ・年寄りのため、一人では乗車ができない
- ・子ども達もいるので
- ・歩行困難
- ・目的地が一つではない
- ・外出しない

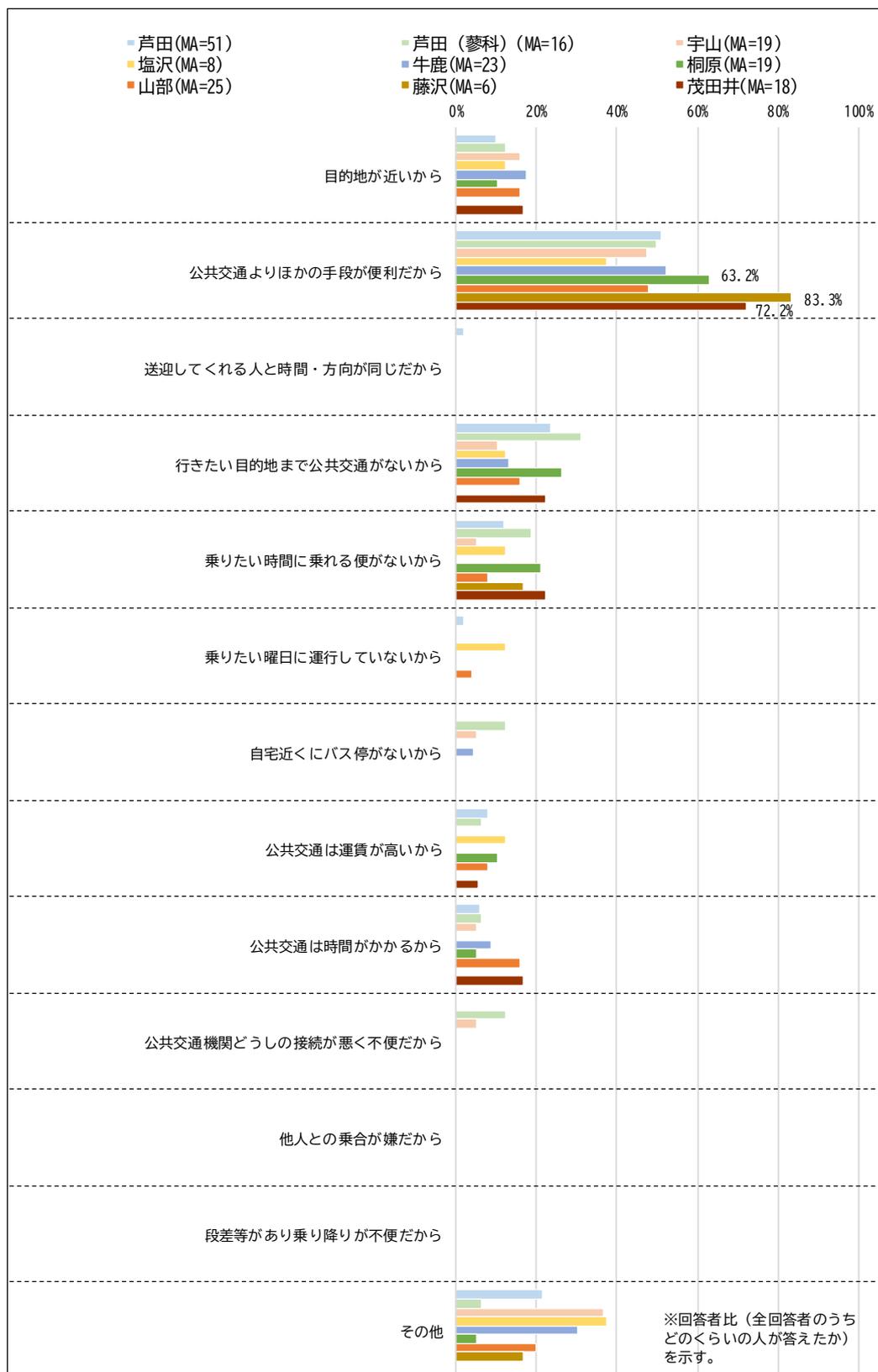


図. 公共交通を利用しない理由（地区別）

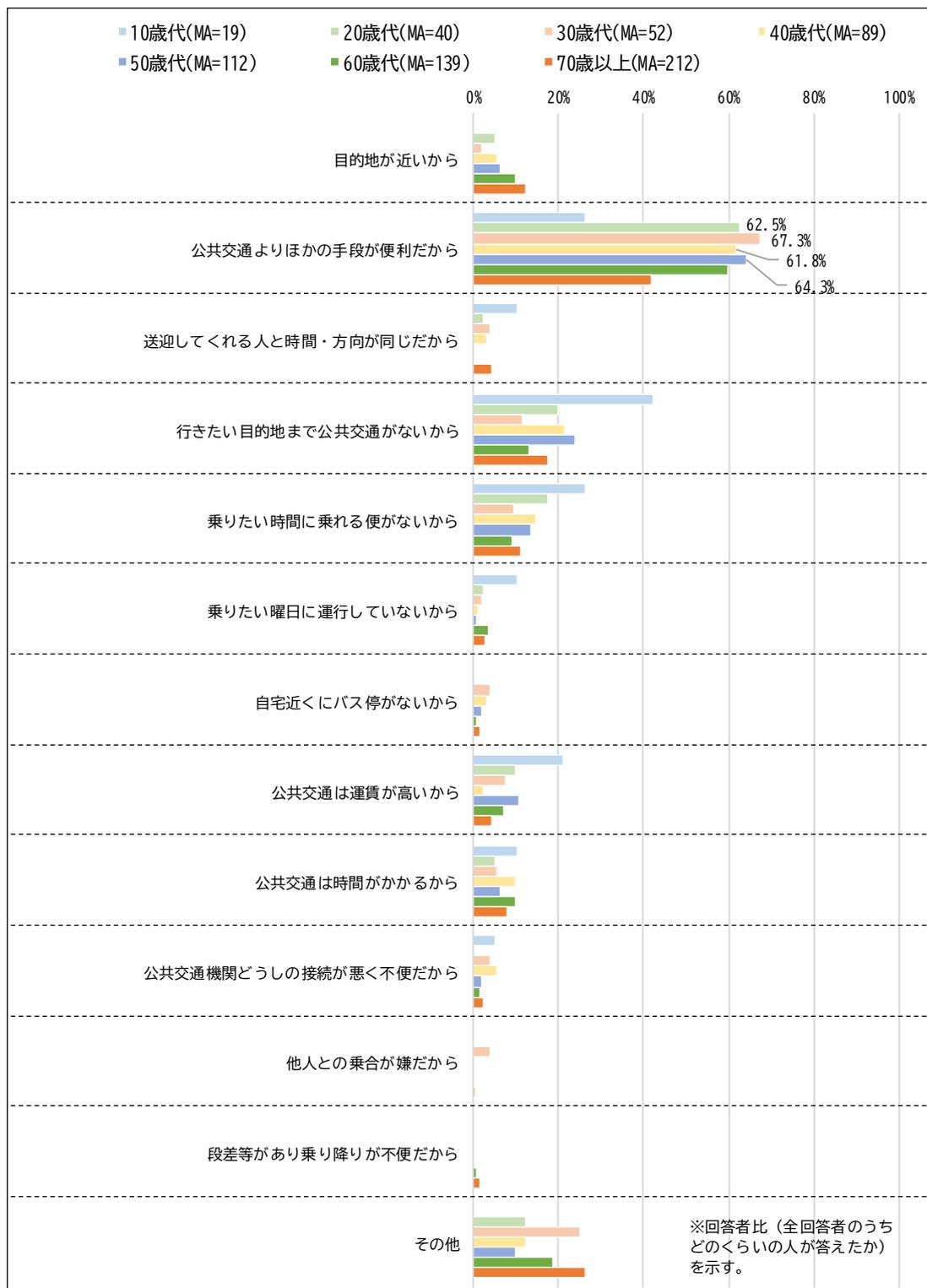


図. 公共交通を利用しない理由（年代別）

(5) 公共交通を利用する場合の条件

- ・「乗りたい時間・曜日に公共交通が走る」と「行きたい目的地まで公共交通ができる」がほぼ同数で多くなっている。
- ・地区別でみると、宇山地区や藤沢地区では「乗りたい時間・曜日に公共交通が走る」の回答率が高くなっている。

表 公共交通を利用する場合の条件

条件	回答数	回答率
行きたい目的地まで公共交通ができる	254	43.2%
乗りたい時間・曜日に公共交通が走る	258	43.9%
自宅の近くにバス停ができる	41	7.0%
運賃が安くなる	83	14.1%
公共交通の時間が短縮される	35	6.0%
公共交通どうしの接続が良くなる	54	9.2%
乗り降りの段差が解消される	5	0.9%
公共交通を利用するつもりはない	152	25.9%
その他	50	8.5%
回答者数	588	

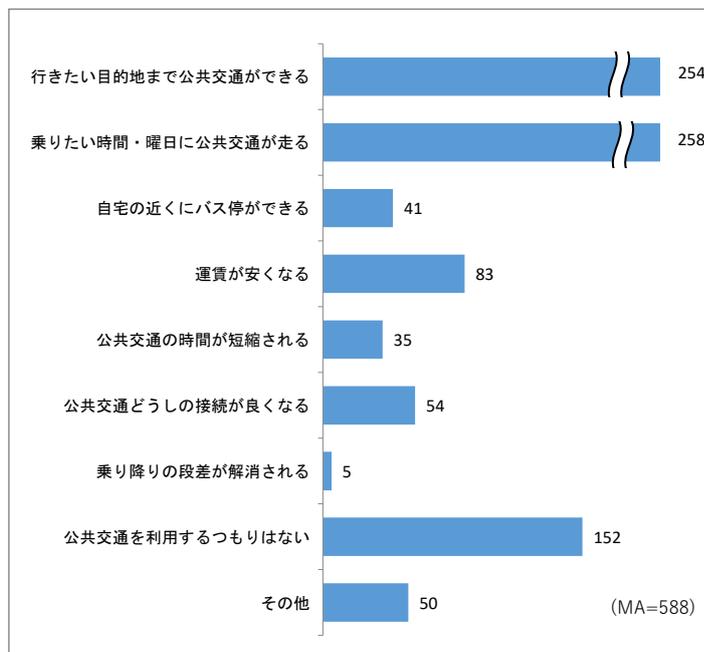


図. 公共交通を利用する場合の条件

【その他意見】()内は回答数

- ・自分で運転できなくなった ・しなくなった場合 (13) ・必要ができれば (2)
- ・今のところ (3) ・必要がないため (4) ・自分で運転できる間は利用しない
- ・なし。軽トラで作業する。 ・自分で運転できなくなったらこのままの条件で
- ・現在利用していないのでわかりません ・全員車があるため
- ・立科の交通環境と仕事との兼ね合いを考えると自分で運転できるまでは利用しないです。
- ・買い物に利用するとしても荷物を持つての移動と複数の場所の移動が困難なため
- ・自動車 (自ら運転) ・足が痛いので利用できない。 ・雪に強いバスなら利用したいかも。
- ・藤沢の小学生も利用できると助かります。

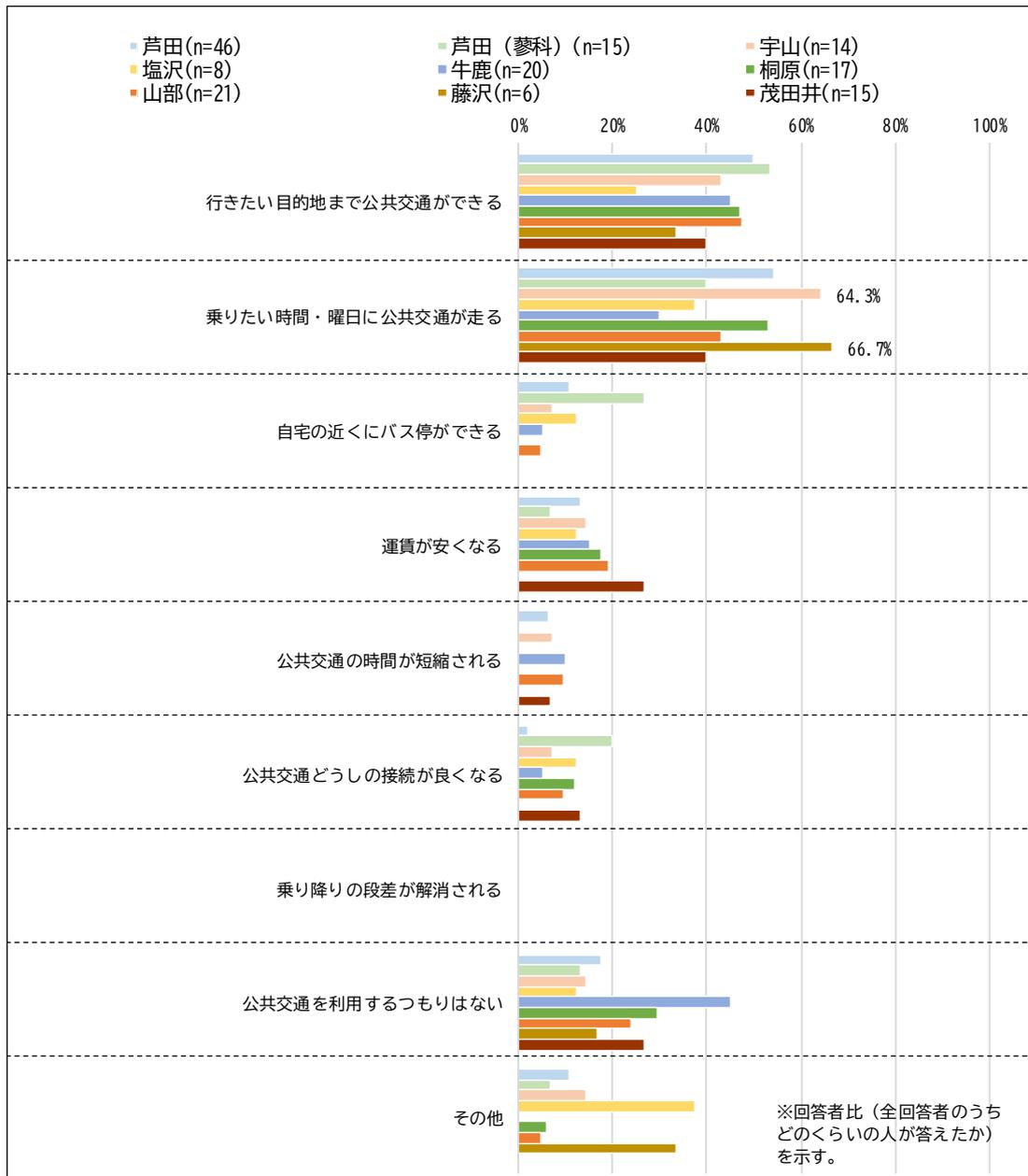


図. 公共交通を利用する場合の条件 (地区別)

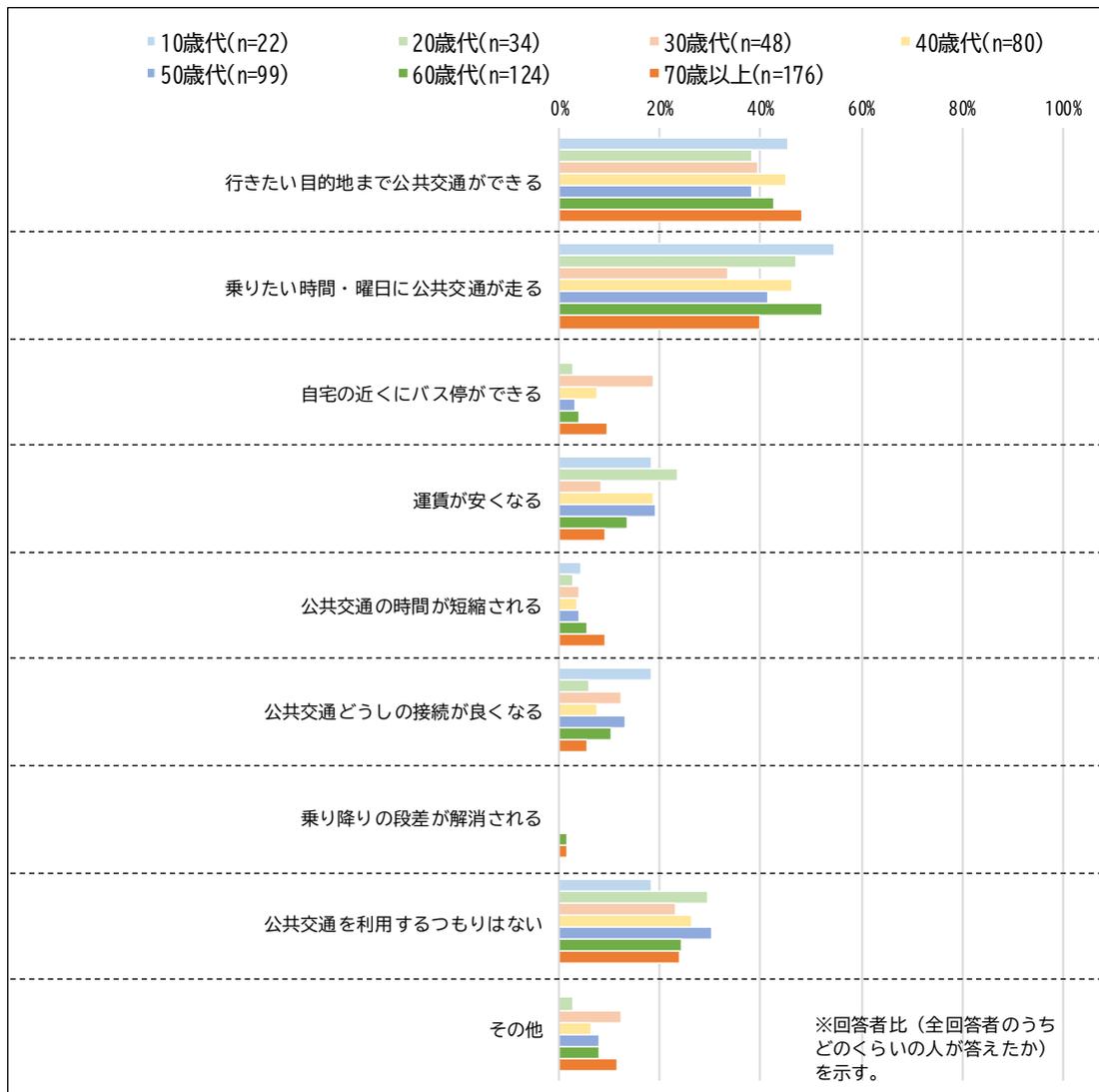


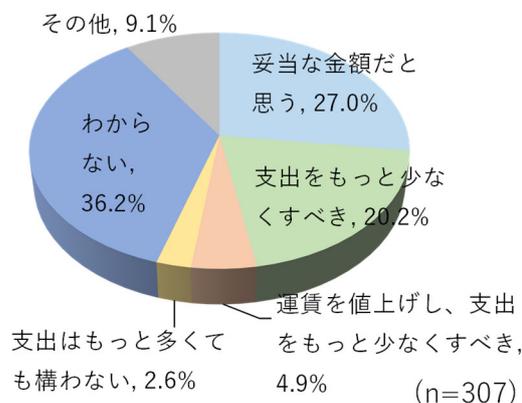
図. 公共交通を利用する場合の条件（年代別）

4-3-10. 行政負担額についてどう思うか

- ・「わからない」が約36%と最も多く、次いで「妥当な金額だと思う」が27%となっている。
- ・地区別にみると、芦田（蓼科）地区や藤沢地区では「妥当な金額だと思う」が約4割を占めているが、塩沢地区では「支出をもっと少なくすべき」が約4割を占めている。

表 行政負担について

行政負担について	回答数	構成比
妥当な金額だと思う	83	27.0%
支出をもっと少なくすべき	62	20.2%
運賃を値上げし、支出をもっと少なくすべき	15	4.9%
支出はもっと多くても構わない	8	2.6%
わからない	111	36.2%
その他	28	9.1%
合計	307	100.0%



【その他意見】

- ・23,000円を個人に給付
- ・病気の為免許証を更新できず、家族の協力得ている者へのタクシー券など補助があるとありがたい。
- ・負担の割に便数が少ない。中途半端 ・B/C 利用価値あるのか？
- ・今のところ何とか自家用車で移動している為わからない。
- ・支出は少ない方がよいが具体的にどうすればいいかわかりません。
- ・乗る人数が少ないのに、終日運行はもったいないので目的地別にデマンド型にして行く先にもっと便利にしてほしい。特に老人は「佐久病院」「浅間病院」があると良い。
- ・運賃をあげて（ワンコイン500円）もっと便利（デマンドタクシー）にしてはどうか。
- ・公共交通は町の活性化、暮らしの基本だから ・利用したことがない
- ・予約制デマンドタクシーにしたらと考えます。 ・必要な人数に応じた支出にすべき
- ・支出は少ない方がいいが運賃の値上げは困る。補助金や委託金の減額は可能なのか？
- ・タクシーチケット配布制度にした方が一世帯当りの負担が減るのではないですか？
- ・便数を減らす
- ・金額には驚いたし、有難いと感じたが、本当に必要な人にそのお金がしっかり回っているかは少々疑問を感じた。
- ・世帯の年間負担額を知らない。知る事で利用が増えれば良いと思う。
- ・バス路線が必要な人がいるので負担はやむを得ない
- ・他の市町村の実状等不明等判断材料不足のためわかりません。
- ・4.支出はもっと多くても構わないに対して→現状ではなく、デマンドにしていく試算はされていますか？これにしていかなければならない。他の予算も見ながらでも実施できるようにしていくことが必要である。
- ・費用対効果が低い。行政負担に見合う利用者があるかわからない。
- ・全額は多いと思うが、交通弱者のためやむを得ないと思う。
- ・必要とされる人に多く活用できるように使ってほしい
- ・利用者がどのくらいいるのかわからない為なんにも云えない
- ・効率のよい運行ができるように行政が考える ・利便性の良い公共交通の検討をしてください。
- ・公共交通を利用しない者にとって1世帯当たり2300円は高いと思いますが、町全体に利用する方がどの位いるかによって違ってくると思います。
- ・他の地域の負担額がわからないため比較できないが、多少負担が高くて維持していくべきと考える。

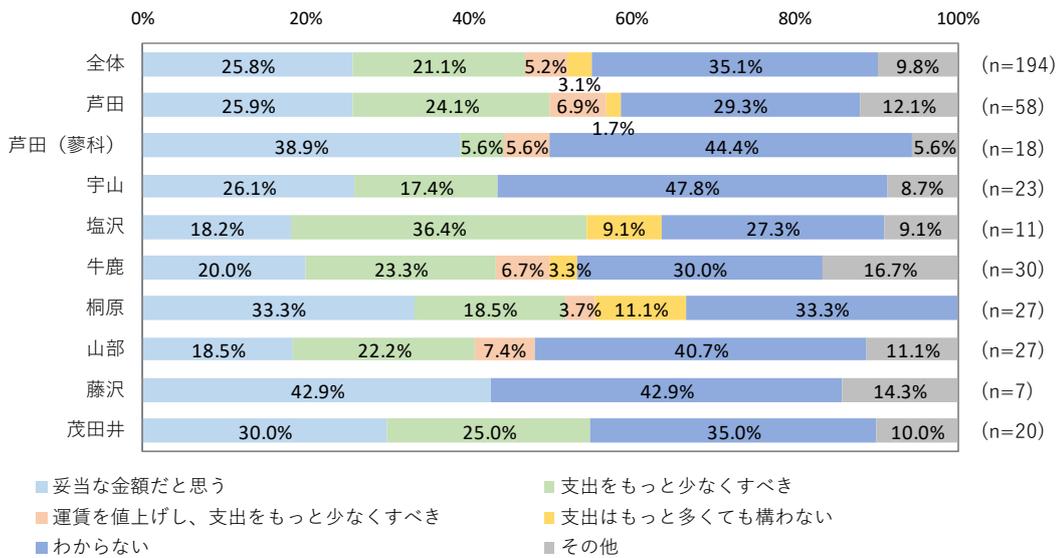


図. 行政負担について (地区別)

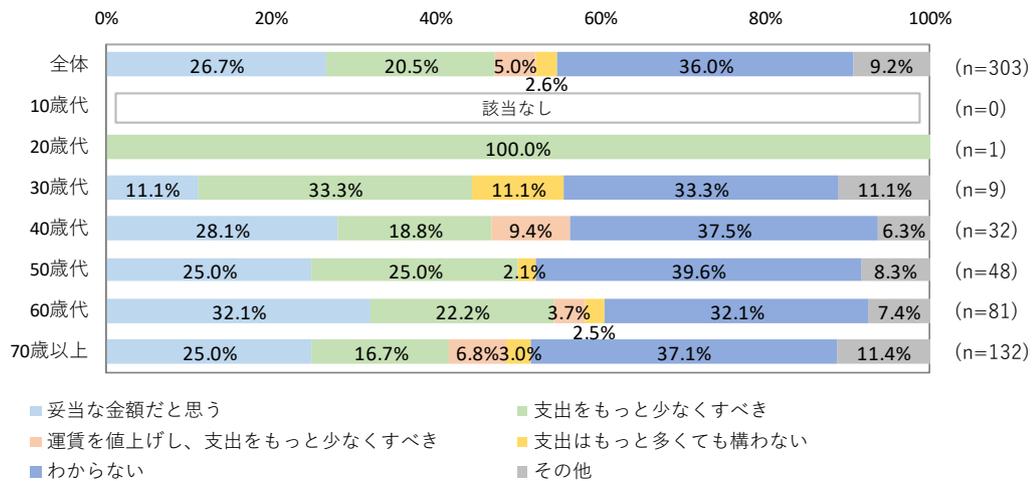


図. 行政負担について (年代別)

4-3-11. 今後公共交通サービスを行うべき対象者と目的

・「高齢者の通院・買い物・役場周辺」が最も多く、次いで「高齢者の通院・買い物（町外の施設）」となっている。

表 公共交通サービスを行うべき対象者と目的

対象者及び対象目的	回答数	回答率
高校生の通学（蓼科高校）	110	34.5%
高校生の通学（町外の高校）	147	46.1%
高齢者の通院・買い物・役場周辺	234	73.4%
高齢者の通院・買い物（町外の施設）	178	55.8%
通勤（町内の職場）	17	5.3%
通勤（町外の職場）	24	7.5%
町を訪れる観光客	75	23.5%
全ての利用者・利用目的	59	18.5%
その他	14	4.4%
回答者数	319	

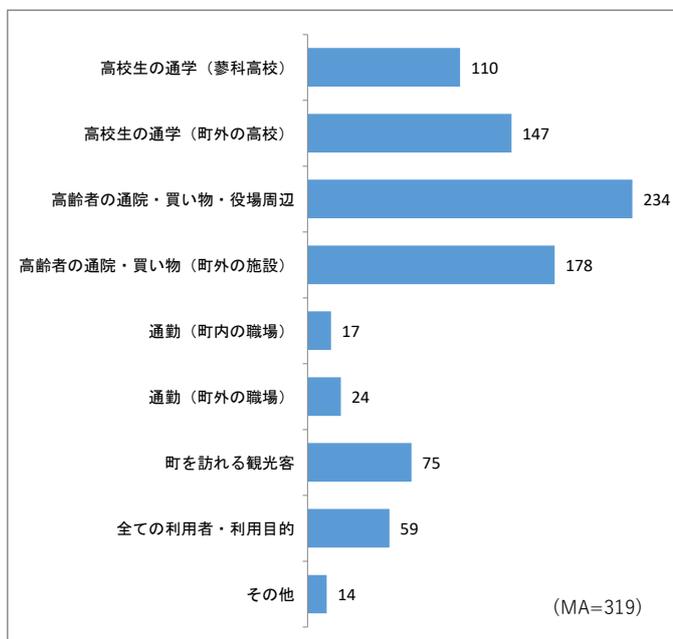


図. 公共交通サービスを行うべき対象者と目的

【その他意見】（ ）内は回答数

- ・他に選択肢のない弱者の方 ・わからない
- ・高校生の通学（蓼科高校）に対して→山に住んでいる世帯は必要です。
- ・何とか自家用車で移動しています。すぐ目の前の現実なので心配です。
- ・佐久地域の病院へ行きたい。 ・小中学生でどこの地区でも自由に利用できると良いと思う。
- ・大型病院がある市までの運送 ・平日運行、朝夕のみ
- ・別荘利用者の買物（ツルヤ） ・小中学生の通学（2）
- ・藤沢の小学生もバス通学を取り入れてもらえるとありがたいです。

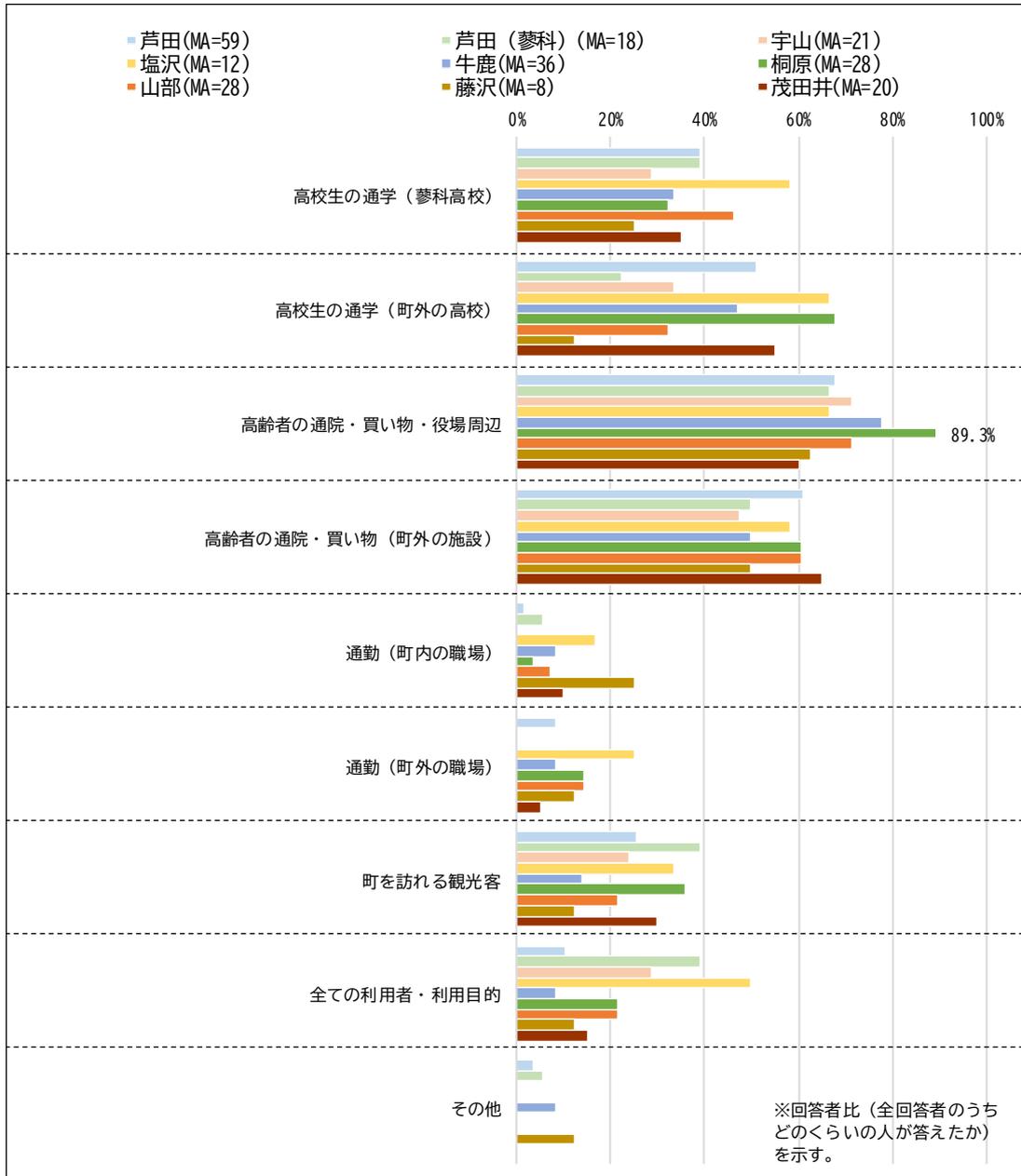


図. 公共交通サービスを行うべき対象者と目的 (地区別)

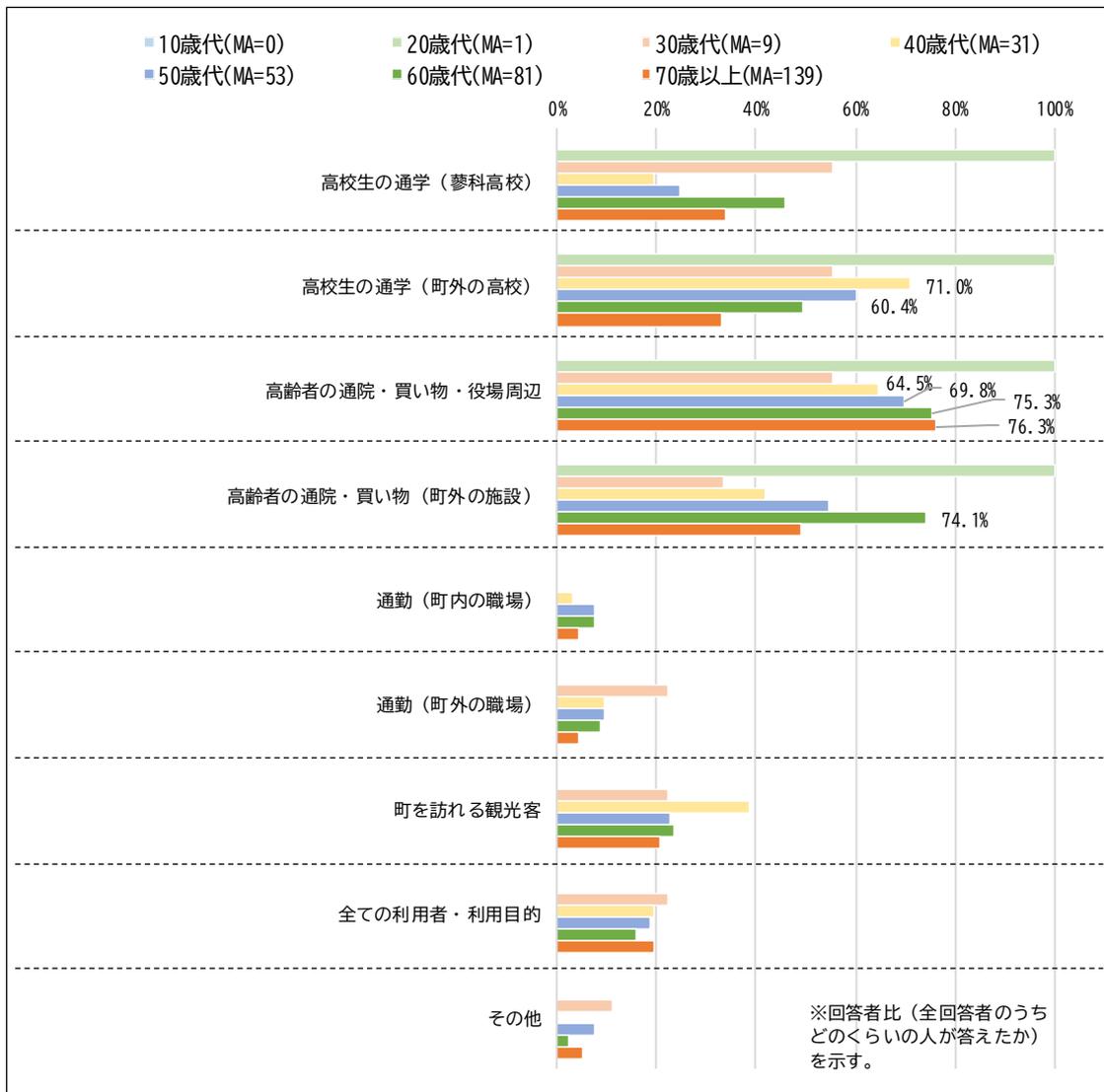


図. 公共交通サービスを行うべき対象者と目的 (年代別)

4-3-12. 公共交通サービスを行うにあたっての公共交通の運行形態

- ・「朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド（予約式）とするなど、それぞれを組み合わせた運行」が最も多く、次いで「デマンド型（予約式）により、出発地まで迎えに行き目的地まで送り届ける運行（フルデマンド型）」となっている。
- ・地区別にみると、塩沢地区、桐原地区、藤沢地区では「朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド（予約式）とするなど、それぞれを組み合わせた運行」の回答率が高くなっている。
- ・年代別にみると、40歳代と60歳代では朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド（予約式）とするなど、それぞれを組み合わせた運行」の回答率が高くなっている。

表 公共交通サービスを行うにあたっての運行形態

どのような運行形態が良いか	回答数	回答率
現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）	59	18.7%
予約の必要がない、定時定路線での運行（バス停設置型）	51	16.1%
朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド(予約式)とするなど、それぞれを組み合わせた運行	142	44.9%
デマンド型（予約式）により、決められたルートของバス停を回る運行（定路線型）	27	8.5%
デマンド型（予約式）により、出発地まで迎えに行き目的地まで送り届ける運行（フルデマンド型）	119	37.7%
タクシーチケット配布制度への切り替え	85	26.9%
その他	14	4.4%
回答者数	316	

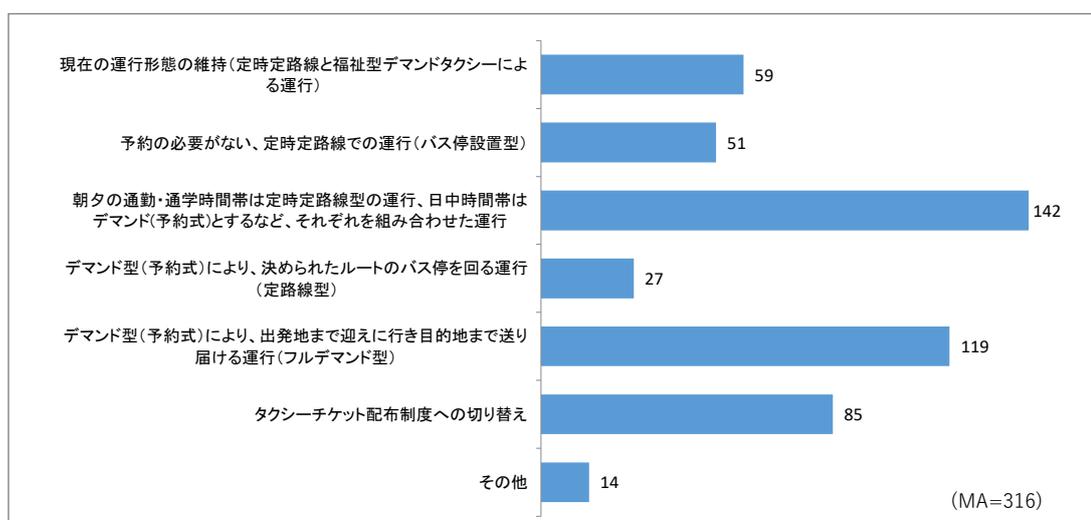


図. 公共交通サービスを行うにあたっての運行形態

【その他意見】（ ）内は回答数

- ・(今のところ) わからない ・乗ったことがないのでわからない (4)
- ・通院などの際、タクシー券の配布をしてもらえるとありがたい。
- ・年度毎に必要なルート、人数等の取りまとめを行う。
- ・行きたい時に行きたい場所に行って、帰りもすぐ帰ってこれる方がいいと思います。バスだと何時間もかかってしまう。
- ・定額タクシーチケット ・ 定時路線の運行本数の増加が必要
- ・ご近所タクシー ・ 足腰が弱らない程度にネットスーパー等や薬の配達の活用
- ・デマンド型で直接目的地へ (迂回をしない方法)

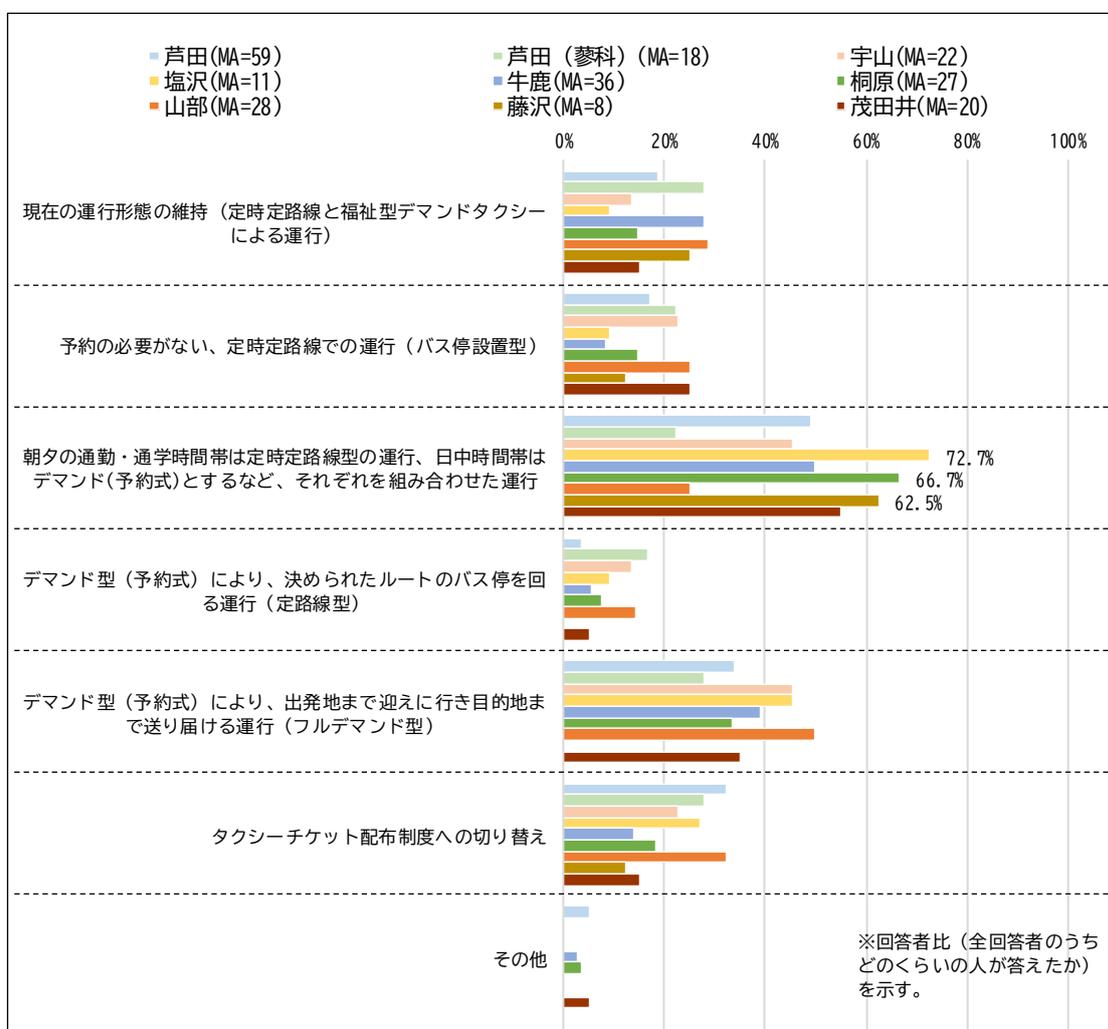


図. 公共交通サービスを行うにあたっての運行形態 (地区別)

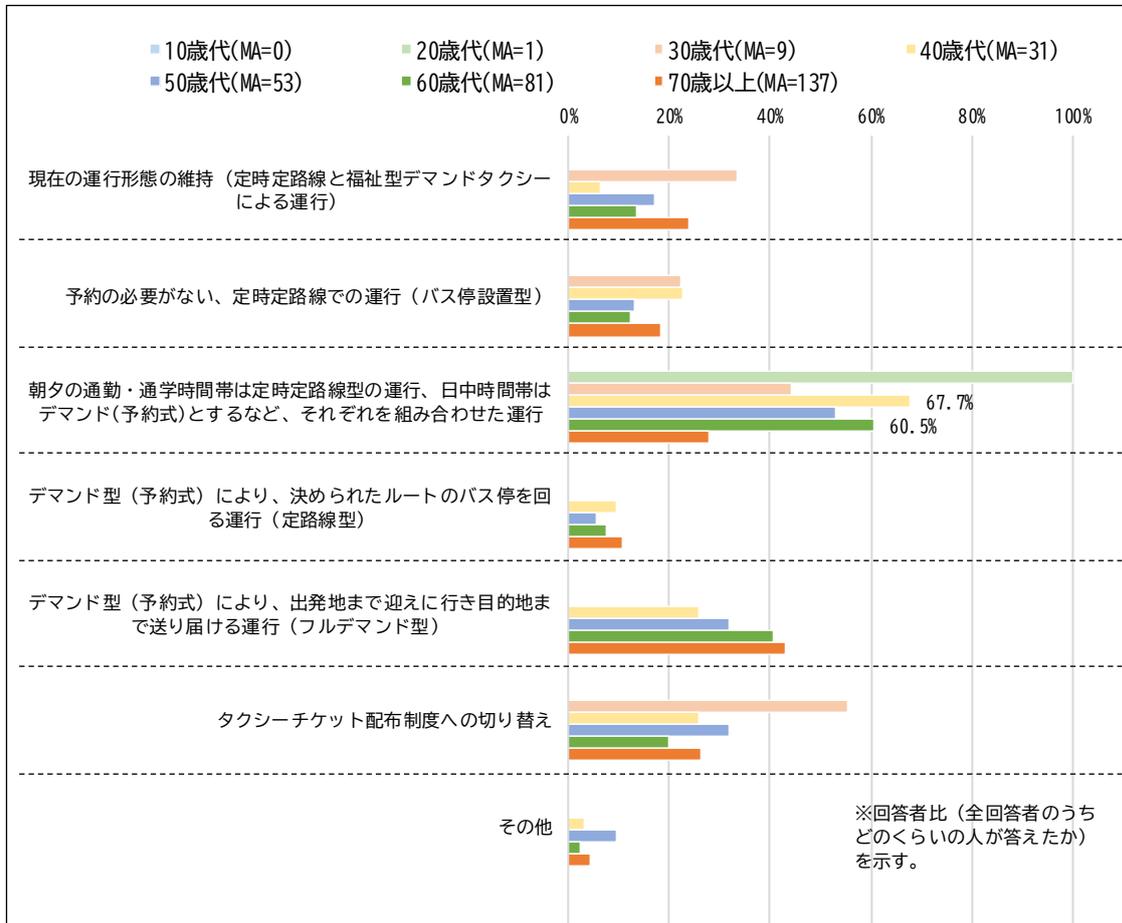


図. 公共交通サービスを行うにあたっての運行形態（年代別）

4-3-13. 路線バスの改善について

- ・その他が最も多く、内容としては「利用したことがないのでわからない、回答できない・わからない」といった意見が多くなっている。
- ・その他以外では「現状に満足している」が最も多く、次いで「増便してほしい」となっている。

表 路線バスの改善内容

どのような改善	回答数	回答率
増便してほしい	42	17.9%
運行時間帯を改善してほしい	26	11.1%
運行経路を変更してほしい	24	10.3%
乗り継ぎを改善してほしい	23	9.8%
運賃を安くしてほしい	34	14.5%
待合環境を改善してほしい	12	5.1%
車両を改善してほしい	11	4.7%
運転手のサービスを改善してほしい	3	1.3%
現状に満足している	45	19.2%
その他	81	34.6%
回答者数	234	

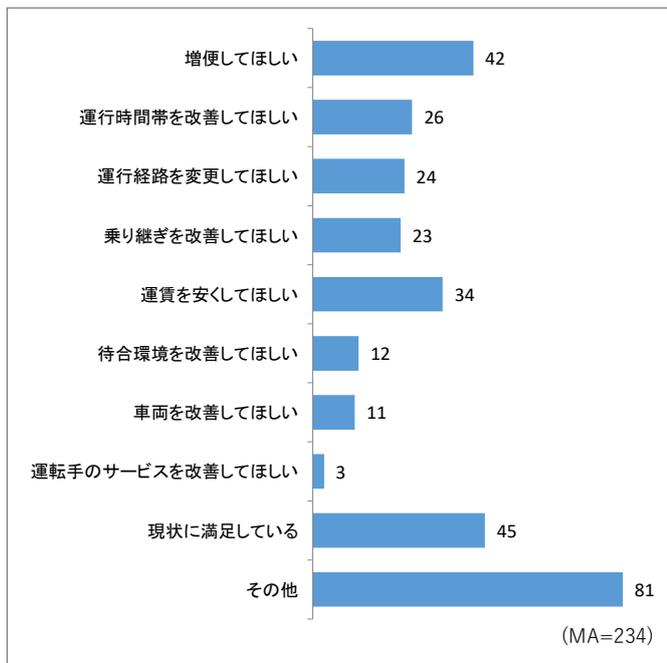


図. 路線バスの改善内容

【具体的な意見内容】

1. 増便してほしい

分類	増便してほしい運行区間、路線名等	年代	居住地区
たてしなスマイル交通	・シラカバ線	40歳代	芦田（蓼科）
	・1日に4回は最低回って欲しいです	50歳代	塩沢
	・西回り線、毎日運行	70歳代	分類不可
	・古町からせめて役場まで30分おき（路線バス併用）	30歳代	芦田
	・ツルヤへ買い物に行くので本数を増やして	80歳代	桐原
	・お昼も運行してほしい。シラカバ線。～保育園	40歳代	芦田（蓼科）
佐久市方面・中仙道線	・岩村田まで	80歳代	芦田
	・佐久方面へ行く路線と帰りの便	40歳代	芦田
	・中仙道線、佐久市岩村田、大屋	40歳代	桐原
	・佐久へよく行くので、土日の運行を増やしてほしい	50歳代	芦田
	・佐久方面の医療機関にかかりたくても日中にバスが運行されておらず、デマンドでの予約の時間の目途がつきにくい。	50歳代	桐原
	・佐久市へ	50歳代	芦田
	・佐久方面の昼間の便がないのは不便	70歳代	塩沢
	・土日の運行もあるとよい（佐久方面）	60歳代	芦田
	・佐久方面、医者、買物等	70歳代	山部
	・佐久平駅周辺へ行くので	60歳代	分類不可
	・佐久平～役場までの昼間の運行本数を増やしてほしい。高速バスや新幹線との乗り継ぎが悪い。	40歳代	芦田
	・佐久平駅の週末の運行再開	50歳代	分類不可
	・野沢方面への通学バスがない。増やしてほしい。	50歳代	茂田井

分類	増便してほしい運行区間、路線名等	年代	居住地区
上田市方面・中仙道線・丸子線	・通学でバスを利用するが、一時間に一本だと不便。丸子線の本数を見直してほしい。	50歳代	芦田
	・大屋駅、佐久平駅行き、鉄道利用のために	60歳代	山部
	・役場前から大屋駅までの区間を増便してほしい	60歳代	山部
	・上田、佐久方面に行くので増やしてほしい。	60歳代	芦田
	・大屋駅への運行増便	50歳代	分類不可
その他	・町内の高校へ通う高校生のために	70歳代	無回答
	・便数が少なく不便。だから車に頼る。	60歳代	山部
	・依田窪HPへ行くか、自家用車が運転できない事が多く、タクシー利用。	60歳代	分類不可
	・利用機会が増える	90歳代	分類不可
	・医者、買物等回数あると選べると思う	80歳代	分類不可
	・全ての線、バス停の設置増	70歳代	芦田
	・一人暮らしの高齢者の買物の時間帯を考える。	50歳代	分類不可

2. 運行時間帯を改善してほしい

分類	改善してほしい運行区間、路線名等と希望する時間帯	年代	居住地区
たてしなスマイル交通	・佐久へ通学するために役場まで行くバスを増やしてほしい	40歳代	桐原
	・土曜日でも保育園、学校までの運行をしてほしい。シラカバ線	40歳代	芦田（蓼科）
佐久市方面・中仙道線	・高校部活に必要なので、できれば土曜日でも運行してほしい。平日の午後、13:00～14:00頃中仙道線の蓼科行を運行してほしい。	60歳代	分類不可
	・佐久方面で通学する高校生は、テスト期間中であったり長期休みの部活などで昼間に利用したい日も多々ありますので、昼間の運行本数を増やしてほしい。通院などで利用される方も昼間の利用も可能になれば便利だと思います。	40歳代	茂田井
	・中仙道線、佐久方面から立科方面に帰る日中の便がもっとあると通学に利用できる。	40歳代	芦田
	・佐久平駅周辺へ行くので	60歳代	分類不可
上田市方面・中仙道線・丸子線	・高校生を田中駅に行かせやすい本数と金額にしてほしい	40歳代	桐原
	・大屋線最終バスを20時頃が必要	60歳代	山部
その他	・乗りたい時がない	60歳代	分類不可
	・目的に合わせた便数と時間にする	70歳代	分類不可
	・6:30～8:00、19:00～20:00	40歳代	桐原
	・夕刻時を有効に利用するために	60歳代	牛鹿
	・朝早い時間帯がほしい。	60歳代	分類不可
	・休みの日、買い物でもっと使いたい	30歳代	芦田

3. 運行経路を改善してほしい

分類	改善してほしい運行区間、路線名等と希望する時間帯	年代	居住地区
たてしなスマイル交通	・丸子方面へよく行くので、宇山を通る路線がほしい	60歳代	宇山
	・古町を幹線に入れてほしい	80歳代	芦田
	・野方は幹線ルートから南回り線に変更してほしい。	50歳代	分類不可
	・目的地、運行ルートにより乗車時間が長すぎる	60歳代	宇山
	・大城は本数が少なすぎる	70歳代	分類不可
	・目的地まで30分以上はつらい！せめて20分以内にしてほしいです。	70歳代	分類不可
	・南回り、近距離に関わらず運行時間が長い	50歳代	茂田井
	・運行時間を少なくしてほしい。長時間かけてバスに酔う人もあるとか。	40歳代	分類不可
佐久市方面・中仙道線	・佐久病院、浅間病院などデマンドか定期的でも行ってほしい（月1回でも）	50歳代	分類不可
	・立科町から岩村田（高校、病院）白田（病院）に直行するバスがもっとあればいいと思います。	70歳代	芦田
	・町外の病院、通院（浅間・佐久）直通で週1～2日	60歳代	山部
	・中仙道線、蓼科高校を経由してほしい	60歳代	芦田（蓼科）
その他	・他の市町村へ乗り継いで行ける様な接続	90歳代	分類不可
	・田中駅への経路を追加してほしい	40歳代	桐原

4. 乗り継ぎを改善してほしい

分類	改善してほしい運行区間、路線名等と希望する時間帯	年代	居住地区
佐久市方面・中仙道線	・中仙道線と電車の乗り継ぎ	50歳代	無回答
	・各所から役場→佐久駅までの連絡がスムーズになるよう。	70歳代	芦田（蓼科）
上田市方面・中仙道線・丸子線	・大屋駅発最終バスぐらいはしなの鉄道が遅れた場合に待ち合わせしてほしい。防犯上からもお願いしたい。	40歳代	牛鹿
	・上田へよく行くので大屋駅から立科町役場、立科町役場から東白樺湖までの乗り継ぎを改善してほしい。	70歳代	芦田（蓼科）
	・上田市へ	50歳代	芦田
	・細谷から大屋に行くバスの接続を良くしてほしい	40歳代	桐原
鉄道との接続	・しなの鉄道と新幹線駅の路線	60歳代	桐原
	・電車の時間と合っているとありがたいです。	50歳代	牛鹿
	・学生は運転免許がないので電車の時間と合えば助かります。	50歳代	分類不可
	・田中駅、滋野駅への路線があれば学生に良いのでは？	40歳代	芦田
広域的な接続	・茅野ー白樺湖ー佐久平	80歳代	芦田（蓼科）
	・町外へのアクセス	50歳代	芦田
その他	・とにかく不便。利用者が少ないからといって減便、接続されては住みづらくて人口がますます減っていく。	50歳代	無回答
	・目的地を廻る箇所が複数になっている。	60歳代	牛鹿

5. 運賃を安くしてほしい

分類	具体的な内容	年代	居住地区
シラカバ線	・シラカバ線蓼科高校～女神湖まで通しで買う方が（500円）雨境で分けて買う（200円×2）より高いのは何故か？通しを安くしてほしい。	60歳代	芦田（蓼科）
佐久市方面・中仙道線	・バス佐久市方面	50歳代	芦田
	・佐久平方面への料金が高い	60歳代	分類不可
上田市方面・中仙道線・丸子線	・上田方面の高校が通いやすくなるように、駅までのスクールバス利用にし、効率よくすることで運賃を安くしてほしい。	40歳代	分類不可
	・佐久方面 芦田～佐久平は400円だと聞きましたが、通学で利用している丸子線は高すぎる	50歳代	芦田
	・上田方面のバス運賃は高すぎて利用しようとは思わない。	40歳代	牛鹿
	・立科町役場前と大屋駅までの往復を毎日バスで利用していますが、運賃が高いため改善してほしい。	40歳代	茂田井
その他	・どこに行くのも高い	30歳代	分類不可
	・デマンドタクシー	90歳代	茂田井
	・予約式にする	70歳代	山部
	・町内のバスしか乗った事がないのでわからない	40歳代	牛鹿
	・後期高齢者は無料にしてあげてほしい。	50歳代	茂田井
	・身障者、要介護、免許返納者（特に要介護者の増加が今後多く見込まれるため）の運賃の減額	40歳代	分類不可
	・50歳以上無料とか子ども連れ無料とか大胆に	60歳代	山部
	・高校生を田中駅に行かせやすい本数と金額にしてほしい	40歳代	桐原
	・通院、通学の利用者→高負担である	50歳代	茂田井

6. 待合環境を改善してほしい

具体的な内容	年代	居住地区
・道路に座って待っていて危ないので広い場所に変えてほしい	50歳代	分類不可
・雨天の日	80歳代	芦田
・屋根対策や椅子の設置など	80歳代	芦田（蓼科）
・待ち時間に、雨風が防げないので対応してほしい。	50歳代	芦田
・屋根、ベンチがあれば	50歳代	茂田井
・バス停を綺麗にしてほしい。	30歳代	藤沢
・箕輪平に屋根を	40歳代	芦田（蓼科）
・バス停の維持管理に気持ちを表す	70歳代	分類不可
・町外へのアクセス	50歳代	芦田

7. 車両を改善してほしい

具体的な内容	年代	居住地区
・小型バスで良いのでは？	50歳代	茂田井
・高齢者や障がい者が乗降しやすいようステップの設置もしくは車高が低くなる車両に変更	60歳代	桐原
・町内各地で見るが、利用者が少ないので小型化してハイブリッド車にしてはどうか？	70歳代	宇山
・スマイル交通ともっとわかりやすくしてほしい。	50歳代	分類不可
・費用面を考えるなら、もっと小型にして空席数も減らして	60歳代	無回答
・HEVの導入を	70歳代	分類不可
・車輛を小型にし、経費削減と細やかな運行	50歳代	茂田井
・以前乗車した時降車ドアが壊れていて走行中に開きっぱなしになっていました。大変危険でした。	40歳代	芦田

8. 運転手のサービスを改善してほしい

具体的な内容	年代	居住地区
・全てのバス運転手と同じスキルを身に付けてほしい。例えば道の凸凹をゆっくり通過しなくてバス内が揺れる。	50歳代	桐原

9. 現状に満足している

具体的な内容	年代	居住地区
・今のところいいのではないかを思う	70歳代	分類不可
・特になし	50歳代	山部

10. その他

分類	具体的な内容	年代	居住地区
デマンド型にした方がよい	・今まで運転し、自由に行動してきた者にとっては現在のバスは時間、ルート等不便に感じると思う。バスは廃止してデマンド型タクシーの充実に切り替えても良いのでは…（補助の面でも）	60歳代	分類不可
	・現状のままでは一世帯23,000円は多いので予約式にしたら良いのでは。	80歳代	山部
	・出発地点までお迎えし、目的地は駅や役場など利用の多い場所へ	30歳代	分類不可
	・デマンド型にしなければ利用者は増えない	60歳代	分類不可
	・車の運転のできない高齢者に予約でフルデマンドが良いのでは？	60歳代	芦田
	・予約制にして、立ち寄ってほしい場所への送り迎え	60歳代	桐原
	・デマンド型に変更	70歳代	分類不可
	・走り回る車は？	80歳代	牛鹿

分類	具体的な内容	年代	居住地区
タクシーチケット・定期券など	・タクシーチケットで一部補助制度を	60歳代	山部
	・公共交通利用者が2割程度であればタクシーチケット制	60歳代	牛鹿
	・定期券の購入補助	50歳代	無回答
	・利用者の条件（事情）により、無料バスを発行する。	60歳代	分類不可
路線の改善	・逆回りの路線も作る。行きと帰りで時間が同じになるよう。	60歳代	塩沢
	・町外へ行くための運行区間、路線の改善	60歳代	分類不可
	・西回り線の土日の運行をしてほしい。	70歳代	分類不可
	・だいたい20分程度で目的地に行かれるようにしてほしい。	70歳代	塩沢
子どもたちのための改善が必要	・児童館には、毎日立科小学校の1/4の子ども達が来館し、全員迎えに来ています。児童館に回ってもらえたら利用する人がいるかもしれません。時間帯にもよりますが。	60歳代	芦田
	・バスを全く利用しないのでわかりませんが、今後子ども達が高校生になったり町外へ通うようになったら不安です。	40歳代	宇山
	・通学での利用時（混雑時）の駅までの所要時間提示の安定	50歳代	牛鹿
	・子供が佐久方面の高校でしたが、毎日の送迎が大変でした。岩村田方面、野沢方面へのバスが何便かあると便利だと思います。	50歳代	塩沢
	・スクールバスを上田方面に通学する子ども達のために作ってほしい。役場からでもよいので。	40歳代	分類不可
	・子ども達の通学用として利用できたら助かります。	30歳代	藤沢
運転免許返納	・高齢者の免許返納を勧める	50歳代	分類不可
全般的な改善が必要	・どうしたら増えるのかというより、必要性が無いから使わないと思うので減らした方が良いのでは？	50歳代	分類不可
	・免許返納者も増える現状の方式を白紙にして再考してはどうか。佐久市と連携し、病院へいけるようにしてほしい。	60歳代	茂田井
	・現状がわからないが、利用状況が高くないのであれば、制度自体の見直しをかける必要がある	30歳代	芦田
その他	・町内のスーパー、病院へのアクセスがよければありがたいです。今後免許を返納したら困ると思うのですが、現在のサービスをよく把握してないので、サービス内容を確認したいと思います。	70歳代	芦田
	・本アンケートのように利用者の意見を可能な限り反映してほしい。	90歳代	芦田
	・利用した事もなく、当面利用もないと思うのでわかりませんが、公共交通が必要である事は間違いない。	60歳代	山部
	・人口減少、高齢化の状況で路線バスの利用増は見込めない	70歳代	芦田（蓼科）
	・利用したことがないのでよくわからないが料金を一律ではなく、年齢が町内外者で変える。	40歳代	桐原
	・週1回程度で町外の病院へ	30歳代	分類不可
	・誰も乗っていない場合が多い、無駄	60歳代	分類不可
	・路線バスが通っているところは重複しない方がいいのでは	50歳代	牛鹿
	・医療センターは有り難いと思います。	80歳代	芦田（蓼科）

分類	具体的な内容	年代	居住地区
利用したことがなく分からない	・そもそも利用しないのでわからない	50歳代	牛鹿
	・現在誰も利用していないので具体的にわからない	60歳代	牛鹿
	・利用したことがないのでわからない	70歳代	茂田井
	・利用していないのでよくわからない	60歳代	芦田
	・実際に利用していないのでわからない	70歳代	芦田
	・わからない	70歳代	分類不可
	・利用したことがなくわからない	70歳代	桐原
	・乗ったことがないのでわからない	60歳代	分類不可
	・利用した経験がないのでわからない	80歳代	牛鹿
	・利用したことがないのでよくわからない	70歳代	芦田（蓼科）
	・わからない	80歳代	山部
	・よくわかりません	80歳代	分類不可
	・現在利用していないのでわかりません。	70歳代	宇山
	・現状バスを利用していないため具体的に感じるものがありません。	70歳代	芦田
	・運行状況が全くわからない、利用したことがないので回答できません。	60歳代	桐原
	・利用したことがないのでこの設問に対し想像できません。	60歳代	山部
	・利用していないのでわかりません。	80歳代	山部
	・利用していないので改善策がわかりません。	60歳代	牛鹿
	・利用したことがない	80歳代	藤沢
	・わからない	70歳代	分類不可
	・利用していないので回答できません	70歳代	茂田井
	・利用が少ないのでわからない	70歳代	山部
	・利用したことがないからわからない	50歳代	分類不可
	・利用したことがないのでわからない	70歳代	山部
	・利用したことがないのでわからない	60歳代	分類不可
	・現在利用していないので回答できません	70歳代	分類不可
	・利用していないので改善点がわからない	60歳代	分類不可
	・今の段階では利用予定がないのでわかりません。	70歳代	分類不可
	・思いつきません	60歳代	山部
	・利用していないのでわかりません	80歳代	山部
	・利用した事がないのでわからない	60歳代	芦田
	・利用した事、必要と感じる事がなく回答できません。	70歳代	藤沢
	・利用した事がないため具体案がわからない	年齢無回答	無回答
	・わからない	60歳代	牛鹿
	・バス利用を全くした事がないため、リクエスト案が浮かばない。実際利用している学生や高齢者にアンケートした方が良いと思う。	40歳代	宇山
	・不明のため回答できません	50歳代	分類不可
	・今のところわからない	70歳代	無回答
	・利用したことがないからわからない	90歳代	分類不可
	・現在利用していないのでわからない	60歳代	茂田井
	・利用していないから具体的な回答ができない	50歳代	桐原
・利用がないのでわからない	50歳代	桐原	
・よくわからない	70歳代	分類不可	
・今のところ自動車がある為、利用しないと思う。	80歳代	芦田	

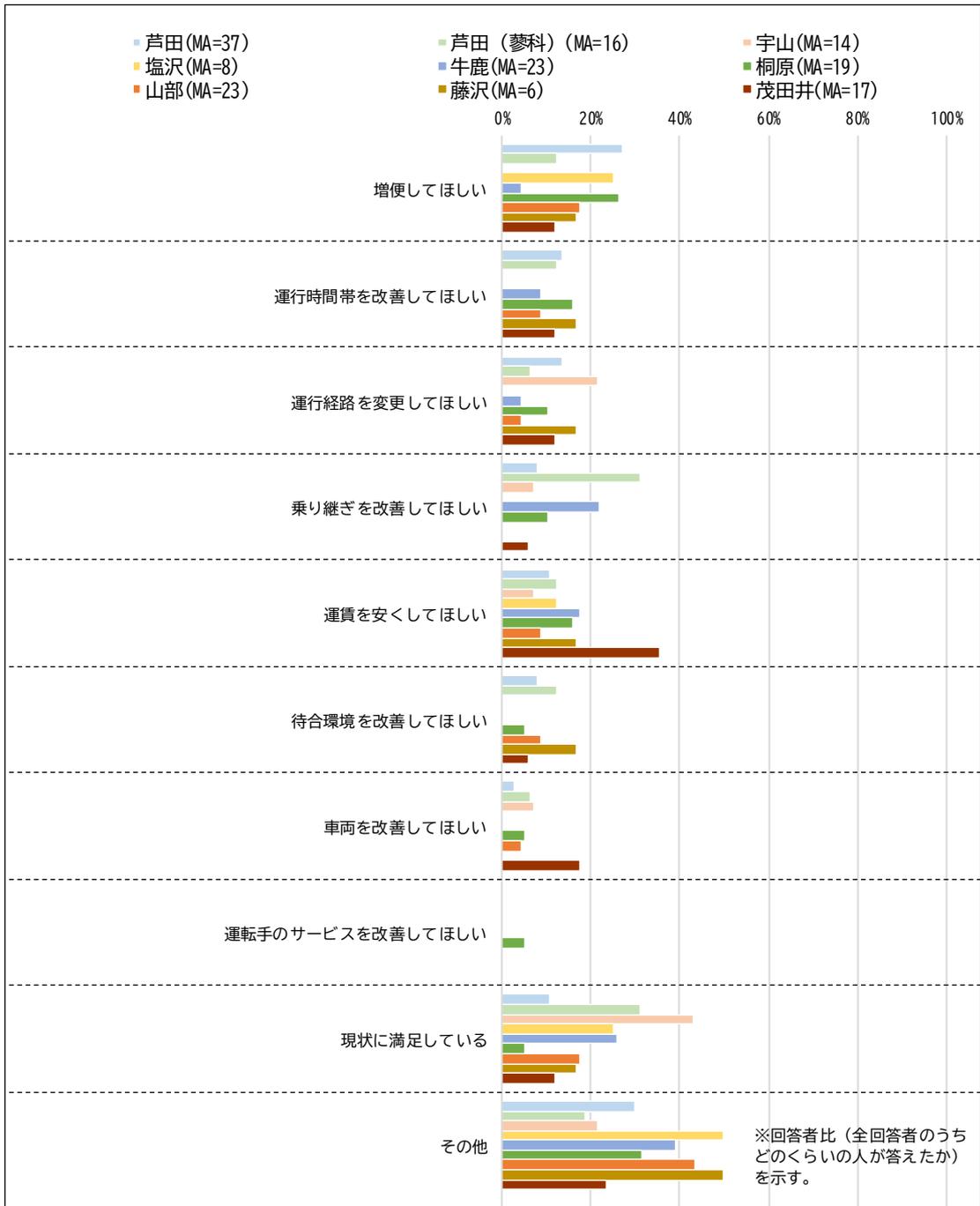


図. 路線バスの改善内容（地区別）

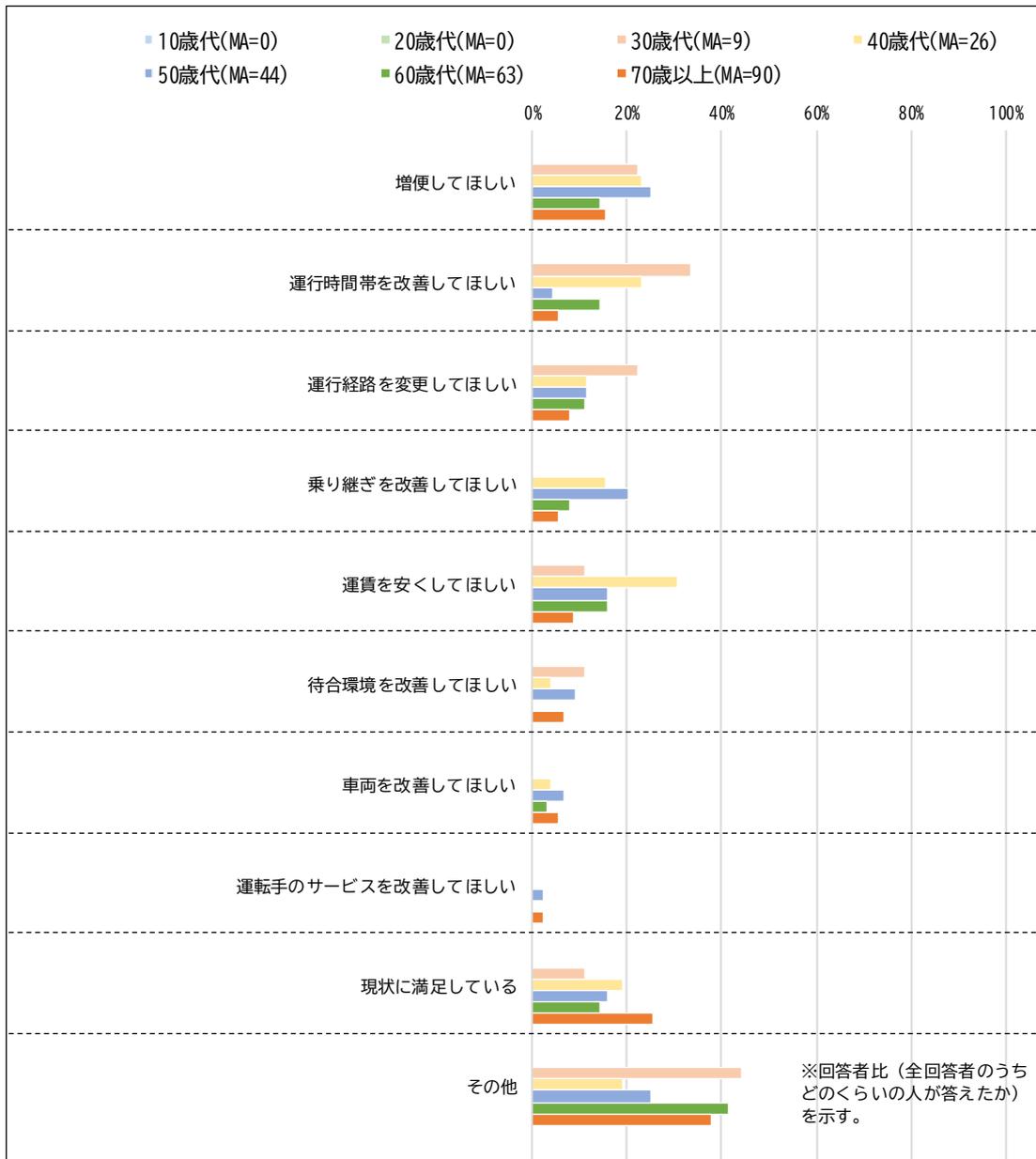


図. 路線バスの改善内容（年代別）

4-3-14. 今後の公共交通利用促進に向けて重要なこと

- ・「わかりやすい運行ダイヤ、路線図等の作成・配布」が突出して多くなっている。
- ・地区別にみると、芦田地区や宇山地区、塩沢地区では「わかりやすい運行ダイヤ、路線図等の作成・配布」の回答率が高くなっている。
- ・年代別にみると、30歳代や50歳代では「わかりやすい運行ダイヤ、路線図等の作成・配布」の回答率が高くなっている。

表 公共交通利用促進に向けて重要なこと

公共交通利用促進に向けて、重要度の高いもの	回答数	回答率
わかりやすい運行ダイヤ、路線図等の作成・配布	140	51.1%
町や交通事業者、関係団体が地域懇談会等を開催し、利用促進を呼びかける	22	8.0%
町のホームページや広報誌で積極的にPRする	49	17.9%
自動車を利用している人が、自らの意思でたまには公共交通を利用する	51	18.6%
企業や官公庁が、ノーマイカーデーの実施に取り組む	46	16.8%
小中学校の学習の一環として、小さなころから公共交通を利用する意識を育む	65	23.7%
電子決済・交通系ICカード等の導入による利便性の向上	56	20.4%
その他	28	10.2%
回答者数	274	

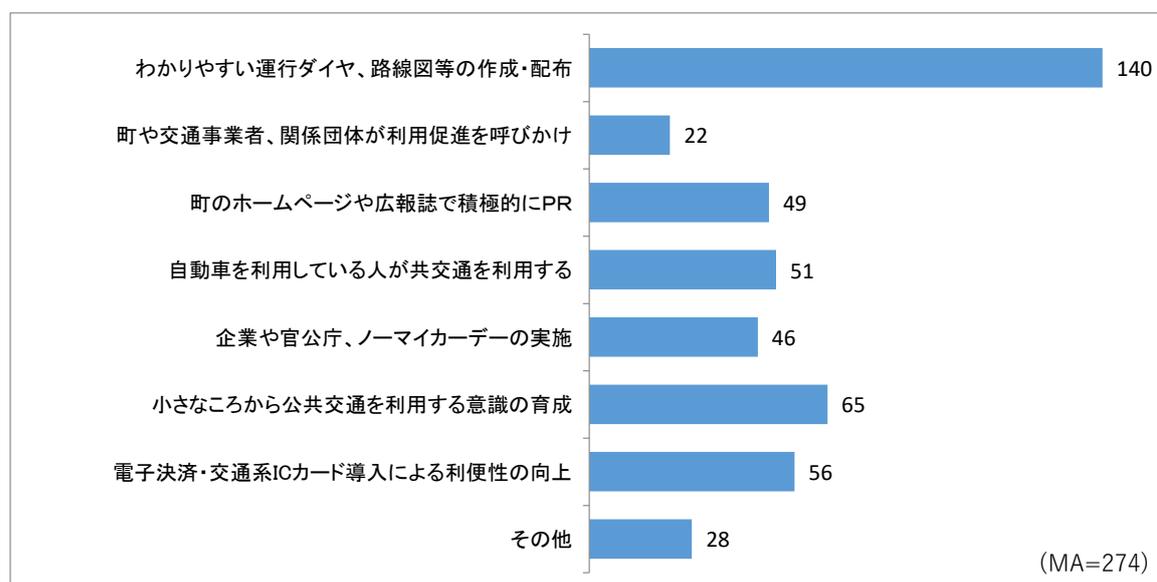


図. 公共交通利用促進に向けて重要なこと

【その他意見】（ ）内は回答数

- ・わからない（2）
- ・他の調査の良い実施例があれば
- ・デマンド型に改正
- ・運賃が安くなること。運行本数が増えること。
- ・公共交通利用ポイント、無料枠の拡大。
- ・朝夕の通学者の利便性を高めてほしい。
- ・公共交通利用促進は、現状難しいのではないかと。
- ・公共交通の必要性・利便性を町民に訴えること。
- ・乗り合いタクシーを増やしたり、公共交通機関の集約
- ・小さい町なので、自由度を高く。通学とデマンドの組み合わせ。

- ・無料券を配布し、公共交通の良さをPRでは？
- ・公共交通が期待される利便性を探る
- ・庁内外の高校生等の最寄りのバス停まで安く簡単に行けるようにする。
- ・保小中の登園、登校への利用促進、マイカーでの送迎が多すぎる
- ・利用しない者、必要性のない者にとっては他人事の事業となりがち。公人準公人地区役員等に有料無料は別にして、体験をしてもらい、体験を基に促進活動の一躍を担ってもらう。
- ・交通弱者、移動制約者の全てが利用しているわけではなく、全ての人が気軽に利用（乗車運賃も）できる利用方法が改善されていけば利用者も増える。
- ・ネット化
- ・スマホから簡単な予約と予約のいたずらの場合の対策
- ・増便（本数が限られると使いづらい。行きへ乗れても帰りは乗れないなど…）
- ・町内外の町民のためのスクールバスは必要だが、利用促進は難しいと思います。
- ・観光客への周知利用促進
- ・もっと気軽に利用できる安価な設定

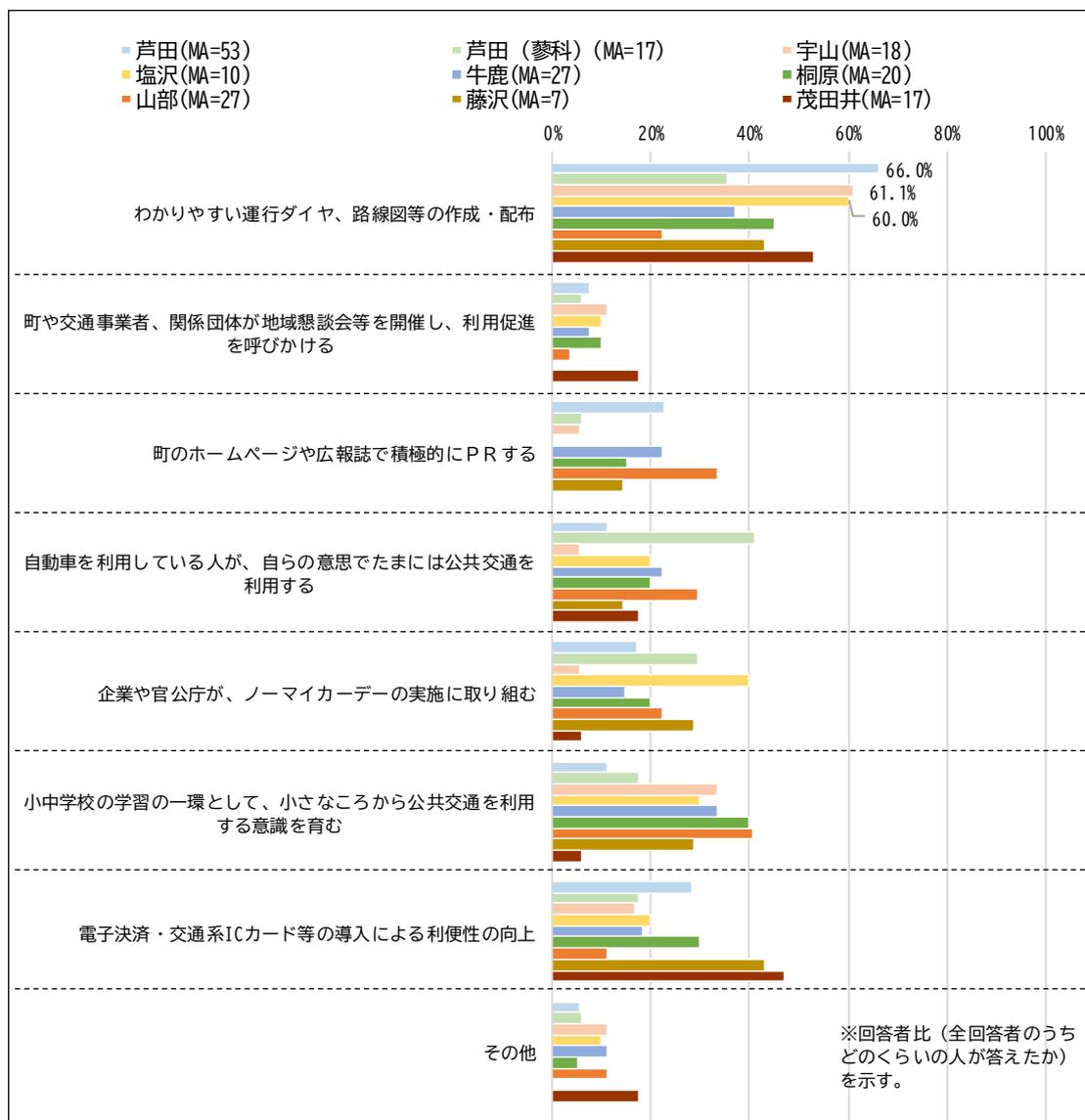


図. 公共交通利用促進に向けて重要なこと（地区別）

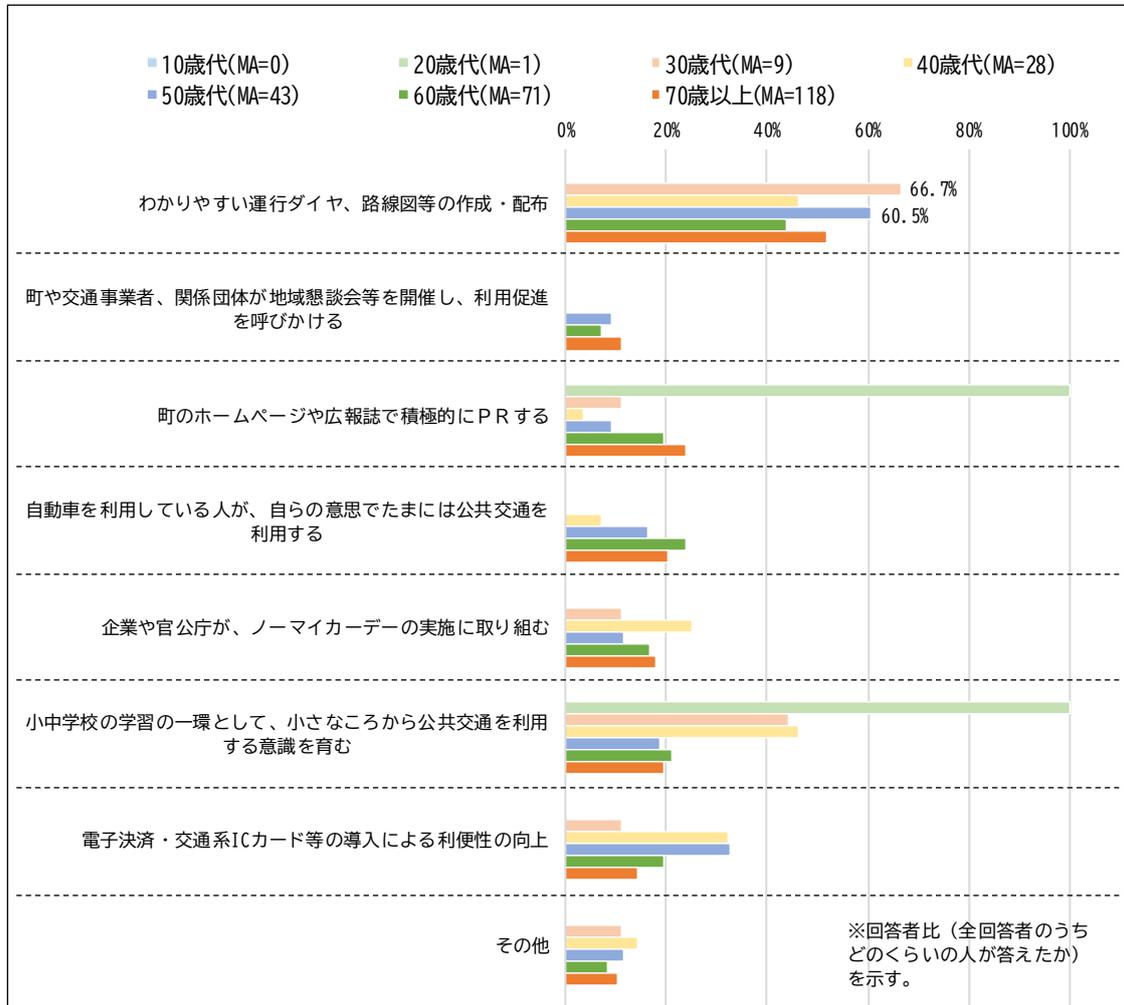


図. 公共交通利用促進に向けて重要なこと（年代別）

4-3-15. 自由記述意見

【たてしなスマイル交通の改善に関する意見】

- ・ 障害手帳のある方には、病院の通院のためのタクシー券が必要になると思うので配慮してもらえるとありがたい。※病気の前にはかなりの額の町民税を支払ってきたと思うので免許更新ができなかったので一世帯あたりの行政負担を見直してほしい。利用のない？たてしなスマイル交通の運行はいらないと思う。本当に必要な人へのタクシー券の発行をお願いします。メッシュ番号は見にくいです。学生さんの通学は時間は記入できますが、毎日の仕事をリタイアしている私達は出発、帰宅は毎日ではありません。※バスの運行の参考のためですね！（70歳代、無職、芦田）
- ・ 現在のバス便はほとんど誰も乗っていないのに、6,000万円も補助しているならば、例えば会員無料バスにしても収支は大差ないのでは？他の自治体では、バスを廃止し足がないことで高齢者の運転による事故が多発。立科町は同じ事にならないように。収支の前にどうしたら皆が乗るか。少なくとも利便性を見直さないと誰も見向きもしない。公共バス便は絶対縮小してはならない。高校生の通学ばかり書かれているが、小中学生もいる。通勤の足も必要。ガソリンが高い今。真剣に利便性向上を考えるべきではないですか。一度バス全便無料キャンペーンをやってみたら？頑張ってください。（60歳代、会社員・公務員、山部）
- ・ 令和4年度のスマイル交通に関しては、利用者は福祉型デマンドタクシーにした方が、経費が削減できるのでは？仮に利用者14,300人がタクシーにしたとして、補助額は3,000万超にはならないと思う。昼間の運行は特に空乗車で走っていることが多く、ガソリン代、人件費の無駄。また車両維持の為の経費もかかる。経費を浮かせ町内から町外（町外から蓼科高校へのバス代の補助はあるのに）へ通学する世帯への補助をすべき。また福祉デマンドタクシーも各個人の実情に合わせ配布チケット数を変えるべき。質問11に関しては、今現在の自家用車通勤世代が簡単に公共交通に切り替えるのは現実的ではない。PR活動、広報に経費をかけすぎず、スマイル便（廃止しないなら）朝夕のみ、田中駅 or 大屋駅への通学バスにするのもアリか…。中仙道線丸子線路線バスは、人口減少子化で増々運賃収入は下がるが維持できるのかはなはだ疑問。限りある町の財源を有効かつ世代間に差がないように活用を求む。高校生がいる世帯の交通費、親の送迎負担を緩和できるよう考えてほしい。（50歳代、会社員・公務員、分類不可）
- ・ たてしなスマイル交通利用で一番ネックになっているのは、例えば柳沢医院に行く場合、行く時は定時のバスで行っても診察が終わって帰路につく時適当なバスがない、次の時間まで医院で待っていることは高齢者にとっては大変つらいことと思う。ツルヤで買物でも然り。単に増便といっても予算的に不可能ではないか。（80歳代、農業、桐原）
- ・ 中仙道線が中込駅まで延伸したり、望月バスターミナルで山手線に乗り換えて、佐久総合病院まで行かれるようになったのは便利になったと思いますが、朝早い時刻の中仙道線に乗りしようと思っても立科町役場前まで行く手段がありません。たてしなスマイル交通の時刻では間に合わないのが実態です。町民全体が利用出来るようにしていただければと思います。小学生、中学生（自転車通学の人もあります）が重いかばんと背負いこ

の暑い日だったり、冬の寒い日、雨の日の通学は本当にかわいそうになります。親が送迎できるおうちもあるでしょうが、スクールバスのような公共交通を誰もが利用できるようにしてほしい。子供の頃からバスなどの利用をしていると大人になっても利用する事に抵抗もなくなるのではないのでしょうか。(60歳代、パート・アルバイト、牛鹿)

- ・ 西塩沢の下新田口←→下新田北口 路線は利用者がいない。廃線すべし。(70歳代、農業、塩沢)
- ・ たてしなスマイル交通の東周り線、月曜運行をお願いします。(50歳代、自営業、芦田)
- ・ 子どもが保育園の頃からシラカバ線にお世話になっております。負担する定期代が安すぎて驚いた事を覚えています。中学・高校へ進むと段階的に金額が高くなるかもしれませんが、そのあたりの金銭的なシステムがよくわからず、利用をためらっている方も多いのではないのでしょうか…？通学での利用は、現時点では満足ですし、ありがたく利用させていただいてます。自分が年老いて免許を手放したら、自宅からバス停までの距離、坂道がネックになるので、買い物や通院のためにシラカバ線を利用するのは現実的ではないかな…？と思います。(買い物代行を利用するとか、子供の運転をあてにするとか…)(40歳代、農業、芦田(蓼科))
- ・ スマイル交通は、利用者もなく、乗客を見たことがないので、見直すべきだと思います。町道モノレールになっているので、外倉～牛鹿間は道幅が狭く農業用車両も通行するので交通に支障をきたしてしまいます。集落内の狭い道路もけっこうなスピードで走っているのが危険です。特に農道は道路改良を行ってからルートにすべきです。(70歳代、農業、牛鹿)

【中仙道線・丸子線・その他の改善に関する意見】

- ・ 私は 96 歳で週 3 日やすらぎへ行っています。家の中から家の部屋迄職員の手をかりています。通路から家へ入る入口が大変。私宅と隣家は家やしきを分度って新路を作ったので家は特に右手も左手の車も道から入っているのが見えません。中山道通りなので車数が多いです。入口出口の車が見えるようにお願いします。事故の起きないようお願いいたします。(年齢無回答、職業無回答、お住まい無回答)
- ・ 上り線、バス停の不明な所がありますので確認願います。立科町の路線バスのルートと時刻表を各自の家にそれぞれ配布をお願いします。(70歳代、無職、茂田井)
- ・ 前設問にも記載したが、しなの鉄道大屋駅着の電車が遅延してもバスは待ち合わせを一切しない。バス停で待っている人がるからとの理由もあるだろうが、大屋駅発の最終バスで途中から乗る人が多くいるとは到底思えない。しなの鉄道が遅延しているかバス会社がわからないとの理由もあるようだが、バスは駅のホームが見える場所に停車しているのだからわかりそうなものだし、大屋駅着上下 2 本の電車が遅れた時にしなの鉄道から連絡するような体制か、バス運転手が問い合わせをする体制を取る事はそんなに難しいとは思えない。電車が遅延したおかげで（以前よりもしなの鉄道はすぐに運転見合わせをするようになった）立科の子供が真冬の夜に大屋駅で急な迎えを待たなければならないのは、防犯上決して好ましいとはいえない。大屋駅最終のバスくらいはしなの鉄道

と待ち合わせをし、バス停などに「最終便は大屋着のしなの鉄道が遅延した場合、接続待ち合わせをする場合がある」と一文を掲示しておけばいいのではないかと。最近の立科町行政は色々な提案や要望への「できない理由」を挙げるのが上手になったが、「できるようにする方法」を考えるのが本来の仕事であり、町民の期待するところだと思う。こういったアンケートを行うのは結構だが、経費を使っている以上よりよい方向に「改善」を行っていかねば無駄になってしまうと思う。(40歳代、会社員・公務員、牛鹿)

- ・ デマンドタクシーをたまに利用しますが、町内のみなので行き先がごく限られている上に、料金が高いので、父母(90歳代)が乗りたがらず、結局運転できる者が乗せていって帰りも迎えに行くことになり大変です。タクシーチケット制にしてもらえば、父母も気兼ねなく乗れると思います。スマイル交通など色々な手段にするのではなく、タクシーに集約することでタクシーチケット代も工面できるのではないのでしょうか。(90歳代、無職、茂田井)
- ・ 土日、佐久方面への運行がないので不便(70歳代、その他、山部)
- ・ 町に電車がないため、高校生の駅までの送迎は時間、運賃共に増便、料金の見直し等してほしい。年配者が多い町だが、子供を育て易い環境を整える事で移住、Uターン等を検討するメリットにも繋がると思う。(40歳代、会社員・公務員、牛鹿)
- ・ 中仙～蓼科高校のバスは安く、とても便利なのでそれを大屋～役場にも流用してほしい。蓼科高校を大屋からのバスが経由してほしい。学校バスが、夏休み中などに運転しないので、部活の生徒が困っている。大屋からのバスが蓼科高校を經由して頂ければ、利用者数も大幅に増え、蓼科高校への入学者数も増え、学校バスへの負担も減らすことができ、一石三鳥だと思う。(60歳代、会社員・公務員、芦田(蓼科))
- ・ 現在、子供(高校生)が、路線バス、中仙道線を利用しており、片道200円で高校のお寄りのバス停まで行けるのはとても有難く感謝しています。ただ、日中お昼前後に全く運行がないので、学校行事でお昼頃に下校になる時は家族の自家用車での迎えが必要で、祖父母 etc の応援のない我が家としては、母親が仕事を早退して対応しているのが現状です。(試験期間は4日間、懇談会期間は一週間、連日早退しなければなりません。)高校生以外で、浅間病院、医療センターに通院している人 etc でも日中、佐久→立科でバスを利用したい人はいるのでしょうか？日中1本でもよいので、運行して頂けると本当にありがたいのですが。(60歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 佐久へ行くバスをもう少し日中の時間帯もほしい。朝夕しかないので行きづらい。(30歳代、会社員・公務員、芦田)

【新たなサービス導入や提案に関する意見】

- ・ ご意見を書かせていただきます。日頃地元のバス停を見ていて「本当に運行しているのか」と良く思います。おそらくこのように考えている同世代の人達は多く、運行状況がわかりにくい故にバスを利用しないものと思われれます。このような問題を解決する策として、私はバスにGPSを取り付け、それを町のマップと連動させて表示するシステムを作り、運行状況をリアルタイムで見れる仕組みにすることを提案します。またそのシス

テムを web 上で公開し URL の情報を載せた QR コードを各バス停に貼付、そのバス停かまたクラウドからアクセスできるようにすれば利用者がバスを使いたい時に運行状況を確認できるのでより利用者がバスに信頼をもって利用できると思います。(50 歳代、自営業、塩沢)

- ・ フルデマンドを高齢者のために導入してほしい。町外の病院に行けない。(80 歳代、無職、芦田)
- ・ 定時定路線型の利用者が少ない事を考えるとフルデマンド型を充実することで利便性ははかり、利用料金(少額)をお願いしても良いのではないかと。議員の皆様方のご意見を入れ協議することはいかがでしょうか。大変ご苦勞様です。利用者の利便性が最も大切かと考えます。(70 歳代、無職、宇山)
- ・ 今の所、買物、役場、郵便局等は何とか行けているが、乗客が少ないので予約型にして、目的地別、時間別とかにしても良いと思う。2 人くらいしか乗っていないのにぐるぐる回るのは無駄かと思う。老人でもたまに佐久に行ったり、佐久病院や浅間病院に長年通っている人もいますので、月に 1 回か週に 1 回でも予約をとって行ってもらうとすごく助かります。ぜひお願いします。(50 歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 今私の運転ができる間はいいのですが、高齢のためいずれ出かける足がなくなるのが目の前に迫っています。今からここがなければいけないのに、いい案が浮かびません。お金がかかってもデマンドかな、それとタクシー券がいいです。スマイル号いつ見ても空で走っているので、その車、ガソリン代、人件費などを困っている人に分けてもらいたい。皆が無駄な事にお金を使っているように見受けられます。本当に生活に困っている人のために皆で町政を考えて下さい。移動に不自由を感じている人がいるのに、エンデコなど参加できない人がいっぱいいます。経費も相当かかって見えます。毎年、権現の湯の入場券が隣組から配られますが、我が家は障害の男の子なので私とはお風呂には行けません。タダ券になるのでその分他の経費に回すように。一律には無駄が多い。(70 歳代、無職、山部)
- ・ oneday freepass 券があるといいです。外出する時はあちらこちらへと用事が重なるので、支払い料金を考えると…。(60 歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 例えば、祝祭日、金曜の夜など、飲みに出ても帰りのバスがなければ最初から利用をあきらめます。夜間のバス便の増発やイベント時のバス便の増発が必要。佐久方面にも佐久市のデマンド交通の活用ができるように働きかけてほしい。朝夕の路線を残し、日中は相乗り型デマンドタクシーに切り替え料金も 200 円(障がい者などは 100 円)に佐久市と共通にする。夜 8:00 台までのバス便(佐久→立科へ)を増発して高校生、通勤者の足の確保、利用促進を図ってほしい。丸子中央病院や依田窪病院までバス便を確保してほしい。(70 歳代、無職、塩沢)
- ・ 居心地の良いバス停を設ける。バス停内にクモの巣があるようではどうかと思います。近くの「野方釜石」は当設置籍ではありません。正式には「上宮地(カミミヤジ)」ですが…。少数点在の当町は、町民の思うに近い運行するにはバスが 10 台くらい必要になり

ましょう。利用者は少なくとも3台では当然のことです。大柱を作って「病院便の利便」と「通学便の利便」に切り替えることも大事です!!(70歳代、農業、分類不可)

- ・ (立科町の) 公共交通を利用したことがありません。今までのところ必要ではなかったのですが、今後利用するようになると思います。漠然とした不安を感じます。利用すると楽しいとかお得とかアピールがあれば(すでにあるかもしれませんが) どうかと思います。ポイントが溜まるとか?(60歳代、会社員・公務員、茂田井)
- ・ 高齢者にもっと安く利用できるようにする(年齢を決めて) 朝夕の小学生、中高生を対象とした運行(この時はICカード等の導入)(50歳代、自営業、宇山)
- ・ 現在は運転ができ、好きな時に好きな場所に行く事ができる。買物、受診、知人に会う。特に買物、受診など、出発～迎え(村外)まで送り届けてもらえる事が一番と思っています。(年齢無回答、職業無回答、芦田)
- ・ 高齢者は通勤や買い物などに不便なため、免許を返納したくてもためらう方もいらっしゃると思います。予約してフルデマンドになると、病院への通院や買い物にもとても有難いと思います。(60歳代、会社員・公務員、芦田)
- ・ 要望:障がい者は玄関から玄関(家を目的の場所入口をさす)での対応を願うものです!(70歳代、無職、分類不可)
- ・ 目的地までの時間短縮、利用者は主に子どもが高齢者で役場や医院、買物など、芦田方面に行く人が多いと思う。町内を廻りながら運行するのではなく、ダイレクトに目的地へ行くバスを運行したらどうか。(50歳代、農業、牛鹿)
- ・ 公共交通の利用を次の区分により、①児童、学生の通勤通学はこれまでで良い②観光(白樺方面)客については、観光計画に添った運行計画を③その他 高齢者等の利用も低いと思われるので、タクシーチケット制に切り替える。※質問11の4までの必要はない。(60歳代、農業、牛鹿)
- ・ 現況の路線バス方式では「よくない」、今の所ではデマンド方式に変える時にきている。他、地区(市町村)も参考にして、立科町にあった方式にして実施してほしい。何事にも早くに実施できるようお願いをしたい。少なくとも医療・買い物難民を出さないようにしてほしい。立科町は難民を出すようになる方向に向かわないようにしてほしい。弱者に寄り添う町になってほしい。(70歳代、農業、塩沢)
- ・ 自家用車を購入、維持する費用を考えれば、バスやタクシー代はある程度かかるのも当然だと思います。(基本的に費用はこのままではないかと…) ただし毎日のように利用する学生などについては、費用補助を行い、乗って公共交通を残すPRをしつつ利用促進を図れると良いとおもいます。(岩村田方向以外の高校生のほとんどは家族の送迎ではないでしょうか) 公共交通のPRイベントがあってもよいと思います。(〇日は無料デイとか)(50歳代、会社員・公務員、お住まい無回答)
- ・ 安全と予約(ネット)のシステム作り。1日中走り回っても壊れないバス?(80歳代、その他、牛鹿)
- ・ ※佐久平駅より立科町芦田まで望月タクシー利用で学者村3期の別荘で宿泊に来る友人が2,000円で利用できる仕組みに大喜びでした。役場まではいつも通りに、友人のよし

みで今まで通り私が送迎していますが、とても助かります。低い運賃はもちろんの事ですがありがとうございます。※スマイル交通利用者は固定化されていると思われます。私自身も 77 歳となり、運転免許の返納の 3 年後に決めています。そういう自分の移動手段を考えると予約式デマンド型に変えたら良いと考えています。ドア to ドアにする。現在運行している人件費、運行に係る全ての経費をデマンドに回す。年間 6,100 万円でデマンドタクシー事業が可能なのかは正直わかりませんが、この金額を補助として使い、利用されている方々の運賃が軽減されると利用者さんも増加すると思われます。その際近隣の病院に行く方々にも乗り入れが可能なように配慮いただけると有難いです。※デマンド利用の場合（現在行われている免許返納福祉デマンド）地域の皆さんと相乗り利用になっても 600 円利用できるのでしょうか。私が条件を得て、デマンドを利用して、ご近所の仲間と日にちを決めて出かけ（買い物デー）に利用できるとすれば高齢者の行動範囲が広がります。移動（足の確保）も私達の人権の大切な 1 つであります。今後共住民の声を大切に拾い上げてくださいますよう、お願いします。※現在移動は自分でやっているので設問に対して空白が沢山ありますが、すみません。（70 歳代、家事専業、宇山）

- ・ 免許返納や車を持っていない人もおられます。町内の移動を考えるとデマンド式が良いのではと思います。観光されている人や登山をされている人も利用されているかと思われますので、巡回バスも必要なのでしょう。今は自分で車を運転していますが、返納した時は公共交通のありがたみがわかるんだと思います。難しいと思いますが存続できるよう尽力頂きたいと思います。（年齢無回答、職業無回答、お住まい無回答）
- ・ 立科町の人口及び車社会であることを考えると町内をまわる定時定路線型のたてしなスマイル交通（蓼科地区を結ぶシラカバ線を除く）はあまり利便性が高くないものと思います。令和 4 年の実績からみても利用状況は高くなく、高齢者の足の確保であればデマンド型へ変換をかけたほうがよいと思います。フルデマンド型の公共交通の出発地から目的地までドアトゥドアでいけるため高齢者にも利便性が高いと思いますが、初期導入費及び予約手続きなどを考慮すると人口規模から利用状況はそこまであがらないかもしれないので、たてしな定額タクシーチケット及び福祉型デマンドタクシーの制度を再構築することで対応することが運行補助額の低減につながると思いました。高校生の通学等で利用されている中仙道線及び丸子線については、民間との連携になると思いますが、こちらを充実させることで、今後の子育て世代の立科町への住み控えを回避することに少なからずつながってくると思います。（30 歳代、会社員・公務員、芦田）
- ・ 町外へのデマンドタクシーを自宅から自宅まで利用できる方法でわかりやすく簡単に利用できる工夫をしてほしいです。（70 歳代、会社員・公務員、分類不可）
- ・ 必要に応じての対応（タクシー的な）（60 歳代、その他、桐原）
- ・ 理由要望…子供が通学時（約 4 km）バス等の利用ができない…通年で 2 km 以上の時、スクールバス等の運行を望む（上田市丸子等参考）（90 歳代、無職、牛鹿）
- ・ 利用者のいないバスはとても無駄だと思います。予約制やタクシーチケットなど、少しでも無駄を無くした方が環境にも良いと思います。（40 歳代、会社員・公務員、分類不可）

- ・ まだ自分では利用していないが、利用するようになれば、目的地に行くにも帰るにも時間がかかるような気がするので車の台数を増やしたらどうか？(70 歳代、パート・アルバイト、宇山)
- ・ 蓼科高校への通学バスをうまく利用して、町外への通学にも利用できず仕組みを是非考えてもらいたい。(60 歳代、農業、分類不可)
- ・ 公共交通に頼りたいが飲食を伴う会席などの後（土日週末）に運行されずに家族の送迎に頼るのか？宿泊等を考えなければならず、事前予約制で利用者がある程度いたら運行できないかダイヤに合わせて役場前～大屋は会食等、運転できない時は利用しています。(60 歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 人口減少・高齢化率の高い小規模の自治体が、自前の公共交通を維持継続すること自体が、財政事情を考えるならば困難ではないかと考えます。さらに、バス運行会社も、人口減少地域の路線バスは、採算性の問題から、利用者減に伴い減便・撤退を考えざるを得ない状況にあります。それではどうしたよいかですが、今般のアンケートで結果がどのようなになるかですが、町内スマイル交通利用目的、利用者の実態にもよりますが、利用実績を単純に計算すると一日 39 人、4 路線で一日 10 人ということになります。また、一人の利用者が年に何回乗るかによっては、利用者実数（利用回数ではなく）は、相当限られてくるのではないかと推測されます。(シラカバ線はスクールバス機能を有しており、利用者としては2往復の利用で回数が多くなる) この推測から、スクールバスの機能は別として、利用者字数にもよるが、定路線定時型・フリー乗降のデマンド型のバス運行、または、タクシーチケット方式を利用（採算性により検討）また、観光客のためには、現在実施している「たてしな定額タクシーチケット」に加え、5人以上の利用予約がある場合、定時型（日に2便程度）予約制バスを佐久平・ツルヤ間で無料運行（法律上の問題がクリアされれば有料）し、高原へは、デマンド型バスにより高原に送客（料金は1000円以上を想定）する。※住民アンケートで買い物に利用が比較的に高いならば、「買い物難民」のための「移動スーパー」をたてしな屋の事業に加え、そこに運行支援することも今後考慮すべきと提案したい。※今後の課題として、里の遠隔地通学者（徒歩30分以上）のための、通学バスの運行も検討すべきと考えます。(70 歳代、自営業、芦田(蓼科))
- ・ あと、4～5年団塊の世代が免許返納を迎えるころになると公共交通、デマンド型がより必要になってくると思います。(70 歳代、自営業、芦田(蓼科))
- ・ 若者・子育て世代応援、高齢者福祉の目的のみで公共交通事業を行うものでもよいと思います。人口が少なく集落が点在する当町では、広く一般の利便性を考慮した定時路線運行では採算が取れないのは当然です。一般的に交通事業にはスポンサーが必要です。町内の企業・個人商店などから、この事業に協賛し広告費の形で出資してもらえないでしょうか。また、一般の方からも年間乗車券などを購入し出資してもらえないでしょうか。そうした事はこの町の活性化につながると思います。黒字化は厳しく民間委託しても補助金は投入しなければなりません、運賃以外の収入もえる必要があるかと思いません。「町民どうしが支えあい、子育てし、いつまでも安心して暮らせる町」になる為の重

要なインフラのひとつではないでしょうか。この町の将来の姿を見据えた計画になる事を期待しています。(50歳代、農業、茂田井)

- ・ (脱石油の時代) これからのEV車に移行する時期が近くなり、公共交通を利用する時期もあるかと思しますので、もっとPRすることや早い時間のバスやもう少し遅い時間の路線バスがあると助かります。(70歳代、その他、芦田)
- ・ 利用した事はまだないのですが、立科小学校が藤沢までの距離が3.5km以上です。土地的にも登り坂と下り坂がずっと続いている通学路です。交通量も多い道を通っていますが、バス通学も可能になると嬉しいです。(30歳代、会社員・公務員、藤沢)
- ・ 今回、回答した内容につきますが、その他にマイカーを主な移動手段にしている人が、いかに公共交通を利用しやすくするかを考えないといけないと思う。そのために「利用毎にポイントが加算され、ポイントが溜まったら1回無料」や「子育て世帯は運賃が安くなる」など分かりやすい対策があると良いと考える。(30歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 一部席にチャイルドシートを設けてほしいです。(40歳代、自営業、芦田(蓼科))
- ・ 定時運行を設けるなら、将来的には、里から山に向けて、大きさを制限しても荷物も運搬すれば時間で受け取れば便利!(70歳代、自営業、芦田(蓼科))

【公共交通の必要性を感じるといった意見】

- ・ 現在佐久方面に行くバスが200円ということで大変ありがたいと思っています。タクシーだと1,000円だと聞いたことがあるのですが、そういった情報はどこにあるのかよくわかりません。今後も佐久医療センターまでのアクセスの確保と料金の維持をお願いしたいです。(70歳代、農業、芦田)
- ・ 公共交通機関の利便性の向上が過疎化の歯止めとなると考えます。家族の送迎がなくても安心して通学、通院、買い物ができる住みよい町づくりを希望します。(50歳代、無職、芦田)
- ・ 今のところ何とか自家用車で移動していますが、もうすぐ駄目だと思います。その時どうすればよいか不安です。実際に今不便な生活をしている方々の意見を聞いてみたいと思います。私のように町に住んでいて何とかローソン等の利用ができる者はいいいですが、これからの生活を思うと不安だらけです。(80歳代、無職、分類不可)
- ・ 中仙道線で佐久医療センターにいけてとても助かっています。ありがとうございます。(60歳代、会社員・公務員、桐原)
- ・ 車が運転できなくなる時を考えると公共交通は必要と思います。ただ、人口減少もあり、予算的制約も大きく難しい問題だと思います。都会と違って渋滞や信号が少ないのに走行距離の短いタクシーの運賃体系を変更して、もう少し安く乗れるようにすると乗客数も増えるのではないのでしょうか?(60歳代、農業、分類不可)
- ・ 自分が自動車等を使って行動できる限りは自分とは無縁のことと思ってしまうのは私だけではないかもしれません。しかし、やがてそれが不可欠なことだと思うので、定期便ではなく予約制でもよいので町の負担があっても公共交通はずっと維持して行ってほし

いです。私もいずれこれに頼る時がやってきます。体験してないので具体的な改善点とか要望については現状思いつきません。(70歳代、無職、芦田)

- ・ まだ車の運転ができるが、いずれは公共交通を利用すると思うので維持してほしいと思う。(50歳代、農業、宇山)
- ・ 町外への通勤、通学が主流なので町の公共交通は利用は少ないのは仕方ないが、高齢者の足として継続して行ってほしいと思う。(70歳代、農業、牛鹿)
- ・ 町外から観光客を呼び込むために公共交通機関の充実は重要だと思う。(50歳代、農業、分類不可)
- ・ あと数年したら車が運転できなくなるのでその時はお世話になりたいと思います。(70歳代、無職、茂田井)

【現在は公共交通の必要性を感じないといった意見】

- ・ 不便だから乗らない(50歳代、自営業、芦田)
- ・ 田舎では、車がないと生活できないため、高齢者でも免許の保有者は多いと思う。運転ができなくなった時に利用できる公共交通があるのが望ましいが、利用者の少ない路線でバスを走らせ続けるのは無駄だと感じる。子どもが成長し、進学する際に乗り継ぎしやすいバスがあると利用したいと思うが、今のところ利便性を考えれば利用しないと思う。(40歳代、会社員・公務員、芦田)
- ・ 今のところ自分で運転しているので当てはまるどころがなくアンケートにはなっていない、すみません。(80歳代、農業、分類不可)
- ・ 今は自分で運転できるので、必要性を感じませんが、車がなくなった時バスを利用したいと思っています。その時で存続してほしいです。メッシュ地図が小さかったです。(60歳代、会社員・公務員、芦田)
- ・ 今はまだ運転できるので、あまり身近に感じ取れない。免許を返納してから考えたいです。(70歳代、パート・アルバイト、宇山)
- ・ まず、現在、公共交通を使ったことが一度もないのでアンケートもうまくこたえられなかったです。どこに行くにも車を利用してしまおうので、公共交通を身近なものとして考えられません。ただ、年齢を重ねて車の運転が難しくなれば公共のものが充実していてくれたら良いと思います。(70歳代、自営業、山部)

【高齢者運転免許返納に関する意見】

- ・ 自動車に乗っているため、深く考えたことがなかったのですが、今後免許返納者が増えることや環境への負担を考えると町内を移動の際に公共交通を利用することは意義のあることだと思いました。安価で気軽に乗車できる体制が整ったら利用者も増え、収益も上がるようになるかな…でもやはり自ら運転できるうちは利用しないというのが正直なところです(60歳代、その他、桐原)

- ・ 高校の送迎バスは権現山付近で路駐しており危ない時が多々ある。自家用車を持たない高齢の方が利用頻度が多いのだからそういう方達により手厚いサービスにした方がよい。また、免許返納を促すとよりサービスを受けられる仕組みを分かりやすく実施すると良いと思う。やっているかもしれないが、ほとんどの方が知らないと思います。(30歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 若年層は自ら車など利用し、車の免許がない方、お年寄りの方が不自由なく利用できたらと思う。高齢者運転が騒がれている世の中だからこそ高齢の方が「免許返納しても大丈夫」と感じて行動できる環境を作って頂きたい。(50歳代、会社員・公務員、藤沢)
- ・ 高齢者が運転免許を返納しやすいように環境を整えてほしい。(50歳代、会社員・公務員、茂田井)
- ・ 高齢者の免許返納が増えています。夏場、別荘の方がデマンドタクシーを予約して利用されています。とてもありがたいと喜んでおられます。住民も利用されています。(60歳代、会社員・公務員、芦田(蓼科))
- ・ やがて免許返納の時期がくるはず。そうなる頼りは公共交通となります。その時利便性がより良くないと返納をためらう事になります。ベストは安価でリアルタイムに公共交通が利用できる事ですが、そうはいきません。人口減、少子高齢化、考え方の多様性、所得格差の拡大等々検討(考慮)材料はたわわにあります。もちろん財源の問題もあります。これらも十分論議頂き、よりベストに近い公共交通にしてもらいたいと思います。(60歳代、農業、山部)
- ・ 自分に限らず車を運転できるうちは公共交通の利用は少ないかほぼ利用しないと思う。運転がそろそろ危なくなってきた高齢者も多くなっているため免許返納を気軽に考えられる、または実際に返納できるよう町内～町外の幅広い公共交通機関の拡充を目指してほしい。(40歳代、農業、芦田(蓼科))
- ・ 私は運転免許を返納した一人です。車の無い事の不便さを強く感じております。娘の帰りを待って連れていってもらおうのですが、疲れて帰ってくる人に頼む事は娘であっても気が進まないののでつい我慢してしまいます。足が悪いのですぐ近くに病院(店)があるのに、大変考えております。ハイヤーも時々つかいますが高いです。バスを利用した人の話では遠回りするので乗り物に弱い人は買い物どころではないそうです。運行ダイヤ等路線図などお考えください。(40歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 高齢者の事故が増え、社会問題化されています。若者への被害を防止するうえでも免許返納後の安心を作っていく事。(50歳代、自営業、桐原)
- ・ 高齢化がますます進み、加えて免許返納者も増加する。そして家族の中で免許保持者がいなくなり、外出したくてもできない人が増える。そのような時公共交通を利用し外に出られることは、ボケ、認知症予防につながるようになるのではないかと。特に「カソ」地域の指定にもなり、高齢者が安心して住める町づくり、町の人口増対策等町長の指導力とともに、職員皆さまのアイデアを取り入れることにより、活性化が進むと考えている。(70歳代、農業、牛鹿)

【運行内容が分からないといった意見】

- ・ 交通を利用していないのでよくわかりません。(80歳代、無職、芦田)
- ・ 運行ダイヤの見方、またどこをどのように何分で走って何分で帰ってくるかわからず一人では外出したとしても、役場に寄れず風呂入った時だけしか乗れません。私は田舎育ちなのでダイヤの見方がさっぱりわかりません。ダイヤへの見方が大変なのでとても苦痛です。もっと立科スマイル交通の着く時間が誰でも分かるように大きな字で書いて安心するようにして下さい。役場行きにしか乗れません!!※ダイヤの難しさ感じます!!(60歳代、無職、宇山)
- ・ 公共交通がどのようになっているか全くわからない。分別カレンダーのように各戸に配布してもらえたら使える時に利用できるのではないか。(90歳代、無職、芦田)
- ・ 今は自家用車を利用していますが、より高齢になったとき、公共交通を利用すると思います。利用者が少なく町の負担が多くなる事は心配ですが、よりよいサービスができる事を期待します。現在利用していないので具体的な事はわかりません。(70歳代、農業、塩沢)
- ・ 答えようがありません。(利用がほとんどない) (60歳代、会社員・公務員、桐原)

【公共交通に対する感想】

- ・ 一地方自治体が公共交通をする必要はなし、広域ですべきことだと思う。町行政がするのであれば、それは福祉の施策としてやるべきであると思う。(60歳代、職業無回答、山部)
- ・ 環境に配慮するならワゴン車でなく、軽自動車でも良いのでは。結構なスピードでバスを通過する。乗る人がいない前提で運転しているようか。乗車も自宅近くでできれば良い。人が乗っているのをあまりみない(ほとんどみない) 定時定路線式ではもはや限界ではないか。(60歳代、農業、茂田井)
- ・ 普段自家用車で出歩いている人でも、旅行や飲酒の機会などで公共交通を利用できればと思う時はあると思います。その時に迷いなく移動手段となるようなものであれば公共交通のメリットが認識され、利用が広まる機会になると思います。(60歳代、無職、山部)
- ・ 現在利用していませんが、このコースは良いと思います。(80歳代、農業、山部)
- ・ 週3日のバス運行のため、買い物等の日時計画を立て、メモの毎日。楽しみの1つです。帰りはタクシー。通院はタクシー→便がない。(80歳代、無職、芦田)
- ・ 季節、イベント等、人の動きが予想される場合があります。情報を早期に確認し、利用者働きかける工夫がほしいなど、とにかく利用者を増やすことが最重要ではないか。(60歳代、会社員・公務員、牛鹿)
- ・ 公共交通を利用した事がないので、難しい質問でした。(すみません)しかし、自身高齢の身であり、免許がなくなれば利用させていただきます。都会に住む子供や孫等は車の免許を持っておりません。同年代の友人は町外の運転は控えており、やはり帰省・上京(帰京)の際、子供等は千曲バスを利用しているとの事。私もいずれそうなりそうです。良

く行く佐久・丸子・東御・上田方面を不便さなく利用できますよう望んでおります。(70歳代、無職、芦田)

- ・ 車の運転ができる世代は良いですが、それ以外の世代（学生、高齢者）に利用しやすい運行をお願いしたいと思います。そのような方々の意見を多く聞いて頂けたらと思います。(60歳代、パート・アルバイト、桐原)
- ・ 佐久市の高校へ通学している人は送り迎えもしくはバス利用だと思います。運賃が高いと聞いた事があります。立科高校の為にはバスを出すのに、立科に住んでいる子ども達の為にはバス代などは何もしてくれないのでしょうか？町長は子ども達のためといいながら、子ども達の未来を潰してはいないのでしょうか？小さな町ですので、小中（保育園）も一緒です。高校くらいで、町外に出た方がいいと思います。また、病院へ行っている人なども多いと思います。高齢者の運転なども怖いので公共交通が整えば嬉しいです。町内に住んでいる高校生の何%蓼科高校へ行っているのでしょうか？他の市町に行っている子の方が多くはないですか？蓼科高校へのバスよりもっと大事な事が（町内の子ども）のために使ってください。(40歳代、会社員・公務員、桐原)
- ・ 田舎では、自家用車が必要で、何よりも便利です。公共交通は免許のない人達の足となるものなので、大切なものですが、全員が使うものではないので、効率や無駄を考えてほしいです。(50歳代、農業、牛鹿)
- ・ 遠方から立科町へ公共交通を使って移動してみたところ、乗り継ぎの悪さから再使用をためらう程でした。学生の通学用とは別の時間にも数本走ってくれるだけでも、移動時間の選択ができるので便利なのですが。(40歳代、自営業、芦田)
- ・ 立科町から外へ出かけるのに車ないと不便。子ども達は特に親の送迎がないと何もできない状況（塾にしても部活の大会にしても）特に高校は蓼科高校に行く以外に自分で通えるところはない。バスは高く、経済的負担が大きい。岩村田行きのバスが増えたことはありがたいが、上田方面へ行く高校生たちは親の送迎なしではいられないのが現状。働かなければいけない中でどのように送迎するのだろうと今から考えている。送迎の関係だけで進路を変更させるのだけは避けたい。子供が行きたいところに行くこと。親がサポートするのは当たり前だが、交通機関が少ない立科はどうしようもない。子供がある程度大きくなってくると住みにくさをとても感じてしまい、佐久や上田の方がいいなと思ってしまう今日この頃です。(40歳代、会社員・公務員、分類不可)
- ・ 最寄りのバス停は東白樺湖です。将来バスを利用できる機会が訪れたら幸いです。また、まちを訪れる観光客が交通機関を利用することができれば大自然の中の「蓼科牧場」「女神湖」「白樺高原」方面も訪れやすく、交通手段の利便性にもつながっていくと思います。(70歳代、無職、芦田(蓼科))

【アンケート調査に関する意見】

- ・ もう少し分かりやすいアンケートにしてください。(90 歳代、無職、分類不可)
- ・ アンケートの内容がわかりずらくこたえづらい。(70 歳代、農業、分類不可)
- ・ 障がい者支援施設利用者のため回答できません。又、利用もしていません。無作為に1,000世帯とありますが、かなりの数が届いています。(同じ住所でかなり届いています) 回答ができない、又は偏ったものになるの事を想定して無作為に選んだのでは？と疑ってしまいます。アンケートは有効な手段だと思いますが、残念ながら手抜きと言われても仕方ないのでは？(年齢無回答、職業無回答、お住まい無回答)
- ・ アンケートについて、私はまだ運転ができるのでバスは利用していませんが、今後のために記入しました。近所の人には以前バスを利用していましたが、降りてから荷物をもって家まで帰るのが大変だと言われ今はタクシーを利用されています。(70 歳代、無職、宇山)
- ・ タクシーチケット対応のみでよいのでは。そして助成を手厚くアンケートを行う際、現状の公共交通の利用状況のデータを添付して頂ければ良かった。(60 歳代、農業、分類不可)
- ・ 今回のアンケート内容は個人の特定に結びつくような記入方法に疑念をもちます。(60 歳代、会社員・公務員、宇山)
- ・ 利用率が高いと思われる高齢者の意見、希望が反映されているアンケートになっていればいい。アンケートの送付は定型郵便内にした方が料金が安いのでは？(40 歳代、会社員・公務員、桐原)

【その他の意見】

- ・ 買物、病院に行く時に時間がかかります。町外に出る事がよくあります。行く時は予約があります。その時間に間に合うか？送り迎えがあればいいと思いますが、お金が沢山かかるでしょうね。年金ではとても間に合いません。年金は毎年少なくなっています。病院には行かれなくなってしまいます。安心安全にできるでしょうか。どうしても町外に行くものとしてはとっても辛いです。子どもはとってもあてになりません。(40 歳代、会社員・公務員、芦田(蓼科))
- ・ 道路脇にうっそうとして大きく育ち過ぎている木や枝、雑草などをしっかり定期的に見回り、綺麗にしておくべきだ。トラックの交通などもあるから他県の運転手からすれば迷惑だと思う。古くなっている道路は即急に直していくべきだ。(70 歳代、パート・アルバイト、桐原)
- ・ 立科町で生活するには自家用車は必要。車の運転ができなければ、病院買物等日常生活が困難になってしまう。(80 歳代、その他、藤沢)
- ・ 大変重大な問題であると認識しました。個人の判断では返答することが難しいと思います。各地区の問題でもあると思われます。地区としてどうとらえるか。また地区に必要としている人が何人くらいいるのか。また現在何人くらい利用しているのかを把握した

上で、今後考えて行く必要があると考えます。区長さんと中心になって考え、区としての提出案を望みます。(40歳代、会社員・公務員、分類不可)

- ・ 利用者数の増加を求めたのでしたら町内にお勤めでマイカー通勤されている方々に利用して頂く方法やご意見をお伺いする。(70歳代、農業、藤沢)
- ・ 公共交通に関するものとは別に要望として、町とJA等で協議をして移動の食料品の販売車を運行してほしい。老人が時間を気にすることなくゆっくりと買い物ができるようにしてほしい。(80歳代、農業、桐原)
- ・ 町の財政負担も大変かと思うが、交通弱者の立場を考えて今後も考えてほしい。(80歳代、農業、芦田)
- ・ 過疎地、少子高齢化に伴う人口減少の立科町は高齢化率が高く、若い世代がすくないので立科町としてはどのように今後町民の生活を安定させていくのかをしっかりと検討する必要がある。(50歳代、会社員・公務員、牛鹿)
- ・ 町全体が限界集落に近い現在、買い物弱者等困窮者に対して、公共交通機関のインフラ整備は必要不可欠な事だと思われます。2050年問題も含め立科町に生活する人々に優しいインフラ整備を望みます。所得に合わせた一定の利用者負担は必要だと思われます。(50歳代、会社員・公務員、桐原)

4-4. アンケート調査票

公共交通に関する 住民アンケート調査 ご協力をお願い

立科町地域公共交通活性化協議会
会長 両角 正芳（立科町長）

日頃より町行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、地域の公共交通は、車を運転できない方などにとって大切な交通手段ですが、自家用自動車が普及したことなどによる利用者の減少等により、民間交通事業者の経営や利用者の利便性、町の財政負担等の面で、大変厳しい状況となっており、その維持・確保は重要な課題であります。

町では、民間交通事業者、各種団体の代表者等の方々で構成する「立科町地域公共交通活性化協議会」を設置し、町内の地域公共交通体系の検討を進め、平成31年3月に「立科町地域公共交通網形成計画」を策定し、計画に基づき新たな「たてしなスマイル交通」の運行を行ってまいりました。

しかし、計画策定から5年が経過し、また、社会・経済情勢も大きく変化していることから、今年度、計画の改定版となる「立科町地域公共交通計画」の策定を予定しております。

つきましては、地域公共交通の利用実態を把握するとともに、町民の皆様のご意見やご提言をいただき、地域公共交通の見直しに反映させることを目的に、町民アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

本アンケート調査は、立科町の地域公共交通の見直しのために、大変重要な調査となりますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご回答くださいますようご協力をお願いいたします。

令和5年8月

○ご記入いただきましたアンケート票は、

令和5年9月5日（火）までに、

同封の返信用封筒にて郵便ポストへ投函いただきますようお願い申し上げます。

（※切手は不要です。）

○ご回答は無記名でいただき、統計数値として集計することのみに使用し、他の目的に使用することはありません。得た情報については、プライバシーに万全の配慮をいたします。

○本アンケートは、町内全域から無作為に抽出した1,000世帯の世帯主の皆様にお送りしております。アンケートの質問の中には、ご家族の方にもお答えいただくものもございますが、ご家族の方のご意見をお聞きしつつ、世帯主様が代表してご家族の方についてもご記入いただいても結構ですので、よろしくようお願い申し上げます。

○ご不明の点につきましては、下記までお問い合わせください。

立科町地域公共交通活性化協議会 事務局（立科町 企画課 企画情報係）

〒384-2305 立科町芦田2532 電話：0267-88-8403（直通）

有線2311（代表）

アンケートは次のページからとなっておりますが、立科町の公共交通をご理解いただくため、現状を以下に整理いたしました。

また、別紙に「メッシュ地図及びバス停位置図」も同封いたしましたのでご覧ください。

立科町公共交通の現状と周辺地域の動向

1. 町内を走る路線と路線の概要

運行主体	路線	概要
民間バス 会社運行 路線	① 中仙道線、丸子線	中仙道線は立科町役場前から佐久市岩村田・中込駅や上田市大屋駅を、丸子線は立科町役場前から上田市丸子を結ぶ、主に高校生の通学などに利用される路線で、民間バス事業者が国や町の補助を受けつつ運行している路線です。 また、これらの路線が運行されることにより、たてしなスマイル交通にも国からの支援を受けることができています。
立科町が 運行する 路線	② たてしなスマイル交通 (幹線ルート、西・南回り線、 東回り線及びシラカバ線)	町が運行する路線バスです。 幹線ルート、西・南回り線、東回り線の3路線は立科町役場前を発着の拠点とし芦田地区に集中する公共施設や商業施設、病院を通り、西部、東部、南部、茂田井の各地区を結ぶ路線です。(乗車運賃は、大人1回200円) シラカバ線は、立科町役場前と蓼科地区を結び、日中の町民の移動とともに、朝夕の便は、保育園、学校などのスクールバスとしても機能しています。また、夏季等観光シーズンには県内外の観光客にも利用されています。(乗車運賃は、大人1回500円)
	③福祉型デマンドタクシー	たてしなスマイル交通が通っていない地域にお住まいの方、身体障害者手帳を所有する方、要介護(支援)認定を受けた方、運転免許証を返納した方は、町内での移動に限り、利用券を提出することで1乗車600円のご負担で、タクシーをご利用いただけます。

2. 運行経費等・町の運行補助等と利用者数の実績(令和4年度)

	運行経費	運賃収入	運行補助額	利用者数
①たてしなスマイル交通 (4路線)	3,656万円	414万円	3,242万円	約14,300人
②福祉型デマンドタクシー	179万円	0万円	179万円	約1,450人
③中仙道線及び丸子線	5,347万円	818万円	2,663万円	約45,000人

3. 立科町における近年の公共交通の動向

立科町では、平成31年3月に策定された「立科町地域公共交通網形成計画」に基づき、近年、以下のような取り組みを行っています。

取り組み内容	概要
たてしなスマイル交通一部路線における曜日による運行	西・南回り線、東回り線では、運行の効率化を図るため、路線の需要に応じ週3日の運行を行っています。
たてしな定額タクシーチケットの導入	立科町とタクシー事業者が共同で、実施している事業で、通常よりも安く一定額でタクシーを利用できる「たてしな定額タクシーチケット」を導入しています。
シャトル便の導入	立科町に來訪する観光客向けに、高原エリアでの周遊バス(シラカバ線シャトル便)を運行しています。
フリー乗降制度の導入	シラカバ線を除くたてしなスマイル交通の路線では、停留所以外の運行ルート上でも降車することが可能です。

はじめにご家族の皆様についてご質問いたします。

質問1 お住まいの地区はどこですか。別紙の「メッシュ地図」を参照し、お住まいの地区のメッシュ番号をご記入ください。

※別紙のメッシュ地図に記載されている番号をご記入ください。
 ※メッシュ番号の記入に支障がある場合には、地区名を直接ご記入いただいても構いません。

メッシュ番号：_____（地区名：_____）

質問2 ご自宅から最寄りのバス停まで徒歩でかかる時間はどのくらいですか。
 また、別紙の「バス停位置図」を参考に、そのバス停名をお書きください。

【記入例】	
最寄りのバス停まで徒歩で（ 1 0 ）分	バス停名（ 立科町役場前 ）
最寄りのバス停まで徒歩で（ ）分	バス停名（ ）

質問3 ご家族のうち、現在同居されている高校生以上の方の構成について教えてください。
 （該当するものに○またはご記入ください。）
 記入欄が足りない場合は年長の方を優先してご記入ください。

	年齢	職 業	車・バイク免許の有無	自ら自由に利用できる車・バイクの有無
世帯主様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
ご家族 A様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 7. 高校生（部活あり） 8. 高校生（部活なし） 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
ご家族 B様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 7. 高校生（部活あり） 8. 高校生（部活なし） 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
ご家族 C様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 7. 高校生（部活あり） 8. 高校生（部活なし） 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
ご家族 D様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 7. 高校生（部活あり） 8. 高校生（部活なし） 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
ご家族 E様	（ 歳代）	1. 農業 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 大学・短大生等 7. 高校生（部活あり） 8. 高校生（部活なし） 9. 無職 10. その他（ ）	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無

日常生活における交通手段についてご質問いたします。

ここからの質問は、質問3でお答えいただいた、ご家族の方それぞれについてご回答をお願いします。

質問4 平日（月～金曜日）の生活における代表的な外出行動と交通手段について、以下の選択肢よりお選びいただき、番号等を次ページの回答欄にご記入ください。

回答欄は次ページです。—————→

ア 代表的な外出目的を1つお選び下さい。

- | | | |
|-----------|---------------------------|---------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学（朝または夕部活がある方） | 3. 通学（部活がない方） |
| 4. 買い物 | 5. 通院 | 6. レジャー・娯楽 |
| 7. 銀行 | 8. 町役場 | 9. 営業・業務 |
| 10. 塾・習い事 | 11. その他（行動目的を回答欄にご記入ください） | |

イ 代表的な外出の頻度を1つお選びください。

- | | | |
|-----------------------------|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 2～3日に1回程度 | 3. 1週間に1回程度 |
| 4. 1か月に2～3回程度 | 5. 1か月に1回程度 | 6. 1年に2～3回程度 |
| 7. その他（具体的な頻度を回答欄にご記入ください。） | | |

ウ 代表的な外出の際の外出時間をお聞かせください。

※出発時間（家を出る時間）、到着時間（目的地に着く時間）、目的地の出発時間（目的地を出る時間）、帰宅時間（家に着く時間）を回答欄に直接ご記入ください。

エ 代表的な外出の目的地をお聞かせください。

目的地が複数となる場合には、一番滞在時間が長い目的地をお答え下さい。

※別紙の「メッシュ地図」を参照し、目的地のメッシュ番号を回答欄にご記入ください。
※目的地が町外の場合には、メッシュ地図の方面の番号を回答欄にご記入ください。
※具体的な目的地（地名等や施設名称）を回答欄に直接ご記入ください。

オ 代表的な外出の際の行き（自宅から目的地まで）と帰り（目的地から自宅まで）の交通手段をそれぞれお選びください。交通手段が複数の場合、出発から到着まで最も長い時間利用する交通手段の番号を記入してください。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 鉄道 |
| 5. 自動車(自ら運転) | 6. 自動車(家族等による送迎) |
| 7. タクシー・ハイヤー(たてしな定額タクシーチケット利用なし) | |
| 8. タクシー・ハイヤー(たてしな定額タクシーチケット利用あり) | |
| 9. 路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通） | 10. 福祉型デマンドタクシー |
| 11. その他（具体的な手段を回答欄にご記入ください） | |

質問4の回答欄 前ページの選択肢より、番号等を選んで、下の回答欄にご記入ください。
 (「その他」を選択された方は直接、内容をお書きください。)

	ア 外出 目的	イ 外出 頻度	ウ 外出時間				エ 目的地	オ 交通手段
			出発	目的地 到着	目的地 出発	帰宅		
記入例 1	1	1	7:30	8:00	17:00	17:30	メッシュ番号 36 具体的な目的地 立科町役場	行き: 5 帰り: 5
記入例 2	5	3	8:30	9:00	10:30	11:00	メッシュ番号 36 具体的な目的地 芦田の〇〇〇〇医院	行き: 9 帰り: 9
世帯主 様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:
ご家族 A様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:
ご家族 B様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:
ご家族 C様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:
ご家族 D様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:
ご家族 E様							メッシュ番号 具体的な目的地	行き: 帰り:

注) 質問3で回答した世帯主・A～Eのご家族様それぞれ該当する欄にお答えください。

《交通手段の記入例》

回答：選択肢9

移動時間：10分 20分 10秒

徒歩 路線バス 徒歩

自宅 〇〇医院

わずかな区間の徒歩での移動はご記入不要です。

質問5 土日・祝日の生活における代表的な外出行動と交通手段について、以下の選択肢よりお選びいただき、番号等を次ページの回答欄にご記入ください。

回答欄は次ページです。—————→

ア 代表的な外出目的を1つお選び下さい。

- | | | |
|-----------|---------------------------|---------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学（朝または夕部活がある方） | 3. 通学（部活がない方） |
| 4. 買い物 | 5. 通院 | 6. レジャー・娯楽 |
| 7. 銀行 | 8. 町役場 | 9. 営業・業務 |
| 10. 塾・習い事 | 11. その他（行動目的を回答欄にご記入ください） | |

イ 代表的な外出の目的地をお聞かせください。

目的地が複数となる場合には、一番滞在時間が長い目的地をお答え下さい。

- | |
|---|
| ※別紙の「メッシュ地図」を参照し、目的地のメッシュ番号を回答欄にご記入ください。
※目的地が町外の場合には、メッシュ地図の方面の番号を回答欄にご記入ください。
※具体的な目的地（地名等や施設名称）を回答欄に直接ご記入ください。 |
|---|

ウ 代表的な外出の際の行き（自宅から目的地まで）と帰り（目的地から自宅まで）の交通手段をそれぞれお選びください。交通手段が複数の場合、出発から到着まで最も長い時間利用する交通手段の番号を記入してください。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 鉄道 |
| 5. 自動車(自ら運転) | 6. 自動車(家族等による送迎) |
| 7. タクシー・ハイヤー(たてしな定額タクシーチケット利用なし) | |
| 8. タクシー・ハイヤー(たてしな定額タクシーチケット利用あり) | |
| 9. 路線バス（民間路線バス、たてしなスマイル交通） | 10. 福祉型デマンドタクシー |
| 11. その他（具体的な手段を回答欄にご記入ください） | |

質問5の回答欄 前ページの選択肢より、番号等を選んで、下の回答欄にご記入ください。
 (「その他」を選択された方は直接、内容をお書きください。)

	ア 外出目的	イ 目的地	ウ 交通手段
記入例 1	4	メッシュ番号 30	行き: 9
		具体的な目的地 芦田の〇〇スーパー	帰り: 9
世帯主 様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:
ご家族 A様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:
ご家族 B様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:
ご家族 C様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:
ご家族 D様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:
ご家族 E様		メッシュ番号	行き:
		具体的な目的地	帰り:

注) 質問3で回答した世帯主・A～Eのご家族様それぞれ該当する欄にお答えください。

《交通手段の記入例》 回答：選択肢9

移動時間：10分 20分 10秒

徒歩 路線バス 徒歩

わずかな区間の徒歩での移動はご記入不要です。

自宅 〇〇スーパー

現在の公共交通利用に対するお考えをお聞きます。

こちらの質問は、質問3でお答えいただいた、ご家族の方それぞれについてご回答をお願いします。

回答欄は次ページです。 →

◆質問4の「オ 交通手段」または質問5の「ウ 交通手段」で、公共交通を利用するとお答えの方（選択肢7~9を選んだ方）は、質問6-1をお答えください。

◆質問4の「オ 交通手段」または質問5の「ウ 交通手段」で、公共交通をまったく利用しないとお答えの方（選択肢7~9を選んでいない方）は、質問6-2をお答えください。

質問6-1

ア 公共交通を利用する理由を2つまでお選びください。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 便利だから | 2. 安心・安全だから |
| 3. 目的地に早く着くから | 4. 目的地まで（目的地近くまで）公共交通があるから |
| 5. 目的地まで遠く、（その区間）公共交通に頼っているから | |
| 6. ほかに自らの移動手段がないから | |
| 7. その他（回答欄にご記入ください） | |

イ 公共交通に対する満足度を1つお選びください。

- | | | | |
|-----------|---------------|-------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している | 3. やや不満を感じる | 4. 不満である |
|-----------|---------------|-------------|----------|

ウ 公共交通に対する満足度で、「不満（3または4）」と回答された方は、その理由を2つまでお選びください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 乗りたい時間に乗れる便がないから | 2. 乗りたい曜日に運行していないから |
| 3. 目的地まで時間がかかるから | 4. 自宅の近くに乗り降りする場所がないから |
| 5. 乗り継ぎの接続が悪いから | 6. 運賃が高いから |
| 7. 段差等があり、乗り降りが不便だから | |
| 8. その他（具体的な理由を回答欄にご記入ください） | |

質問6-2

エ 公共交通を利用しない理由を2つまでお選びください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 目的地が近いから | 2. 公共交通よりほかの手段が便利だから |
| 3. 送迎してくれる人と時間・方向が同じだから | 4. 行きたい目的地まで公共交通がないから |
| 5. 乗りたい時間に乗れる便がないから | 6. 乗りたい曜日に運行していないから |
| 7. 自宅近くにバス停がないから | 8. 公共交通は運賃が高いから |
| 9. 公共交通は時間がかかるから | 10. 公共交通機関どうしの接続が悪く不便だから |
| 11. 他人との乗合が嫌だから | 12. 段差等があり乗り降りが不便だから |
| 13. その他（回答欄にご記入ください） | |

オ 公共交通を利用する場合の条件として近いものを2つまでお選びください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 行きたい目的地まで公共交通ができる | 2. 乗りたい時間・曜日に公共交通が走る |
| 3. 自宅の近くにバス停ができる | 4. 運賃が安くなる |
| 5. 公共交通の時間が短縮される | 6. 公共交通どうしの接続が良くなる |
| 7. 乗り降りの段差が解消される | 8. 公共交通を利用するつもりはない |
| 9. その他（回答欄にご記入ください） | |

前ページの選択肢より、それぞれ1つずつ番号等を選んで、下の回答欄にご記入ください。

質問6-1と6-2の回答欄（その他を選択された方は直接、内容をお書きください。）

	質問6-1の回答欄			質問6-2の回答欄	
	ア 利用する理由	イ 満足度	ウ 不満の理由	エ 利用しない理由	オ 利用する条件
記入例 1	5、6	3	3、6		
記入例 2				4	1、2
世帯主 様					
ご家族 A様					
ご家族 B様					
ご家族 C様					
ご家族 D様					
ご家族 E様					

↑注) 質問3で回答した世帯主・A～Eのご家族様それぞれ該当する欄にお答えください。

今後の公共交通のあり方や要望についてお聞きします。

ここからの質問は、ご家族のご意見として、ご回答をお願いします。

質問7 立科町では、町が補助金や委託金を支出しているバス路線等（たてしなスマイル交通、福祉型デマンドタクシー等）の運行や維持のために、年間約6,100万円（1世帯当たり年間約23,000円）の行政負担をしていますが、この金額についてどうお考えになりますか。（該当する番号1つに○をしてください。）

1. 妥当な金額だと思う
2. 支出をもっと少なくすべき
3. 運賃を値上げし、支出をもっと少なくすべき
4. 支出はもっと多くても構わない
5. わからない
6. その他（)

質問8 町では今後、主にどのような方・利用目的を対象に公共交通サービスを行うべきだと考えますか。（該当する番号全てに○をしてください。）

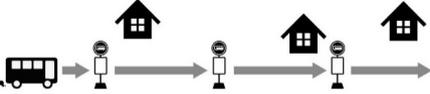
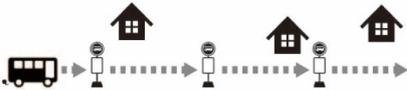
1. 高校生の通学（蓼科高校）
2. 高校生の通学（町外の高校）
3. 高齢者の通院・買い物・役場周辺
4. 高齢者の通院・買い物（町外の施設）
5. 通勤（町内の職場）
6. 通勤（町外の職場）
7. 町を訪れる観光客
8. 全ての利用者・利用目的
9. その他（)

質問9 上記質問8の公共交通サービスを行うにあたり、どのような公共交通の運行形態が良いとお考えですか。

地区、時間帯における運行形態の変更や組み合わせも想定し、導入すべき運行形態や方策と考えられる番号に2つまで○をしてください。

※定時定路線型、デマンド型の特徴については9ページ上の表をご覧ください。

1. 現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）
2. 予約の必要がない、定時定路線での運行（バス停設置型）
3. 朝夕の通勤・通学時間帯は定時定路線型の運行、日中時間帯はデマンド(予約式)とするなど、それぞれを組み合わせた運行
4. デマンド型(予約式)により、決められたルート of バス停を回る運行（定路線型）
5. デマンド型(予約式)により、出発地まで迎えに行き目的地まで送る運行（フルデマンド型）
6. タクシーチケット配布制度への切り替え
7. その他（)

形態	運行の特徴	利点（メリット）	難点（デメリット）
定時定路線型 バス停設置型 	・決まった時刻に決まったルートを実行する形態。	・迂回の少ない効率的な運行が可能。	・人口密度の低い地域では、需要の規模が小さく非効率となる可能性がある。
デマンド型（予約式）	定路線型 	・ルートが決まっているため、運行時刻が読みやすい。	・予約の必要がある。 ・自宅近くの停留所まで歩く必要がある。
	フルデマンド型 	・利用者からの事前の要望（予約）に応じて、利用者を出発地まで迎えに行き、目的地まで送り届ける方法。	・自宅から目的地までドア・トゥー・ドアで移動することができる。

質問 10 現在運行している路線バスに対して、どのような改善が図られれば利用が増える、もしくは、新たに利用を始められると思いますか。2つまで選び、あてはまる番号と、()内についての具体的な内容を回答欄にご記入ください。

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 増便してほしい | (増便してほしい運行区間、路線名等) |
| 2. 運行時間帯を改善してほしい | (改善してほしい運行区間、路線名等と希望する時間帯) |
| 3. 運行経路を変更してほしい | (変更してほしい運行区間、路線名等と立ち寄ってほしい施設名等) |
| 4. 乗り継ぎを改善してほしい | (改善してほしい乗り継ぎ場所や鉄道駅名等) |
| 5. 運賃を安くしてほしい | (安くしてほしい交通手段、路線名、料金等) |
| 6. 待合環境を改善してほしい | (改善してほしいバス停等) |
| 7. 車両を改善してほしい | (改善してほしい箇所等) |
| 8. 運転手のサービスを改善してほしい | (改善してほしい内容等) |
| 9. 現状に満足している | |
| 10. その他 | (具体的な内容を回答欄にご記入ください) |

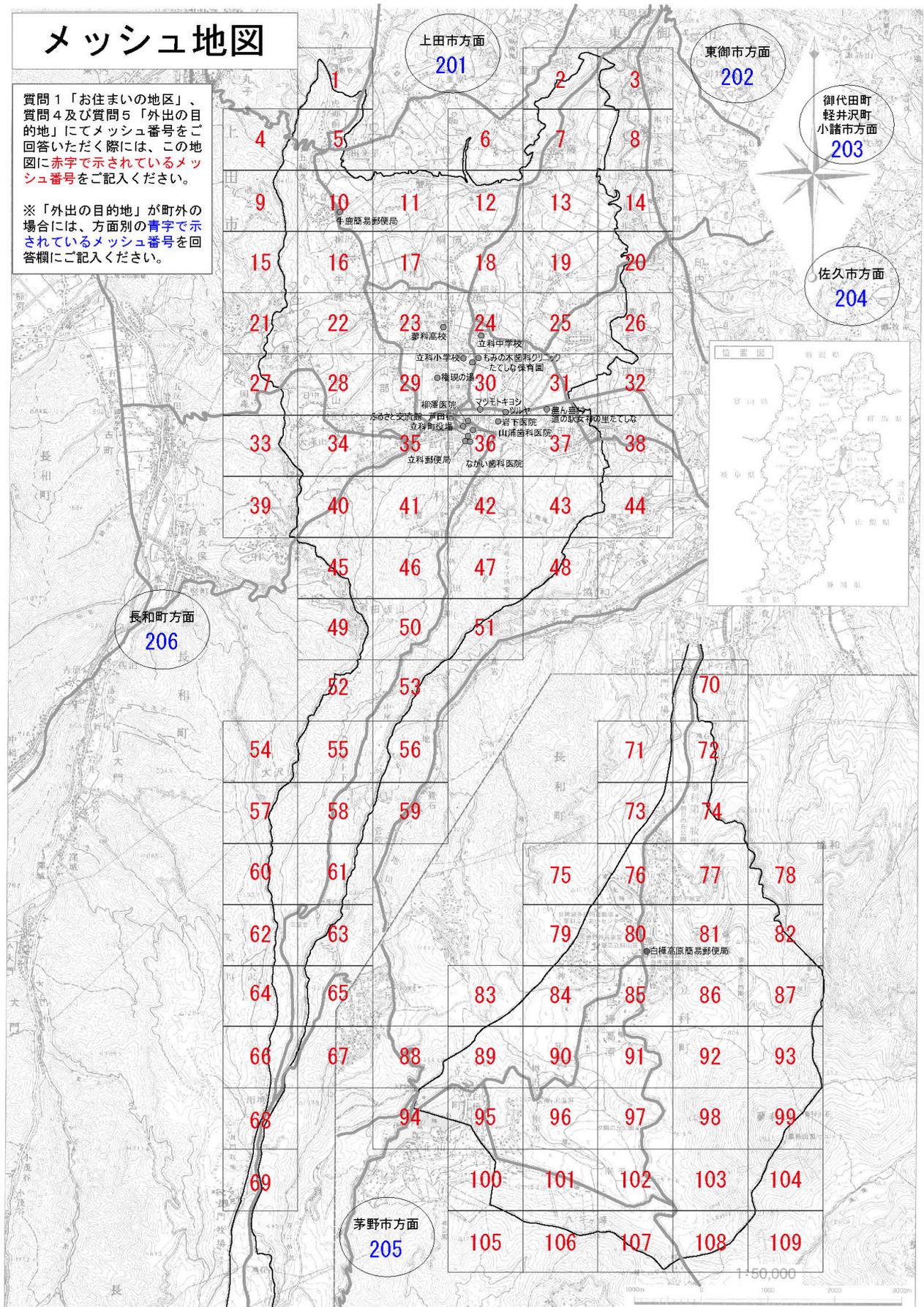
回答欄

【記入例】	
番号 (1)	内容 (OOバスでよく行くので、△△線の運行本数を増やしてほしい)
番号 ()	内容 ()
番号 ()	内容 ()

メッシュ地図

質問1「お住まいの地区」、
質問4及び質問5「外出の目的地」にてメッシュ番号をご回答いただく際には、この地図に赤字で示されているメッシュ番号をご記入ください。

※「外出の目的地」が町外の場合には、方面別の青字で示されているメッシュ番号を回答欄にご記入ください。



バス停位置図

